

医療用医薬品の残薬・ジェネリック医薬品 についての調査報告書

平成26年3月

公益社団法人 神奈川県薬剤師会
医薬品適正使用調査委員会

医療用医薬品の残薬・ジェネリック医薬品についての調査

公益社団法人神奈川県薬剤師会 医薬品適正使用調査委員会

1. 調査研究目的

県民に対して、残薬・ジェネリック医薬品についてのアンケート調査を実施し、残薬についての実態及び県民の意識、また、ジェネリック医薬品の使用実態など医薬品適正使用に係る課題などを明らかにすることにより、今後の啓発活動の方向性等を検討する。また、県民に信頼されるかかりつけ薬局・薬剤師となる施策の検討に資するものとする。

2. アンケート調査及び調査方法

本調査では、以下の調査を実施した。

医療用医薬品の残薬・ジェネリック医薬品についての調査票－参考資料 5

- ・対象：一般県民
- ・調査期間：平成 25 年 10 月
- ・調査回収件数：1,716 件

3. アンケート結果並びに調査研究成果及び考察

- (1) 医療用医薬品の残薬・ジェネリック医薬品についての調査
- (2) 年齢別クロス集計－参考資料 1
- (3) 使用期間別クロス集計－参考資料 2
- (4) 残薬別クロス集計－参考資料 3
- (5) その他クロス集計－参考資料 4
- (6) アンケート調査表－参考資料 5

4. まとめ（今後の方針）

32 ページ参照

5. 調査研究発表

- ・神奈川県薬剤師会のホームページに等に掲載予定

6. 調査協力団体及びイベント

No.	団体及びイベント	件数	比率
1	2013 くすりと健康すこやかフェア	538	31.4%
2	日本専門薬局同志会	386	22.5%
3	日本チェーンドラッグストア協会	302	17.6%
4	神奈川県病院薬剤師会	199	11.6%
5	神奈川県消費者の会	194	11.3%
6	くすりと健康フェアかわさき 2013	97	5.7%
	有効回答者数	1716	100.0%

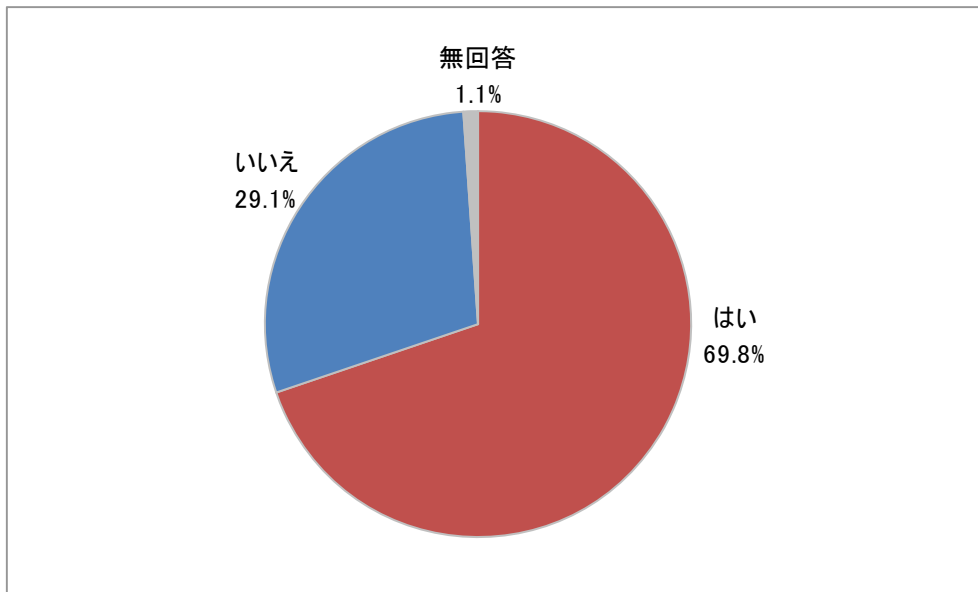
医療用医薬品の残薬・ジェネリック医薬品についての調査結果報告 目次

医療用医薬品の残薬・ジェネリック医薬品についての調査	・ ・ ・ ・ ・ 1
＜残薬関係＞	
Q1. 病院・医院から処方せんによって調剤された薬（医療用医薬品）が残ったことが ありますか（病院内で処方された薬を含む）	・ ・ ・ ・ ・ 1
Q2. 残った理由は何でしたか	・ ・ ・ ・ ・ 2
Q3. 飲み忘れた（使い忘れた）理由は何ですか	・ ・ ・ ・ ・ 3
Q4. どのようにしたらきちんと服用（使用）できると思いますか	・ ・ ・ ・ ・ 5
Q5. 残薬についてどのように思われますか	・ ・ ・ ・ ・ 8
Q6. 病院・医院で医師から残薬について聞かれたことがありますか	・ ・ ・ ・ ・ 12
Q7. 飲み忘れなどで残った場合、受信時に医師に話をして残薬の調整をお願いしたことが ありますか	・ ・ ・ ・ ・ 13
Q8. 残薬調整のために、その分の医薬品を減らして処分してもらえましたか	・ ・ ・ ・ ・ 14
Q9. 薬局において残薬について聞かれたことがありますか	・ ・ ・ ・ ・ 14
Q10. 飲み忘れなどで残った場合、薬局において薬剤師に残薬の調整をお願いしたことが ありますか	・ ・ ・ ・ ・ 15
Q11. その結果、薬局において、処方日数や回数を変更してもらえましたか	・ ・ ・ ・ ・ 16
＜ジェネリック医薬品関係＞	
Q12. 病院・医院において、ジェネリック医薬品について医師から説明を受けたことが ありますか	・ ・ ・ ・ ・ 17
Q13. 病院・医院の医師からジェネリック医薬品の処方を勧められることについてどのように 思われますか	・ ・ ・ ・ ・ 18
Q14. 病院・医院からジェネリック医薬品を処方されていますか	・ ・ ・ ・ ・ 19
Q15. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更について薬剤師から説明を受けたことが ありますか	・ ・ ・ ・ ・ 20
Q16. 薬局でジェネリック医薬品への変更について、薬剤師から勧められることについて どのように思われますか	・ ・ ・ ・ ・ 21
Q17. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更説明に満足していますか	・ ・ ・ ・ ・ 22
Q18. 薬局において、ジェネリック医薬品に変更したことはありますか	・ ・ ・ ・ ・ 23
Q19. 処方薬をジェネリック医薬品に変更することによって、自己負担金や、医療費を 減らせることを知っていますか	・ ・ ・ ・ ・ 24
Q20. 国保組合・健康保険組合などからジェネリック医薬品の使用を勧めるお知らせを 受け取ったことはありますか	・ ・ ・ ・ ・ 25
Q21. あなたは、ジェネリック医薬品を使いたいと思いますか	・ ・ ・ ・ ・ 26
＜医療費など＞	
Q22. あなたは、自分の医療費がどのくらいかかっているか知っていますか	・ ・ ・ ・ ・ 28
Q23. あなたは、自分の保険の自己負担金の割合がどのくらいか知っていますか	・ ・ ・ ・ ・ 29
Q24. あなたの性別を教えてください	・ ・ ・ ・ ・ 30
Q25. あなたの年齢を教えてください	・ ・ ・ ・ ・ 30
Q26. あなたが平成 24 年 4 月以降、病院・医院で受診して、処方されたお薬のうち一番長く 継続して使用しているお薬の使用期間を選んでください	・ ・ ・ ・ ・ 31
まとめ	・ ・ ・ ・ ・ 32
今後の方針	・ ・ ・ ・ ・ 34

医療用医薬品の残薬・ジェネリック医薬品についての調査結果報告

【調査結果】

Q1. 病院・医院から処方せんによって調剤された薬(医療用医薬品)が残ったことがありますか
(病院内で処方された薬を含む)



No.	カテゴリ	件数	比率
1	はい	1197	69.8%
2	いいえ	500	29.1%
	無回答	19	1.1%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では病院・医院から処方せんによって調剤された薬(医療用医薬品)について約7割の人が残ったことがあると回答している。
2. 年齢別においては20～39歳、40～59歳は60歳以上に比較して残ったことがあるとの回答が多い。(参考資料1-Q1)
3. 残薬については処方日数に関係なく、半数以上(約7割)に残薬が発生している結果となった。(参考資料2-Q1)

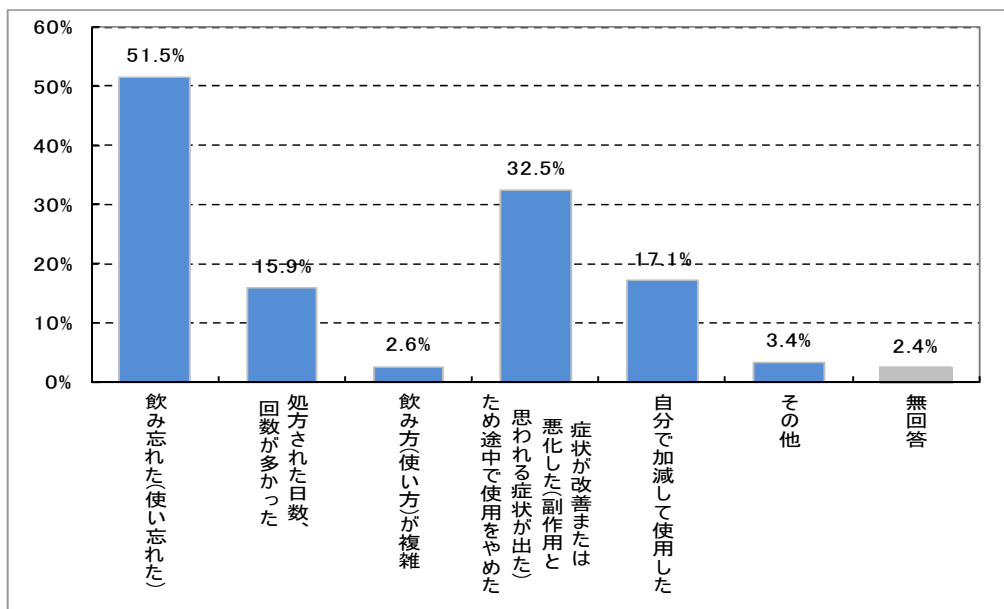
【考察】

1. 7割の方たちに残薬有りは多いと考える。
2. 残薬は投与日数に関係なく発生していると思われる。(参考資料2-Q1)

【対応策】

1. 若い年齢で残ったと回答している理由をさらに分析していく必要があると思われる。このことで学校教育の場に残薬の問題も取り上げて行く必要性が示唆された。
2. 長く継続している人に対しては残薬の有無の確認を行い、正しい薬の使用方法を再教育することも大切である。

Q2. 残った理由は何でしたか(Q1. 「1. はい」とお答えの方)



No.	カテゴリ	件数	比率
1	飲み忘れた(使い忘れた)	617	51.5%
2	処方された日数、回数が多かった	190	15.9%
3	飲み方(使い方)が複雑	31	2.6%
4	症状が改善または悪化した(副作用と思われる症状が出た)ため途中で使用をやめた	389	32.5%
5	自分で加減して使用した	205	17.1%
6	その他	41	3.4%
	無回答	29	2.4%
	合計	1502	
	有効回答者数	1197	100.0%

【6. その他の回答】

症状がない時は飲まない
日数、回数を使用しないでも良くなった
いたみがなければ飲まなくていいといわれたので
医者から、体調によって、回数を減らして良いと言われたから。
便秘していない時もあるから。
食事をとらなかったから
朝食を食べなかった又、食欲がない時糖尿病のくすりをのまなかった時があります。
毎食後だけど朝食をとらない。
効果がない・あわない
効果がなかった為
あわなかった。
外出時に忘れる
朝・昼・夜3回飲む場合、出かける時持ち忘れてしまう
外出時に困るので飲まない事がある
その他
一緒に処方された胃薬や痛み止めなどが残る。
当日昼から飲んでしまったため、朝の分が残った。
きらいだから
開封して4週間を過ぎたものは、使用しないように処方されていたため。
保存方法を忘れて使えなくなった。
朝1回にしました。それは3回です 1日で飲んだか忘れます
昼食後が飲みづらい。
薬の変化による
1週間早めに行く時もある。
受診日予約の関係。
副作用等が気になるため。
バイアスピリンを検査の為中止した。
薬は服まない。レオピン5気です。
薬は出来るだけ飲まない方針で、風邪等症状の軽いものは、途中でやめるケースが多い。

【問題点の抽出】

1. 全体では「飲み忘れた」が5割と最も多く、次いで「症状が改善または悪化したために途中で使用をやめた」、「自分で加減して使用した」の順であった。
2. 年代別では、19歳以下では「飲み忘れ」が最も多く、20～39歳と40～59歳では「飲み忘れた」と「症状が改善または悪化したために途中で使用をやめた」が多かった。（参考資料1-Q2）
3. 3か月以上では処方された日数、回数が多かったとした回答が処方日数の短いものに比較して多い傾向であった。「症状が改善または悪化したため途中で使用をやめた」では1週間以内及び1週間以上～2週間で約4割であり、それ以上の処方日数では約3割であった。（参考資料2-Q2）

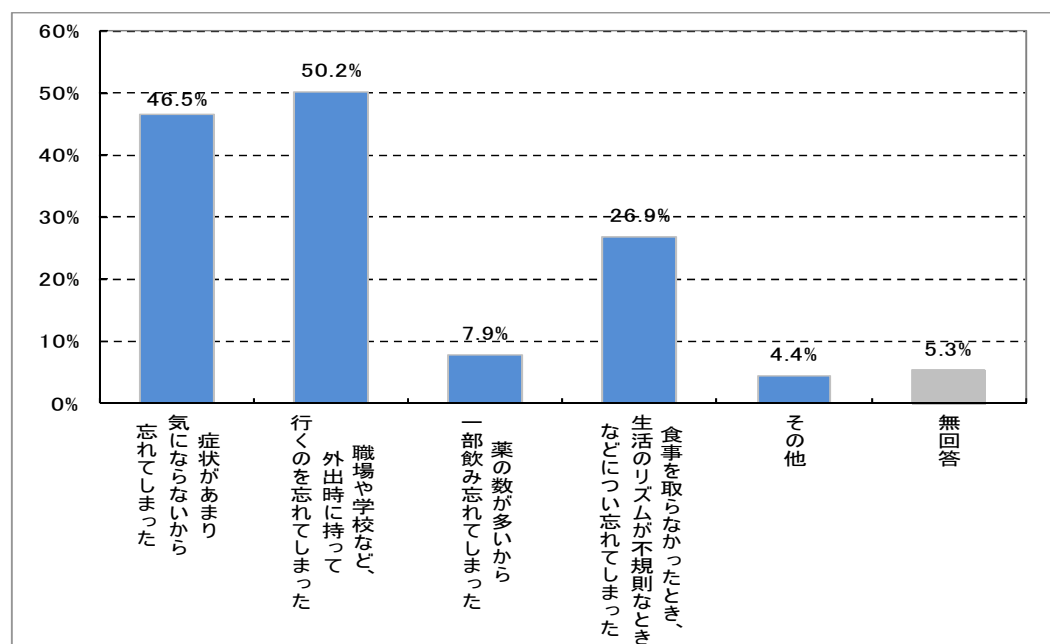
【考察】

1. 患者の行動に問題や責任もあると思われる部分や、病院・医院から薬の出しすぎなど処方の問題がある部分と双方に原因があると思われる。
2. 症状の自己判断による薬の中止への対応も検討する必要がある。特に中高年齢層では症状により自己判断する傾向がみられる。また、19歳以下の若年層では飲み忘れが多く、家族のサポートの重要性が示唆された。
3. 「症状が改善または悪化したため途中でやめた」が全体で32.5%であり、本設問から短期処方での途中中止が長期より多く、短期での投薬により注意が必要であることがわかった。

【対応策】

1. 残った理由は様々であるが、若い年代と高齢者では処方内容によって異なる可能性もあるため、さらに分析していく必要がある。
2. 医師と患者との間で薬に関する問診・情報交換を行う必要がある。
3. 長期処方においての残薬発生が高くなることを考慮して、残薬について聞き取りする必要があると思われる。症状の改善や悪化による自己判断での中止による残薬は長期処方より短期処方が多い傾向で、十分な薬の効果、副作用の説明の必要性がある。

Q3. 飲み忘れた（使い忘れた）理由は何ですか（Q2. 「1. 飲み忘れた（使い忘れた）」と答えの方）



No.	カテゴリ	件数	比率
1	症状があまり気にならないから忘れてしまった	287	46.5%
2	職場や学校など、外出時に持って行くのを忘れてしまった	310	50.2%
3	薬の数が多から一部飲み忘れてしまった	49	7.9%
4	食事を取らなかったとき、生活のリズムが不規則なときなどについて忘れてしまった	166	26.9%
5	その他	27	4.4%
	無回答	33	5.3%
	合計	872	
	有効回答者数	617	100.0%

【5.その他の回答】

忙しい、仕事の都合など
仕事の場合上、定期的にのみにくい
忙しくて、飲み忘れて、出かけたり、飲み忘れて、寝てしまったりした。
夕食後又は、昼食後に忘れてしまった。単時間で食事を取り仕事をしたとか、疲れて寝てしまった。
忙しく過ごした時（来客、長電話等）
家族とお話をしたために忘れしました。夜だけ
急用が出来て、飲まないで、家を出てしまう
忙しくて。忙しくて忘れた。朝いそがしい時。
単なるのみ忘れ
飲んだか飲まなかったかわすれてしまった
飲んだかどうかわからなくなったのでのまなかった。
単純に忘れた。
単に忘れるだけ。ただの飲み忘れ 他2件
認知症
認知症
認知症、もの忘れ、よく薬ののみ方がわからなくなってしまった。
その他
車の運転をする為飲めなかった
夕食時に酒を飲んでしまう。服用してよいのか。服用期間中は飲酒自体ダメなのか、よくわからないことが多い。
めんどくさかった
外出時
規則正しくのんではいるが
用意しておくのを忘れる
効果を感じず忘れてしまった。
一週間に1回なので翌日に飲む
副作用が心配だから
夜食事後

【問題点の抽出】

- 全体では「症状があまり気にならないから忘れてしまった」、「職場や学校など、外出時に持って行くのを忘れてしまった」がそれぞれ多数占めていた。
- 薬の数が多から一部飲み忘れてしまったとの回答では、年齢の増加に従って増加していた。参考資料 1-Q3)「職場や学校など、外出時に持って行くのを忘れてしまった」と回答では、20～39 歳、40～59 歳と多く、次いで 19 歳以下であった。(参考資料 1-Q3)
- 1 週間以内では「症状があまり気にならないから忘れてしまった」が 53.3%、1 週間以上から 3 カ月以上は「職場や学校など外出時に持って行くのを忘れてしまった」が最も多かった。(参考資料 2-Q3)
- 「食事を取らなかったとき、生活のリズムが不規則なときなどについて忘れてしまった」では 3 カ月以上では 33.7%と他の期間より若干多い傾向となった。(参考資料 2-Q3)

【考察】

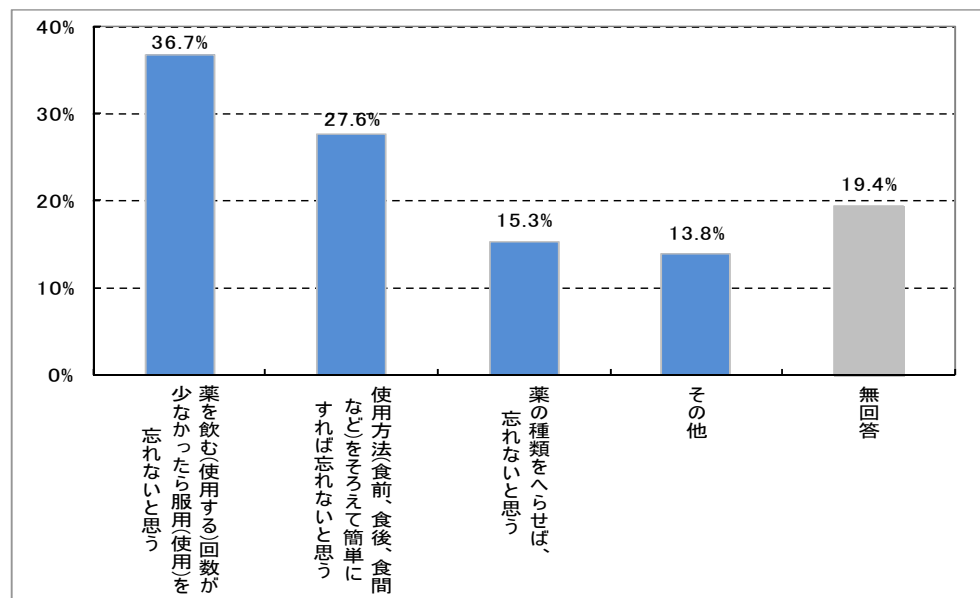
1. 患者意識の問題もあると思われるが、学校や職場に持って行きやすいように調剤を工夫する必要がある。
2. 処方期間が長いほど「職場や学校など外出時に持って行くのを忘れてしまった」が「症状があまり気にならないから忘れてしまった」より超えており、外出時への対応が必要である。

【対応策】

1. 薬剤師から患者の薬に関する問いかけが大事であり、そのことでコンプライアンス改善の可能性が大きくなると思われる。
2. 学校や職場に持参することができるように薬袋を朝、昼、夕を別にして渡すなど、患者毎のニーズに合わせた調剤の工夫が必要と思われる。患者から朝の仕事に出かける前の忙しいときに、各薬袋から昼分、夕分を取り分ける時間が無いときがあり、面倒くさいのでもっていかなかったときがありました。薬毎の薬袋より、朝、昼、夕に分かれた薬袋の方が考えなくていいのです。薬局は大変でしょうがとのコメントがあった。
3. 調剤形式を見直し、外出時に持っていける工夫が必要である。

Q4. どのようにしたらきちんと服用(使用)できると思いますか？

(Q2. 「1. 飲み忘れた(使い忘れた)」、「2. 処方された日数、回数が多かった」とお答えの方)



No.	カテゴリ	件数	比率
1	薬を飲む(使用する)回数が少なかったら服用(使用)を忘れないと思う	274	36.7%
2	使用方法(食前、食後、食間など)をそろえて簡単にすれば忘れないと思う	206	27.6%
3	薬の種類をへらせば、忘れないと思う	114	15.3%
4	その他	103	13.8%
	無回答	145	19.4%
	合計	842	
	有効回答者数	747	100.0%

【4. その他の回答】

自身の問題
自分の意識
外出先に忘れずに持って行く（自分の意識の問題）
自分（患者）が飲み忘れないように気をつける。
自分自身の不注意の為
自分で忘れない様にする事
自分がしっかりすれば忘れない
習慣をつけるようにする。
忘れることは個人の問題にある
自己責任かな。
心がけの問題
自覚があれば飲み忘れないと思います
自分の不注意なので気をつけている
自分で工夫するしかない。
薬の管理をしっかりする
忘れない様に気をつけるしかない 他 3 件
1 日 1 回のもので忘れちゃうので…
つい忘れてしまう 他 2 件
忘れる時は忘れます。
単純に飲み忘れた。
うっかりなので…
うっかりだからどうしてもなくならないと思う
症状がおさまったから飲まなかった
症状が収まったため（早期治癒）
症状が改善されたので飲まなかった。他 2 件
忘れた訳ではなく、使いきる前に症状がおさまったので、多い分には忘れないと思います。
病状が思ったより回復
楽になったので…
完治した為
良くなった気分になった為。
頭痛薬だったので症状が治まったのでやめた
痛み止めだったので
飲み忘れ防止の工夫関連
1 回分ずつ（複数の種類をまとめて）袋に日にちを記入
薬に日付を付ける。
服用時点にメールが来るようにしている
時間帯、時刻で管理、人の手を借りる
常に目の届く所に置く 他 1 件
カレンダー式の薬袋を考案して欲しい
昼食薬が忘れがち→ハブラシのそばに置くようにしている。
用事が出来た時にタイミングが合わないので飲めない為 1～2 回分は持っているといい
薬の時間に、誰かが、持って来てくれる。
食前、食後にかかわらず、時刻で決められれば、アラームなどで気づくのですが…
食事関連
食事に関係なく服用可である事。朝昼夜ではなく、飲んでから何時間後または、時間帯指示
朝・夕 2 回等家にいる時に飲める様にすれば忘れないと思う。
休日に 3 回の薬 2 回（食事 2 回）
外出時に薬を持って行くことを習慣づける
朝食取らなかつたりする事のない様に気をつける。
食事をしなかったタイミング分は残ってしまう
昼食薬が忘れがち
職場の昼食後が忙しく飲み忘れ時間がすぎてしまう事が多い。

外出関連
外食の時に、持って行くのを忘れる。他 1 件
外出時持参するのを習慣にしたい。
外出時に忘れる
常備している職場以外の外出先へ行ったときに忘れた
外出が多いので不規則になることがある
受診日の関連
早めに病院に行った
受診日が日数と合わない
・頓服薬は少量をこまめに処方する。 ・受診間隔と処方日数を合わせる（e x . 受診は 8 週間毎なのに処方日数は 6 0 日分なので薬が余る。）
医師に相談した
次回診察の時残った分をへらしてもらう
D r に必要な日数をきちんと伝える長目にもらわない
回数が多い為医者が 1 回朝だけにした。
その他
飲み忘れた後、どれ位の時間があいても、飲んでよいかわかれれば、少しは、継続しやすい。
自分のライフスタイルにあわせたアドバイスがほしい 工夫
症状が少し良くなると、気持ち的にも安心してしまうところがあるような気がします。
余分に処方してもらっている
D r が多めの日数を処方してくれているので余る。必要最低限の日数なら余らない。
1 日 1 回夜だけなのでつい忘れる。何年も使っていて変化ないので良いと思う
副作用心配？
症状が強ければ服用すると思う
面倒だった。薬効によって。重要なものはちゃんと飲む。
入院すると、薬の日数があわなくなる。
病気がお蔭様で薬を必要としないので…
認知症が改善したら、きちんとめめるようになってきた。
体を休めて健康な体を作ることが大切
無理

【問題点の抽出】

1. 全体では薬を飲む（使用する）回数が少なかったら服用（使用）を忘れないと思う 36.7%が最も多く回答した。
2. 65～74 歳以外では 20 歳から 64 歳までの各層では「薬を飲む回数が少なかったら服用を忘れないと思う」が 4 割以上を占め最も多かった。「薬の種類をへらせば、忘れないと思う」の回答に関しては、各年齢層 1 割から 2 割の回答であった。（参考資料 1-Q4）
3. 処方日数による傾向は特に無かった。（参考資料 2-Q4）
4. 「職場や学校など、外出時に持って行くのを忘れてしまった」と回答した方は、「薬を飲む回数が少なかったら服用を忘れないと思う」が 48.7%と最も多く、「薬の数が多いから一部飲み忘れてしまった」と回答した方は「回数が少なかったら服用を忘れないと思う」が 49.0%と多く回答した。（参考資料 4-Q3×Q4）

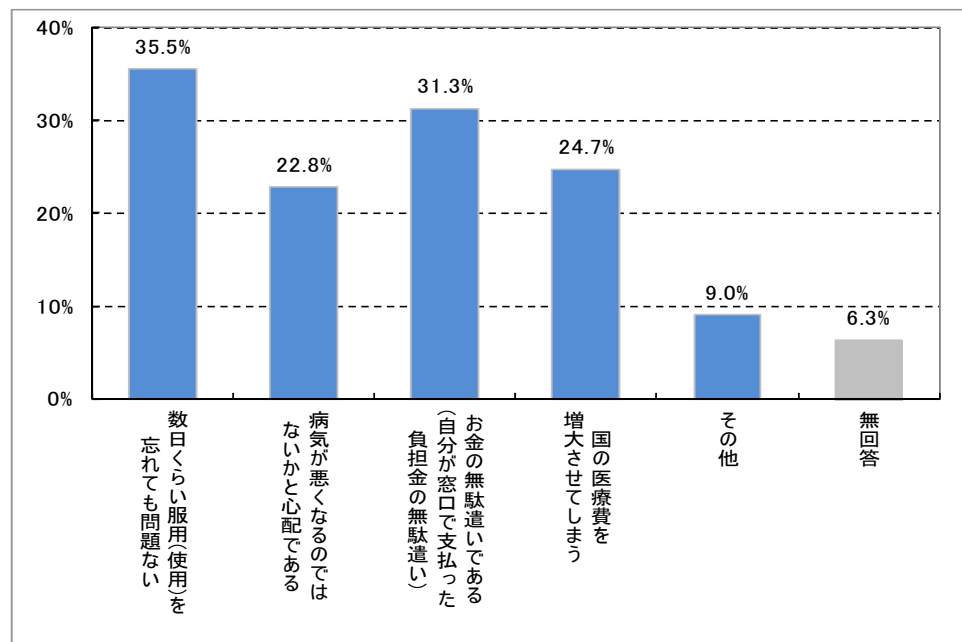
【考察】

1. 糖尿病薬のように服用時刻が複雑化していることが飲み忘れの原因であるとも考えられる。
2. 20 歳以上 64 歳以下の年齢層では薬の種類より回数を減らせばきちんと服用できている。この一つの要因は、前設問 Q3 から判るように、学校や職場での服用忘れがあり、その分の回数が減ればということが考えられる。
3. 処方日数による傾向はない。
4. 患者のライフスタイルも考慮した処方設計が必要であると思われる。

【対応策】

1. 処方された薬をきちんと服用させることも大切であるが、高齢者ではその服用方法が煩雑であるために服用忘れが多くあるのであれば、服用方法を簡単して同じ効果となるような処方提案が必要である。また、学校、職場での服用を少なくするような剤形の選択、または学校、職場においても忘れないような対応策の提案が必要である。
2. 薬剤師と患者のコミュニケーションが大切であり、患者のライフスタイルを考慮して処方提案していく。

Q5. 残薬についてどのように思われますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	数日くらい服用(使用)を忘れても問題ない	610	35.5%
2	病気が悪くなるのではないかと心配である	391	22.8%
3	お金の無駄遣いである(自分が窓口で支払った負担金の無駄遣い)	537	31.3%
4	国の医療費を増大させてしまう	423	24.7%
5	その他	155	9.0%
	無回答	108	6.3%
	合計	2224	
	有効回答者数	1716	100.0%

【5.その他の回答】

次回、症状が出た際に使用
次に同じ症状の時に使う。他11件
症状が出た時に使用する
次回似たような症状の時の予備薬に回せる。
再使用するのでは何とも思わない。
次に症状が出たときに飲むので悪くはない
別の機会に使用するので気にしない
主要な薬は飲み切るが胃薬や痛み止めは次の何かの症状で使えればと思っている。
半年くらいの間に同じ症状の時は使用してしまう事もある。（風邪の場合）
風邪薬の残薬は、次回風邪をひいた時の為に残しておきたい
じんましの薬なので改善された為飲まなくなった。又出たら飲む
また具合が悪くなった時にスグのめるので助かる。
その後の使用もできるので管理が大事。
症状がよくなってやめただけなのでとっておく。無駄ではない
たまたま余ったが、治らなかった時には必要なため微妙
かかりつけと大きい病院の差があり、出し方がちがう 個人 毎日大きい病院。発作時にとん服として
何かあった時に使えるからとっておく。
何かあった時に使用できる 特にカゼぐすり
災害時に使えるのではないかな。大事にしている。
災害時のために残しておきたい。
医師から次回の応急用として使うことをすすめられている
治ったらのまなくても良い
回復してからも飲み続けようと思わない
回復したのなら残ってもしかたない。
よくなったので飲む必要はない
改善した場合、飲む必要がないので、やめた。他2件
症状が良くなると、自分の判断でやめてしまう。
治ったら飲む必要はないと考える。無駄になるかもしれないが不要な薬はのまない。
基本あまり飲みたくないの、大体よくなったらやめてしまう
鎮痛剤のため服用しなくてよかった
特に楽になれば良いと思う。
仕方ない
時にはしようがない
仕方ない
やむをえない。
事情により止むを得ない
少しぐらい忘れてもかまわない
忘れたとしても、1日2日なので問題ない
症状の改善に時差が生じるのでしょうがない
医師の指示通りなので問題ない
風邪薬、下痢止めは症状が落ち付いたら止めるので仕方ないと思う。
症状が良くなったので仕方がない
薬による
薬によって色々
薬の種類による 他1件
薬の種類にもよるが、来院を調節する
薬の内容により違う。抗生剤→のみ切り e t c
薬によって頓服、生活習慣病薬等違いがあると思う
薬の種類によって3（お金の無駄遣いである。）
ものによっては問題あると思う
薬によっては数日位服用しなくてもよい

返品・引き取り関連
返品できると良い
返品したい気持ちです。（２度と使用しないので）
処方された所に返しても良いと思う
ひきとってほしい
残薬の処分をどうしたら良いかわからないので困る
飲み残しが返せると良いと思います
薬が途中で変更になった時に前のあまった薬の処分も困るしもったいない。
処分関連
不要であれば、捨ててしまいたい
不要なため捨ててしまう
捨てる。他２件
処分
適正量関連
医師は適切な量を処方すること。
病状にも個人差があり、適量の基準も不透明
多く出し過ぎ
必要以上に長く、多く出されている
投薬が多すぎるのではないかと思う。
最近医者での薬を出し過ぎだと思う
自己責任
残薬をしないよう、努力する
ちゃんと飲むべきだったと反省している
自己責任
自分のせい
その他
再利用の道があればと思う
D r に伝えにくい。
とくに悪い時と言われている薬があるため
医師から認めていただいてる範囲内で忘れていたのであまり気にしていない。また残薬も、最大限活かして使っています。
必ずあまるので、深く考えた事はない。多めに薬をもらうと、安心する。
足りない時の方が困ってます
特に聞いていない
毎回同じ処方是不用と思う
病気次第。重要な病気の時、きちんと飲むべきである。
私の場合、薬を飲んで改善されなかった。残薬は問題。再診→薬増量のケース。
１０日分出たが、４日分飲んだら副作用が出たのでやめました。
薬の効果が解らなくなるのできちんと服用しないといけない
続けて服用しているので気にしていない
次回同じ薬が出た際に効くか不安
自己中断等、治ったつもりになっているのでは？
誤って飲んだりしそう
薬は使用は注意してます。
本来残ったものは期日内に飲まないといけないとは分かっているが。
わすれてはいけないのはわかっている
忘れるのは昼食薬が多い。
食後すぐ飲めばいいのですがつつい忘れがち　でも気にかけている
塗り薬はどうしても余ってしまう
こんなのに関係なく薬をのみつづけるのか　体によくない
１～２日位
限度にもよるが、あまりに多い場合は、他の四つのすべてに該当する。
２年位は大丈夫　粉末は３ヵ月
薬の品質の劣化
古くなるのが良くない
期限が心配

【問題点の抽出】

1. 全体では数日くらい服用を忘れても問題ないと回答したのが一番多く 35.5%であった。これは病気が悪くなるのではないかと心配であるより多く、病気治療における薬物療法の意味が理解されていない結果と思われる。
2. 特に、19 歳以下では 46.2%あり、年齢が増すに従って減少している。また、病気が悪くなるのではないかと心配と回答したのが 19 歳以下であり 53.8%と一番多く回答した。(参考資料 1-Q5)
3. 処方日数による傾向は特になかった。(参考資料 2-Q5)
4. 残薬がある患者は「数日くらい服用(使用)を忘れても問題ない」が 38.5%、残薬がない患者は「病気が悪くなるのではないかと心配である」が 35.8%と多く回答し、残薬の発生が服用に意識に大きく影響している結果となった。(参考資料 3-Q5)
5. 「症状があまり気にならないから忘れてしまった」「職場や学校など、外出時に持って行くのを忘れてしまった」「食事を取らなかったとき、生活のリズムが不規則なときなどについて忘れてしまった」と回答した方では「数日くらい服用を忘れても問題ない」と回答した方が一番多く 51.2%、47.7%、45.8%であった。「薬の数が多いから一部飲み忘れてしまった」と回答した方は、「病気が悪くなるのではないかと心配である」と回答したのが多く 49.0%であった。
(参考資料 4-Q3×Q5)

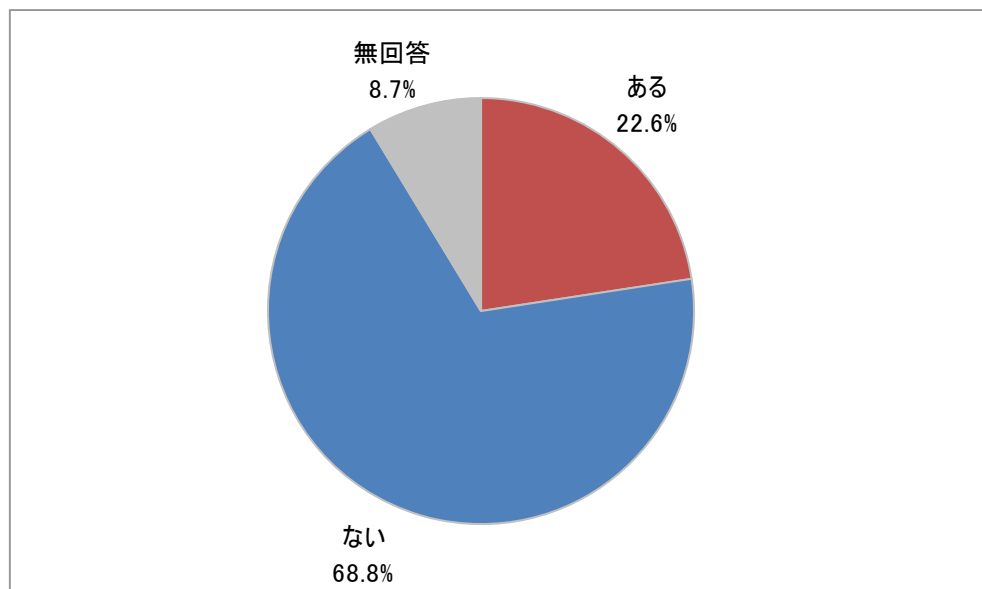
【考察】

1. 全体的に残薬についての認識が低いため、よって残薬が多くなるのは当然だと思われる。
2. 薬とお金の意識については、自己負担の無駄遣いが約 30%、国の医療費の増大が約 25%であり、更に医療経済意識の啓発が必要と考える。本設問の解答欄に医療費の増大が記載されているからこそ 25%あったわけで、事前の記載がなければもっと低値と考えられる。自分の支払の問題より国の医療費のことは意識が低いことがこの結果で明白となった。
3. 処方日数による傾向はなかった。
4. 残薬のあり、なしに関わらず、支払いや国の医療費について関心を示している。
5. 服用している薬の数が多い方は飲み忘れが病気の悪化になると捉えているようである。患者の病気と薬に関する知識が少なく自己判断は良くないものとする。無駄遣い、もったいないの認識から残薬を無くす改善が見込めることがうかがえた。

【対応策】

1. 残薬を少なくするためには、自己の病状だけでなく医療費の無駄であることを啓発する必要がある。医師、薬剤師は患者にもっと処方意図を説明し、患者に積極的に薬物療法に参加させるように指導すべきである。さらに医師・薬剤師・患者相互で残薬を減らす対策をとる必要がある。
2. 薬剤師は患者にもっと薬物療法の関する意識を患者に説明すべきであり、病識をもっと高めることによって、コンプライアンス向上に関与すべきである。
3. 薬の数を減らすことで飲み忘れを防止できる可能性が示唆された。

Q6. 病院・医院で医師から残薬について聞かれたことがありますか？



No.	カテゴリ	件数	比率
1	ある	387	22.6%
2	ない	1180	68.8%
	無回答	149	8.7%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では約 70%が医師から残薬について聞かれたことが「ない」と回答している。
2. どの年齢においても病院・医院において残薬について聞かれていないことと回答したのが、60%を超えていた。(参考資料 1-Q6)
3. 残薬がない方の方が医師から残薬について聞かれていない傾向であった。残薬がある方の 25.1%が医師から残薬について確認をされている結果となった。(参考資料 3-Q6)

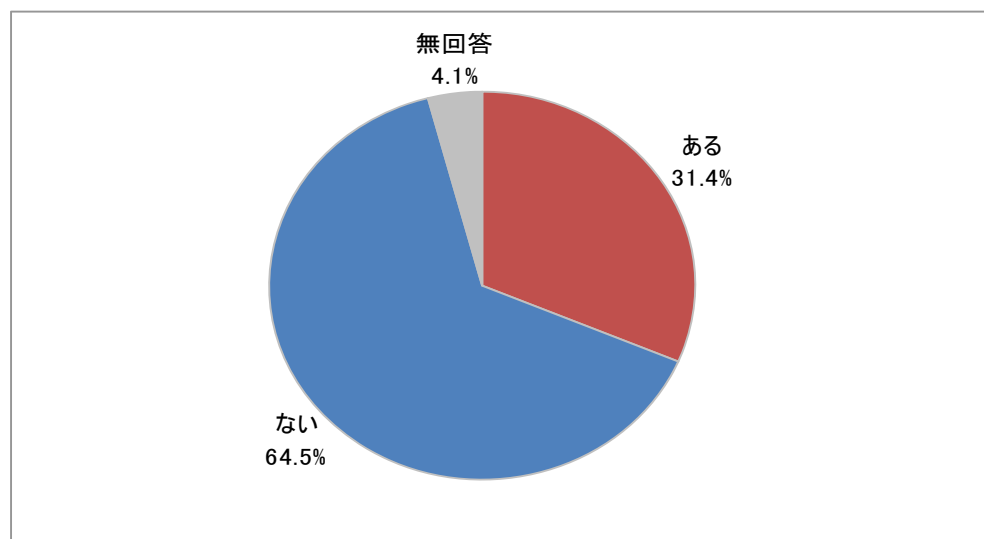
【考察】

1. 医師は疾病の診療に多忙であり、残薬確認まで手が回らないことが考えられる。「薬でかせぐのはやめてもらいたい」との意見もあった。
2. 患者の 7 割に残薬があるのに医師から残薬に対する質問がないのは治療法の正当性が不足といえる。

【対応策】

1. 医療費抑制のためにも、医師は患者の残薬を積極的に確認して処方するように心がけるべきである。
2. 医師は診察時に残薬について患者に問いかけが必要である。

Q7. 飲み忘れなどで残った場合、受診時に医師に話をして残薬の調整をお願いしたことがありますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	ある	538	31.4%
2	ない	1107	64.5%
	無回答	71	4.1%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

- 全体では 64.5%が「残薬の調整をお願いしたことがない」と回答している。
- 年齢別では 20～39 歳以下で「残薬の調整をお願いしたことがある」は 18.3%であったが、65～74 歳は 39.9%と年齢の増加とともに「ある」が増加している傾向である。（参考資料 1-Q7）
- 病院から調剤された薬で「残薬がない」と回答した方ほど、残薬について医師に残薬についての調整をお願いしたことが「ない」74.8%と回答した。病院から調剤された薬で「残薬がある」と回答した方は医師に残薬についての調整をお願いしたことが「ない」のが 18.4%存在している。（参考資料 3-Q7）

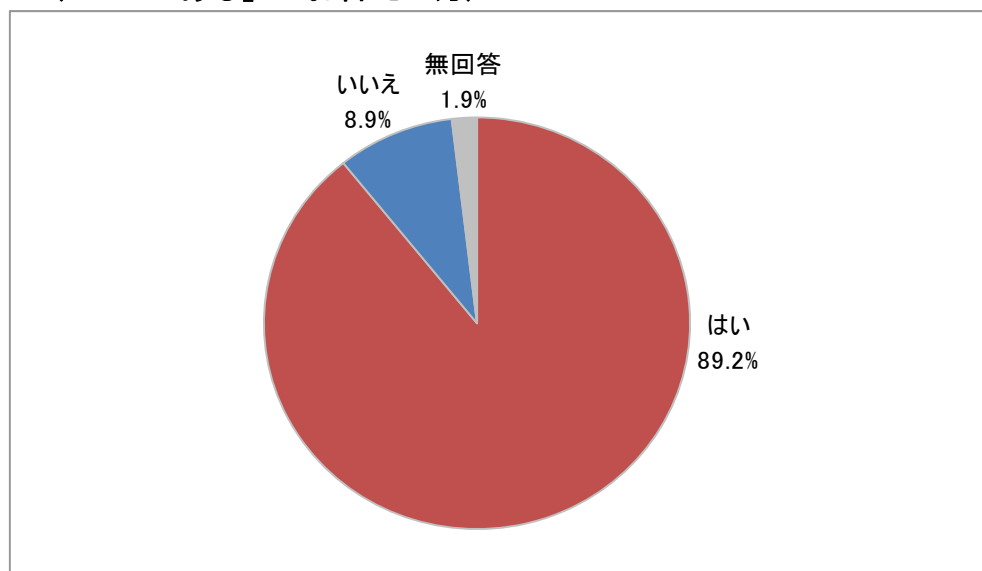
【考察】

- 何故に薬が残っていても医師に伝えないのか、このことは Q5 より「数日くらい服用を忘れても問題ない」35.5%「お金の無駄遣いで有る」は 31.3%などから、疾患への影響、医療費など問題意識が少ないことも推測される。
- 残薬をもちながら薬の調整をしてもらわない人があり、患者本人から医師に残薬について言いづらい状況とも受け取れる。

【対応策】

- 残薬を少なくするためには、自己の病状だけでなく医療費の無駄であることを啓発する必要が課題である。患者側にもっと残薬についての意識を持たせて、システマチックに医師に残薬の情報を知らせるように工夫が必要である。
また、医師への報告事項として患者から積極的に薬に関する質問等がなされるように広報すべきである。
- 患者も積極的に残薬の事を医師に伝えるべきであるが、患者心理も考えると医師は服用状況を確認して積極的に残薬調整すべきある。

Q8. 残薬調整のために、その分の医薬品を減らして処方してもらえましたか
(Q7. 「1. ある」とお答えの方)



No.	カテゴリ	件数	比率
1	はい	480	89.2%
2	いいえ	48	8.9%
	無回答	10	1.9%
有効回答者数		538	100.0%

【問題点の抽出】

- 全体では 89.2%が「はい」と回答し、医師は患者からの訴えがあればほぼ投薬を調整している。
- 各年齢において共通して変更されているが、75 歳以上だけが他の年齢層に比較して少なかった。
(参考資料 1-Q8)
- 残薬のあり、なしでは特に差は無かった。(参考資料 3-Q8)

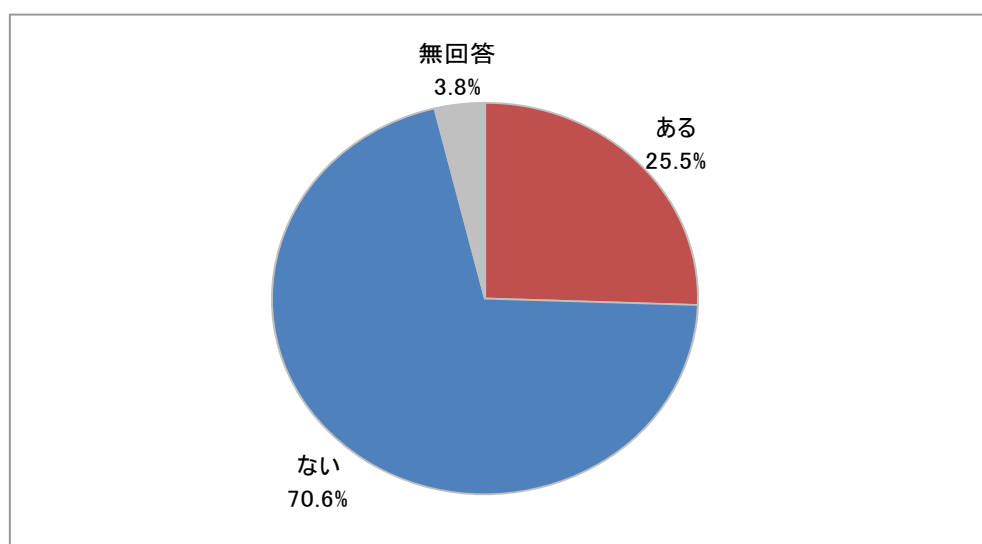
【考察】

医師と患者で意見交換がなされていない部分とも思われる。

【対応策】

患者側にもっと服薬遵守率を高めさせることも必要であるが、残薬についての意識を持たせ、医師へ残薬の情報を知らせるように啓蒙していく必要がある。

Q9. 薬局において残薬について聞かれたことがありますか？



No.	カテゴリ	件数	比率
1	ある	438	25.5%
2	ない	1212	70.6%
	無回答	66	3.8%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では70.6%が「聞かれていない」と回答した。
2. 各年齢においても6割以上は「聞かれていない」と回答し（参考資料1-Q9）、薬局において残薬の把握を行っていない現状が明らかとなった。
3. 残薬のあり、なしで差は見られなかった。（参考資料3-Q9）
4. 残薬について病院・医院において聞かれた方で、薬局において聞かれなかった方は42.6%、病院・医院において聞かれなかった方で、薬局でも聞かれなかったかたは82.2%にものぼっている。（参考資料4-Q6×Q9）

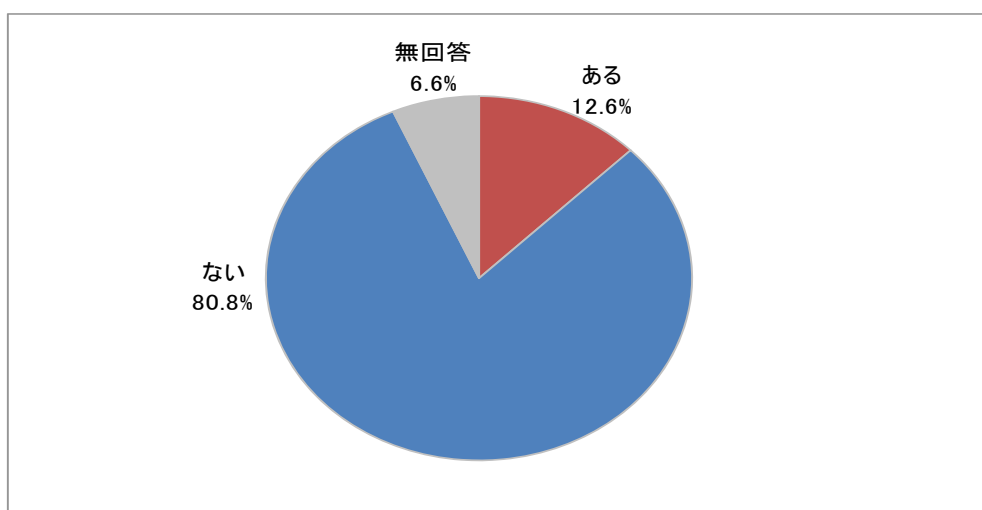
【考察】

1. 薬剤師からの残薬に関する問いかけが少ない。
2. 薬局で確認しても残薬のある26.4%の方への今後の対応の必要性が示唆された。
(参考資料3-Q9)
3. 残薬調整について医師のサポートとして薬局が関与していないと受け取れるデータとなった。

【対応策】

1. 薬剤師からもっと積極的な問いかけがほしい。
2. 薬剤師は常に残薬を確認し、残薬についての啓発活動をさらに推進する必要がある。また説明を聞いている方でも、何かしらの理由で残薬を生じているので、患者の状況をよく確認する必要がある。
3. もっと残薬について医師も薬剤師も患者へ問いかけるべきであると同時に患者からも残薬があれば伝えるべきである。医師のサポートとして薬局が積極的に残薬調整の役割を果たすべきである。

Q10. 飲み忘れなどで残った場合、薬局において薬剤師に残薬の調整をお願いしたことがありますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	ある	216	12.6%
2	ない	1386	80.8%
	無回答	114	6.6%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では「ない」が 80.8%と回答した。Q7 で病院・医師からの「飲み忘れなどで残った場合、受診時に医師に話をして残薬の調整をお願いしたことがありますか」との質問では全体で 64.5%が「ない」と回答しており、薬局では病院・医院より残薬について聞いていないことが分かった。
2. 年齢での傾向は特に認められなかった。（参考資料 1-Q10）
3. 残薬のあり、なしで差は見られなかった。残薬が有る方の 80.7%は薬剤師に残薬調整をお願いしたことが無く、残薬がない方でも 81.2%は薬剤師に調整を依頼していない結果となった。（参考資料 3-Q10）

【考察】

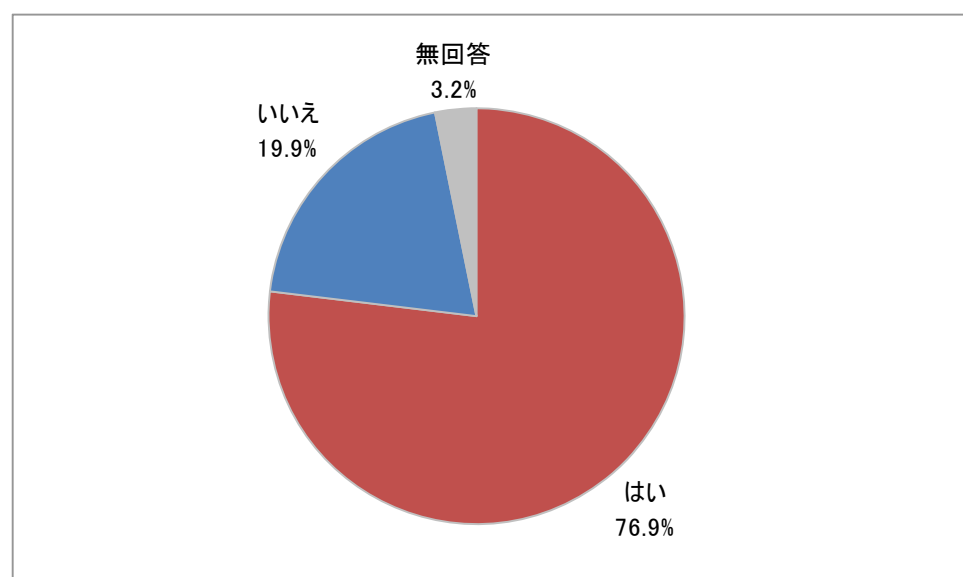
1. 薬局において残薬調整の役割について関与が低い結果であった。残薬について問いかけがあると調整も話しやすいと思われる。
2. 薬剤師が医療人として医療のサポートを実施していないため、患者も残薬を気にせず、Q5「数日くらい服用を忘れても問題ない」35.5%、医療費へ関心が低い結果となっているのではないかと考えられる。
3. 薬剤師は患者さんに残薬調整をすることを伝えていない（情報提供をしていない）現状がわかった。

【対応策】

1. 薬剤師からの積極的な問いかけをするよう広報を行い、積極的に患者の残薬について聞き取り調査を行って、残薬調整に関与すべきである。
2. 薬剤師は残薬確認を必須とし、残薬が有る場合は、処方医に処方変更を提案すべきである。
3. 薬局ではもっと積極的に残薬について関与すべきであり、薬剤師の役割をもっと積極的にアピールし患者に理解してもらうことが大切である。

Q11. その結果、薬局において、処方日数や回数を変更してもらえましたか？

（Q10. 「1. ある」とお答えの方）



No.	カテゴリ	件数	比率
1	はい	166	76.9%
2	いいえ	43	19.9%
	無回答	7	3.2%
	有効回答者数	216	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では 76.9%が「はい」と回答した。Q8 の病院・医院から「残薬調整のために、医薬品を減らして処方されましたか」との質問では全体で 89.2%が「はい」と回答しており、薬局での変更の関与が低い傾向であった。
2. 年齢による傾向は特に認められなかった。(参考資料 1-Q11)
3. 残薬のあり、なしでは特に差は見られなかった。(参考資料 3-Q11)

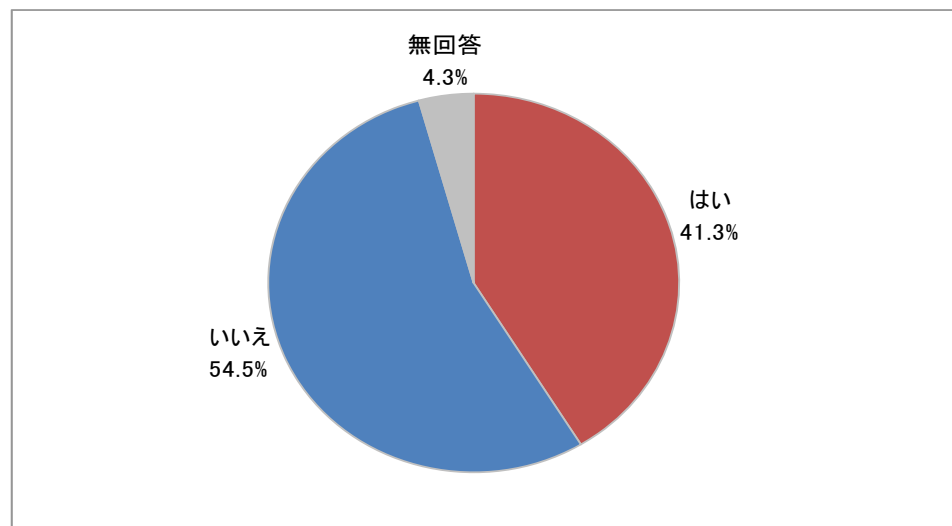
【考察】

1. 薬剤師による残薬確認の不履行が問題であり、薬局において残薬調整の役割について関与は低い結果であった。
2. Q6 において医師からの残薬確認が無いが 68.8%、Q9 において薬剤師からの残薬確認が無いが 70.6%と薬の専門家からの確認が医師より無いことが問題であると考ええる。
3. 病院・医院で残薬調整してもらえた結果に比べて、薬局で残薬調整してもらえた結果が低いことが分かった。これは薬局側の対応が悪いのか、その原因を調査すべきと思われる結果であった。

【対応策】

1. 薬局はもっと積極的に患者の残薬について聞き取り調査を行って、残薬調整に関与すべきである。
2. 残薬を減らすため、もっと広報すべきである。

Q12. 病院・医院において、ジェネリック医薬品について医師から説明を受けたことがありますか？



No.	カテゴリ	件数	比率
1	はい	708	41.3%
2	いいえ	935	54.5%
	無回答	73	4.3%
有効回答者数		1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では 41.3%が「はい」と回答し半数以下であった。
2. 各年齢においても半数以下の回答であった。(参考資料 1-Q12)
3. 処方日数の増加によって、説明を受けている傾向であるが、一番処方日数が長い 3 か月以上では減少していた。(参考資料 2-Q12)
4. 残薬のあり、なしでは特に差は見られなかった。(参考資料 3-Q12)

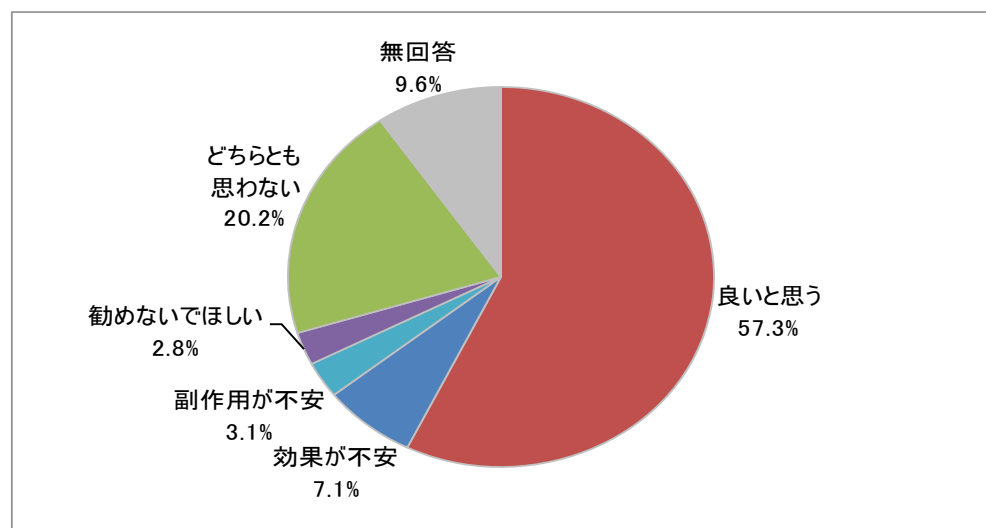
【考察】

1. まだ病院・医院からジェネリックを活用しようとなっていない様子が伺われ、医師は医療費抑制のためもっと積極的にジェネリック医薬品について患者に説明するべきである。
2. 経済効果が高いと思われる3か月以上の処方では、ジェネリック医薬品について説明を受けていないことが分かった。長期処方では慢性疾患の方が多いのでジェネリック医薬品に切り替えられないか検討の必要がある。
3. ジェネリック医薬品について説明を受けている人が意外と少ない。

【対応策】

1. 患者は医療費負担も増えているので積極的に投げかけて欲しいとの意見もあり、ジェネリック医薬品への切り替えは医師主導ではなく、薬剤師主導で行うほうが良いのではないかな。
2. 残薬についての問い合わせなど、薬剤師と患者のコミュニケーションが大切である。経済効果が高い3か月以上の処方において説明を強化していく必要がある。
3. ジェネリック医薬品に対する広報情報の提供を患者に向けてすべきである。

Q13. 病院・医院の医師からジェネリック医薬品の処方を勧められることについてどのように思われますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	良いと思う	984	57.3%
2	効果が不安	121	7.1%
3	副作用が不安	53	3.1%
4	勧めないでほしい	48	2.8%
5	どちらとも思わない	346	20.2%
	無回答	164	9.6%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では57.3%が「良いと思う」とした。
2. 年齢的な相関は特に認められなかった。しかし、75歳以上では良いと思うと回答したのが半数以下であった。(参考資料1-Q13)
3. 医師からの勧めに対して「効果が不安」7.1%、「副作用が不安」3.1%と低く、「勧めないでほしい」と思うとの回答は2.8%であった。これは、Q16の薬剤師の勧めに対してもほぼ同等であった。
4. 残薬のあり、なしでは特に差は見られなかった。(参考資料3-Q13)

5. 病院・医院においてジェネリック医薬品について説明を受けている方は、70.5%がジェネリック医薬品を勧められることについて良いと思うと回答している。(参考資料 4-Q12×Q13)

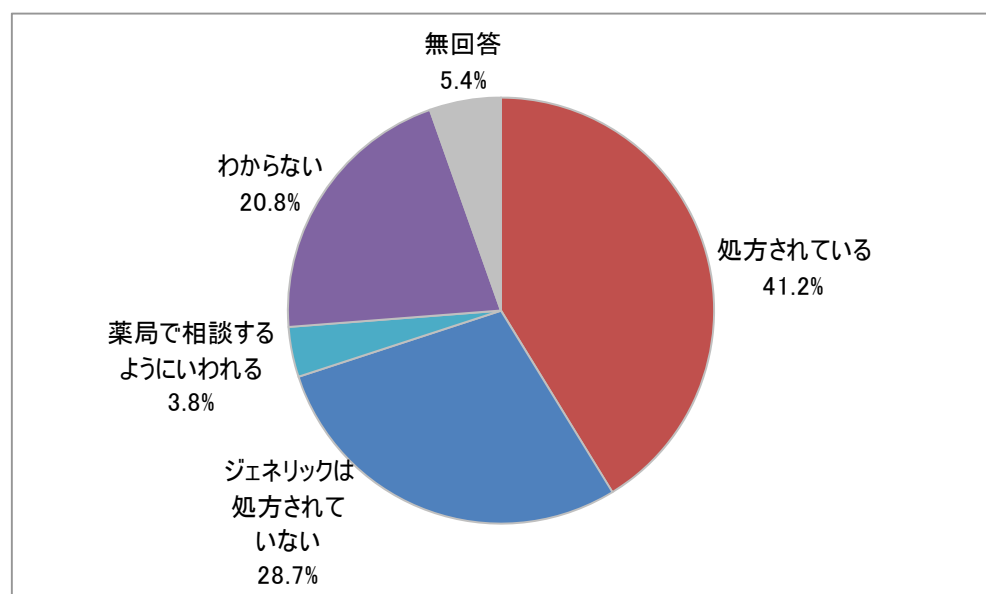
【考察】

1. 高齢者は自己負担が1割と負担が少ないため、ジェネリック医薬品への切り替えに消極的とも思える結果であった。ジェネリック医薬品への効果、副作用についての不安は低い傾向であると思われる。
2. ジェネリック医薬品について半分ほどが賛成、半分弱が不安やわからないと判断している。
3. Q13にて医師よりジェネリック医薬品を勧められることについてよいと思っているが全体の57.3%であり、本設問より、実際説明を受けた方の7割がよいと回答している。また、医師からジェネリック医薬品の説明を受けてない方でもその内の5割がよいと思っている。

【対応策】

1. 薬を服用している人数、種類が多い高齢者ほど、ジェネリック医薬品への切り替えを積極的に行うことが必要であり、ジェネリックの情報提供をもっとすべきである。
2. ジェネリック医薬品に対する広報情報の提供を患者に向けてすべきである。
3. 積極的にジェネリック医薬品についての説明をすべきであり、情報提供を強化していく必要がある。

Q14. 病院・医院からジェネリック医薬品を処方されていますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	処方されている	707	41.2%
2	ジェネリックは処方されていない	493	28.7%
3	薬局で相談するようにいわれる	66	3.8%
4	わからない	357	20.8%
	無回答	93	5.4%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体において処方されていると回答したのが、41.2%であった。また、「わからない」と回答したのが、全体で20.8%あり、説明不足なのか理解不足かは不明であるが、ジェネリック医薬品の理解が低いことがうかがわれる。
2. 各年齢においても処方されていると回答したのが、半数以下であった。(参考資料 1-Q14)
3. 処方日数の増加に従ってジェネリック医薬品の処方も増加しているが、一番長い3か月以上では逆に低下している。(参考資料 2-Q14)

4. 残薬のあり、なしでは特に差は見られなかった。(参考資料 3-Q14)

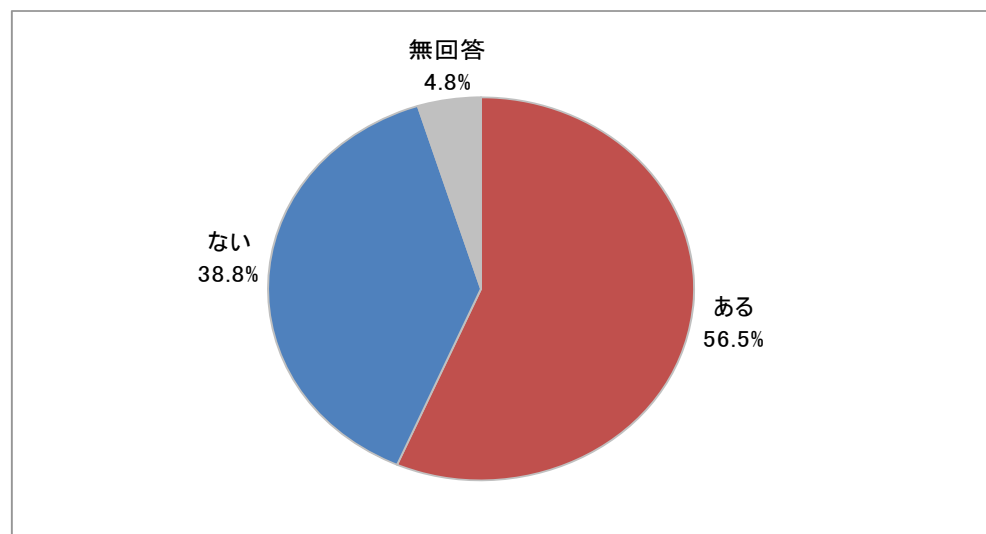
【考察】

1. ジェネリック医薬品は多く処方されていないという結果であった。わからないとの回答が全体で2割おり、これは医師、薬剤師どちらからも説明を受けていないためなのか、処方された薬にジェネリックが無かったため説明を受けなかったのか不明である。
2. 経済効果が高いと思われる3か月以上の処方ではジェネリック医薬品が処方されていないことが分かった。

【対応策】

1. 処方された薬にジェネリック医薬品がないから処方されなかったか不明であるため、さらに調査を行う必要がある。患者からもジェネリックに対する積極的な問いかけが欲しいが、たとえ先発薬しか処方されていなくとも患者に対して先発薬のみであることの説明を実施する必要がある。
2. 経済効果が高い3か月以上の処方において、ジェネリック医薬品が処方されるように説明を強化していく必要がある。
3. 保険の自己負担増も考え、ジェネリック医薬品に対する広報情報の提供を患者に向けてすべきである。

Q15. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更について薬剤師から説明を受けたことがありますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	ある	969	56.5%
2	ない	665	38.8%
	無回答	82	4.8%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では「ある」と回答したのが、56.5%であった。
2. 各年齢層においても半数以上が「ある」と回答した。(参考資料 1-Q15)
3. 処方日数による傾向は特に無かった。「ない」と回答しているのが3か月以上の処方においても33.6%存在している。(参考資料 2-Q15)
4. 残薬のあり、なしでは特に差は見られなかった。(参考資料 3-Q15)

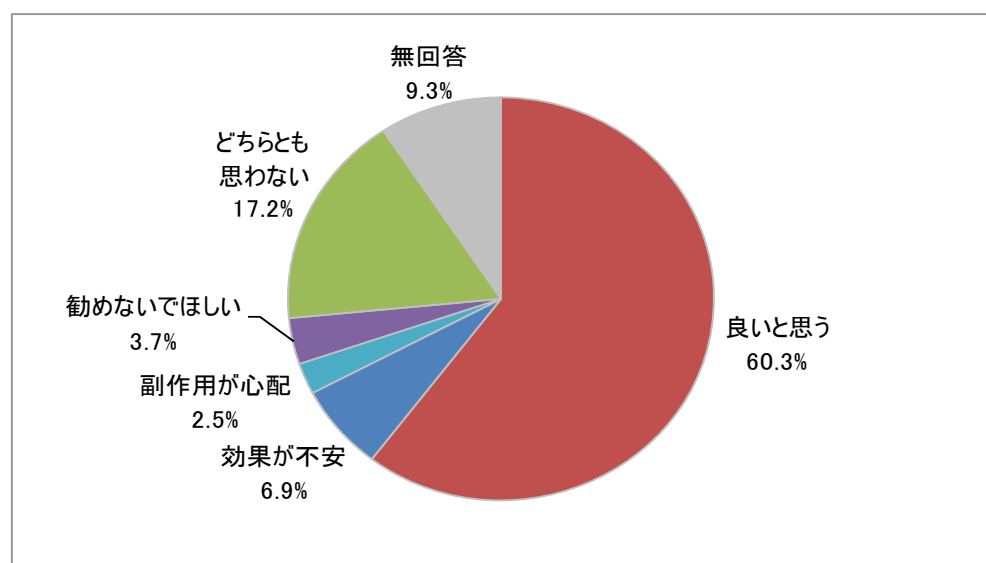
【考察】

1. ジェネリック医薬品の説明は Q12 の病院・医院に比較して薬局で多く説明を受けていることが分かった。
しかし薬剤師からの説見が約 6 割であること考えるとジェネリックの勧めがまだ進んでいないと捉えることができる。
2. 処方日数による傾向は特に無かった。

【対応策】

病院・医院に比較して薬局でジェネリック医薬品について説明されているが、説明されていないのも全体で約 4 割存在している。薬局ではさらにジェネリック医薬品について説明を推進すべきである。

Q16. 薬局でジェネリック医薬品への変更について、薬剤師から勧められることについてどのように思われますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	良いと思う	1035	60.3%
2	効果が不安	118	6.9%
3	副作用が心配	43	2.5%
4	勧めないでほしい	64	3.7%
5	どちらとも思わない	296	17.2%
	無回答	160	9.3%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では 60.3% 割が「良いと思う」と回答した。
2. 各年齢においての相関は特に認められなかった。(参考資料 1-Q16) Q13 の医師と薬剤師による勧めについて概ね差はないと思われる。
3. 全体では薬剤師からの勧めに対して「効果が不安」6.9%、「副作用が不安」2.5%、「勧めないでほしい」と思うとの回答は 3.7% であり、医師の勧めとほぼ同等であった。
4. 残薬のあり、なしでは特に差は見られなかった。(参考資料 3-Q16)
5. 病院・医院よりジェネリック医薬品について説明を受けている方の 70.5% がジェネリック医薬品を勧められることについて良いと思うと回答し、無い方でも 49% がよいと思っている。(参考資料 4-Q12×Q13) 薬局においても同様な結果となり、説明を受けた方の 70.1% がよいと思っており、説明を受けたことがない方でも 50.7% がよいと思っていると回答した。(参考資料 4-Q15×Q16)

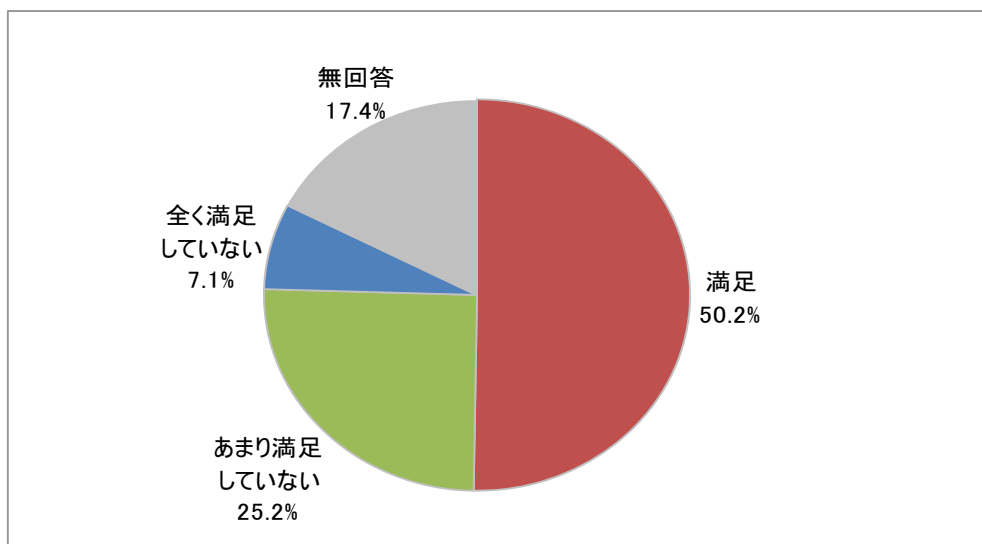
【考察】

1. ジェネリック医薬品への効果が不安、副作用が心配と回答したのが、少数ながらあった。
2. ジェネリック医薬品の勧めは、医師と比して薬剤師でも十分に患者に受け入れられていることがわかった。薬局においてジェネリック医薬品についてきちんと説明されれば、多くは良いと回答している。医師、薬剤師より説明を受けた人は勧められる事に違和感ないようである。

【対応策】

1. 価格だけではなく、効果、副作用を含めた情報提供を行っていくべきである。
2. 薬局でのジェネリック医薬品についての説明を徹底していく必要がある。

Q17. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更説明に満足していますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	満足	862	50.2%
2	あまり満足していない	433	25.2%
3	全く満足していない	122	7.1%
	無回答	299	17.4%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では 50.2%の半数以上は満足していると回答しているが、「あまり満足していない」「全く満足していない」を合わせると 32.3%あった。
2. 各年齢においては特に差は無いと思われるが、75 歳以上は満足されていない傾向となった。(参考資料 1-Q17)
3. 残薬のあり、なしでは特に差は見られなかった。(参考資料 3-Q17)
4. 薬局でジェネリック医薬品への変更について薬剤師から勧められることについてどのように思われますかとの設問では、薬局においてジェネリック医薬品への変更を勧められることについて良いと思う方のうち、説明に満足しているのが 67.1%と高かった。一方、あまり説明に満足していないでは薬局においてジェネリック医薬品の説明に対して「効果が不安」・「副作用が心配」と回答した方が多かった。(参考資料 4-Q16×Q17)

【考察】

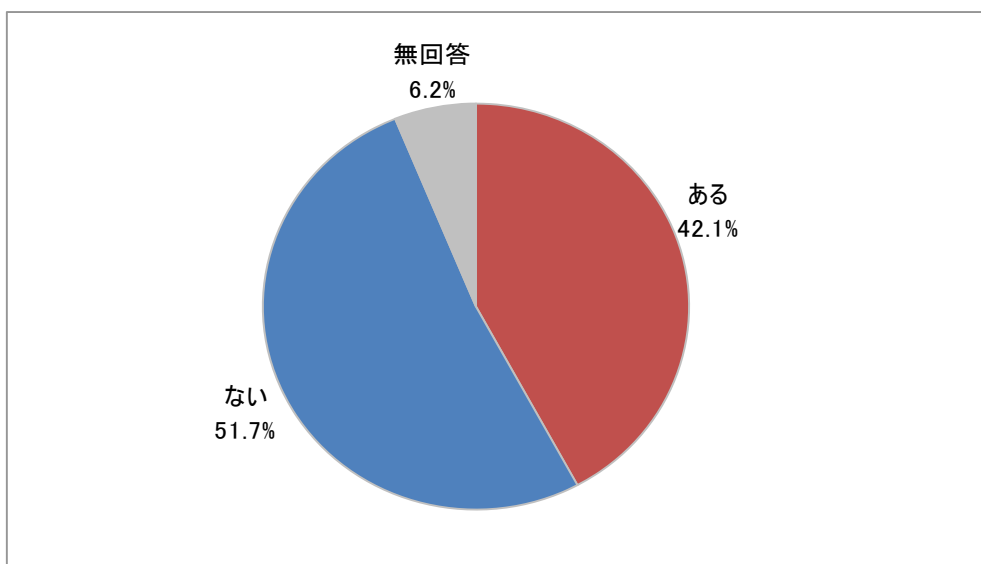
1. 薬剤師の変更説明に約 3 割の方が満足していないこと、特に高齢者が満足していないことが分かった。
2. ジェネリック医薬品の説明について患者の希望と薬剤師が説明している内容が異なっている点があるのではと思われる結果となった。

3. 薬剤師が効果、副作用についてどの程度説明できているか不明である。薬剤師から変更を勧められることを良いと思う方のうち変更説明について 67.1%が満足との結果であり、上記設問 Q15-21 で薬剤師の説明を受けたことがなくジェネリック医薬品を使ってみたいと思わない方は、薬剤師が説明を十分にすることにより、その半数以上がジェネリック医薬品を使用する可能性が示唆された。なお、下記設問 (Q17-18)により薬剤師の説明に満足した方の 6 割はジェネリック医薬品に変更していることから明白である。

【対応策】

1. わかりやすい説明、わかりやすく伝える工夫が必要であり、特に高齢者にはより分かりやすい説明を実施していくと共に理解度を確認する必要がある。
2. 患者満足度調査を行い、さらに分析していく必要がある。
3. ジェネリック医薬品の説明も限られた時間のなか、なかなか難しいと思われるがわかりやすく工夫をしながら患者ニーズに合わせて情報提供すべきである。
4. 情報提供の仕方を工夫しもっとわかりやすく効果、副作用を含めてジェネリック医薬品の情報提供に努めるべきである。

Q18. 薬局において、ジェネリック医薬品に変更したことはありますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	ある	722	42.1%
2	ない	888	51.7%
	無回答	106	6.2%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では 42.1%が「ある」と回答し、薬局においてジェネリック医薬品に変更したことが半数以下であった。
2. 各年齢によって特に差はないが、75 歳以上では 38.0%と低い傾向であった。(参考資料 1-Q18)
3. 処方日数による傾向は特に無かった。3 カ月以上の長期処方においても 49.1%は「ない」と回答した。(参考資料 2-Q18)
4. 残薬のあり、なしでは特に差は見られなかった。(参考資料 3-Q18)
5. 薬局において「ジェネリック医薬品への変更説明に満足しているか」の設問では、満足している方はジェネリック医薬品に変更したことがある方が 64.3%と多く、それに対して「あまり満足していない方 (67.0%)」・「満足していない (89.3%)」方は「ジェネリック医薬品に変更したことがない」回答が多いことが分かった。(参考資料 4-Q17×Q18)

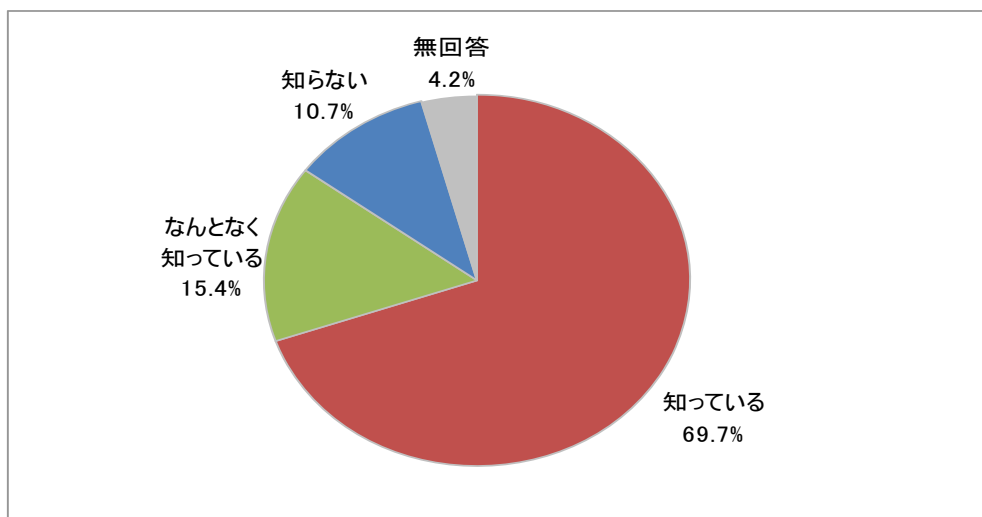
【考察】

1. 各年齢においてジェネリック医薬品への変更は進んでいないことが分かった。Q15 より約 6 割が薬剤師からジェネリック医薬品への変更について説明を受けている。しかし、Q17 から薬剤師の説明内容について満足は約 5 割であり、本設問では変更有りが約 4 割にとどまっている。薬剤師によるより積極的な説明と誰にでもわかりやすい説明、特に高齢者にわかりやすい説明を推進すべきである。
2. 処方日数による傾向は特に無かった。
3. 説明を受けて満足した人の 64.3%が変更もしているとみてよい。薬剤師から満足する情報が得られれば、ジェネリック医薬品への変更となる可能性もあると考えてよい。

【対応策】

1. 今後、医療費負担が増加する可能性が高くなり、ジェネリック医薬品を希望する人が増えると想定されるため今まで以上に説明する必要がある。
2. ジェネリックの説明、情報提供を今後も積極的に行ってほしい。
3. ジェネリック医薬品についての満足する情報提供があれば、ジェネリック医薬品に変更される可能性が示唆された。

Q19. 処方薬をジェネリック医薬品に変更することによって、自己負担金や、医療費を減らせることを知っていますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	知っている	1196	69.7%
2	なんとなく知っている	264	15.4%
3	知らない	184	10.7%
	無回答	72	4.2%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では 69.7%が「知っている」と回答している。各年齢において半数以上は「知っている」と回答した。(参考資料 1-Q19) 一方全体では「知らない」と回答したのが 10.7%も存在しているおり、特に 75 歳以上で「知らない」と回答したのが、18.3%と多い傾向であった。(参考資料 1-Q19)
2. 処方日数による傾向は特に見られなかった。(参考資料 2-Q19)

3. 知っているとは回答した方の内訳として残薬がある方は 71.6%、残薬のない方は 65.6%であった。知らないとの回答では残薬のある方 9.6%、ない方 13.4%であり、残薬がある方のほうが自己負担金や医療費について知っているようであった。(参考資料 3-Q19)
4. 薬局においてジェネリック医薬品に変更した方は、ジェネリック医薬品に変更することによって自己負担金や医療費を減らせることを 88.6%の方が知っていた。(参考資料 4-Q18×Q19)

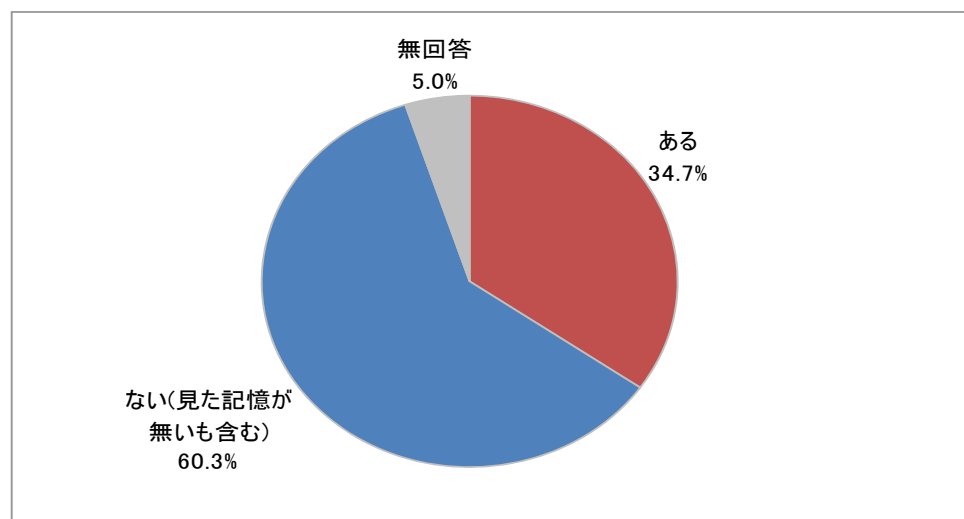
【考察】

1. 「知っている」及び「何となく知っている」を含めると 85.1%であり、ジェネリック医薬品と医療費について何らかの関心があるものと思われる。
2. 処方日数による傾向は特に無かった。
3. ジェネリック医薬品への変更を推進することで、自己負担金や医療費の削減になることを知ることが可能であり、さらに医療費の削減効果が上がることが示唆された。

【対応策】

ジェネリック医薬品についての理解度を深めてもらうよう啓蒙していく必要がある。

Q20. 国保組合・健康保険組合などからジェネリック医薬品の使用を勧めるお知らせを受け取ったことはありますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	ある	596	34.7%
2	ない(見た記憶が無いも含む)	1035	60.3%
	無回答	85	5.0%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では 34.7%が「ある」と回答しており、半数以下であった。
2. 60～64 歳、65～74 歳において「ある」が 4 割を超えていたが、他の年齢層では 4 割以下であり、20～39 歳と 75 歳以上では 3 割以下の結果となり、各年齢において「ない」と回答したのが多かった。(参考資料 1-Q20)
3. 処方日数による傾向は特に見られなかった。(参考資料 2-Q20)
4. 残薬のあり、なしでは特に差は見られなかった。(参考資料 3-Q20)

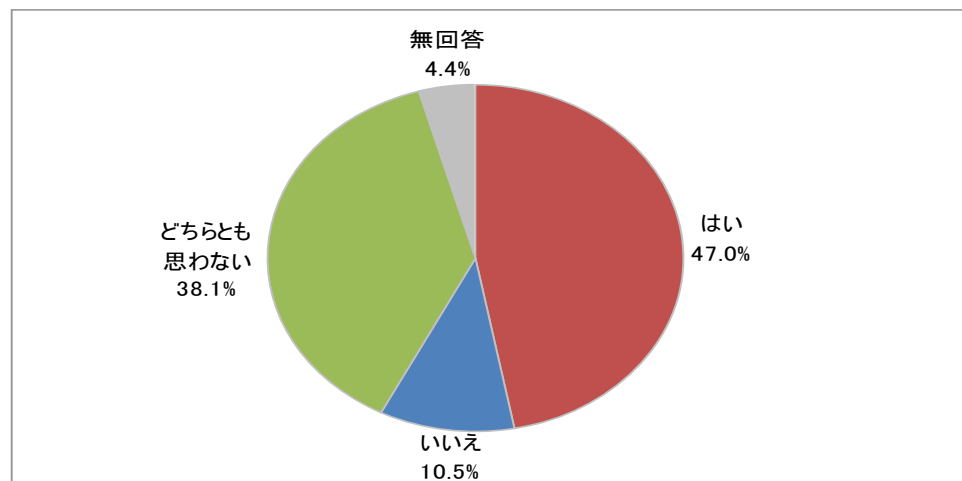
【考察】

1. ジェネリック医薬品を勧めるお知らせが少ないとも考えられ、20～30 代および 75 歳以上への対応を検討する必要性がある。
2. 処方日数による傾向は特に無かった。

【対応策】

1. 国保組合、健康保険組合などからもっと積極的にPRすべきであり、保険者などからのジェネリック医薬品推進ポスターを病院・医院や薬局に掲示する必要があると思われる。また、学校教育の場での啓発も必要と思われる。
2. 広報の必要性があると思われる。

Q21. あなたは、ジェネリック医薬品を使いたいと思いますか



No.	カテゴリ	件数	比率
1	はい	806	47.0%
2	いいえ	181	10.5%
3	どちらとも思わない	653	38.1%
	無回答	76	4.4%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では「はい」と回答したのが、47.0%と半数以下で「どちらとも思わない」が38.1%、「いいえ」が10.5%であった。
2. 年齢別では特に特徴は認められなかった。(参考資料1-Q21)
3. 処方日数では特に傾向は見られなかった。(参考資料2-Q21)
4. 残薬がある方とない方を比較すると、「ジェネリック医薬品を使いたい」と回答した方は「残薬あり」で49.5%、「残薬ない」で41%となっている。また、「ジェネリック医薬品を使いたくない」方は「残薬あり」で9.9%、「残薬ない」で12.4%となり、残薬があると回答したの方がジェネリック医薬品に使用について関心が高い傾向がみられた。(参考資料3-Q21)
5. 病院・医院においてジェネリック医薬品について説明を受けている方は、56.5%がジェネリック医薬品を使いたいと思うと回答している。(参考資料4-Q12×Q21)
6. 病院・医院からジェネリック医薬品を処方されている方でジェネリック医薬品を使いたいと回答しているのが64.8%であった。また、薬局で相談するよういわれた方も半数以上の53%がジェネリック医薬品を使いたいと回答している。ジェネリック医薬品が処方されているかわからない方はジェネリック医薬品に使用についてどちらとも思わないと回答したのが57.7%と多かった。ジェネリック医薬品が処方されていない方では、使いたいと思うが34.9%、思わないが27.9%であった。(参考資料4-Q14×Q21)

7. 病院・医院においてジェネリック医薬品について説明を受けている方は、56.5%が「ジェネリック医薬品を使いたい」と思うと回答している。(参考資料 4-Q12×Q21) 薬局でも同様にジェネリック医薬品について説明を受けた方の 54.8%が「ジェネリック医薬品を使いたい」との回答であった。(参考資料 4-Q15×Q21)

一方、薬剤師から説明を受けていない方はジェネリック医薬品の使用について「どちらとも思わない」と回答した方が 45.7%あった。(参考資料 4-Q15×Q21)

【考察】

1. ジェネリック医薬品の使用についてまだ積極的に使用したいとの認識には至っていないと思われる。「どちらとも思わない」と回答した約 4 割については決めかねているとも考えられ、今後の対応でさらなるジェネリック医薬品の推進が図れる。

2. 処方日数による傾向は特に無かった。

3. 薬が残った事がある方は、無い方よりも自己資金や医療費について関心があり(参考資料 3-Q19 より)、ジェネリック医薬品を使いたいと思っている事が示唆された。

なお、参考資料 3 の Q18 からジェネリック医薬品に変更していた。

4. 病院において、ジェネリック医薬品の説明を受けたことがある方で、ジェネリック医薬品を勧められることについて 70.5%は良いと思うと回答しているが、実際使いたいと思いますかとなると若干低くなる傾向が見られた。(参考資料 4-Q12×Q13)

5. ジェネリック医薬品が処方されている方で、「ジェネリック医薬品を使いたい」と思わない方が約 5%近くおり、薬剤師は患者の声を十分に聞く必要があると思われる。ジェネリック医薬品が処方されているか、調剤されているかの認識を高めていくことが必要であると思われる。

6. ジェネリック医薬品の変更について、薬剤師に説明を受けたことがあるにもかかわらず、使いたいと思うかの設問に対して「どちらとも思わない」が約 3 割おり、この患者への対応が重要であることが示唆された。薬剤師が積極的にジェネリック医薬品の説明をすることによって、ジェネリック医薬品への変更の可能性が示唆された。(参考資料 4-Q15×Q21)

【対応策】

1. 「どちらとも思わない」を「はい」にするためには、この理由をさらに分析し、対応する必要がある。

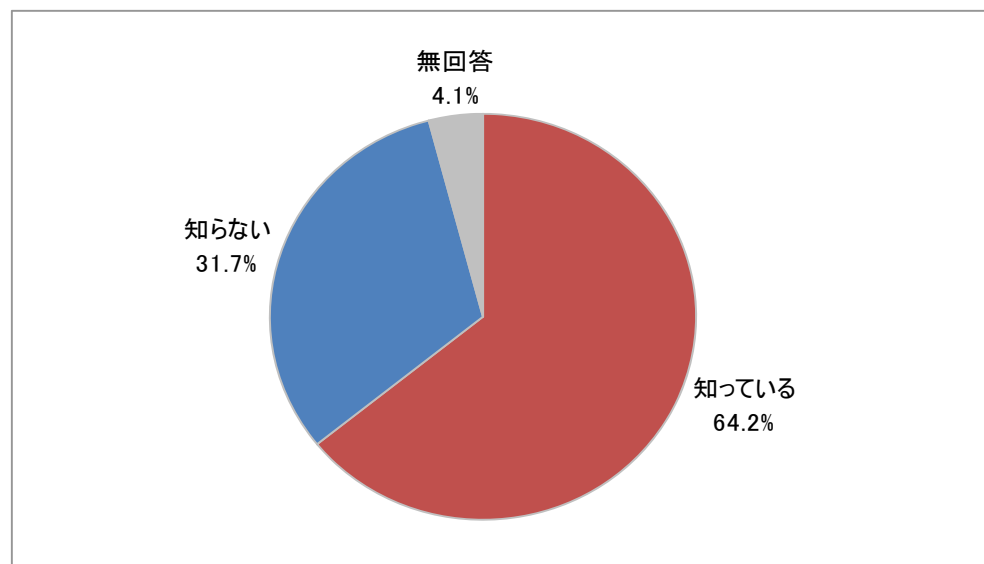
2. 広報の必要あり

3. ジェネリック医薬品の使用について、迷っているようであり積極的にジェネリックの説明をすべきである。

4. ジェネリック医薬品の認識を高めていければ、ジェネリック医薬品の処方変更につながっていくと思われる。

5. 薬剤師はもっと積極的にジェネリック医薬品の推進に努めるべきである。

Q22. あなたは、自分の医療費がどのくらいかかっているか知っていますか？



No.	カテゴリ	件数	比率
1	知っている	1101	64.2%
2	知らない	544	31.7%
	無回答	71	4.1%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

1. 全体では 64.2%が「知っている」と回答した。
2. 年齢別では年齢層が高いほど自分の医療費を知っていると回答しているが、75 歳以上では「知っている」との回答が減少していた。(参考資料 1-Q22)
3. 処方日数では 2 週間未満では知っているが 60%以下となっており、2 週間以上では 70%を超えていた。(参考資料 2-Q22)
4. 「知っている」と回答した方で残薬が有る方は 65.2%、無い方は 61.4%と残薬がある方の方が関心が高い傾向であった。(参考資料 3-Q22)

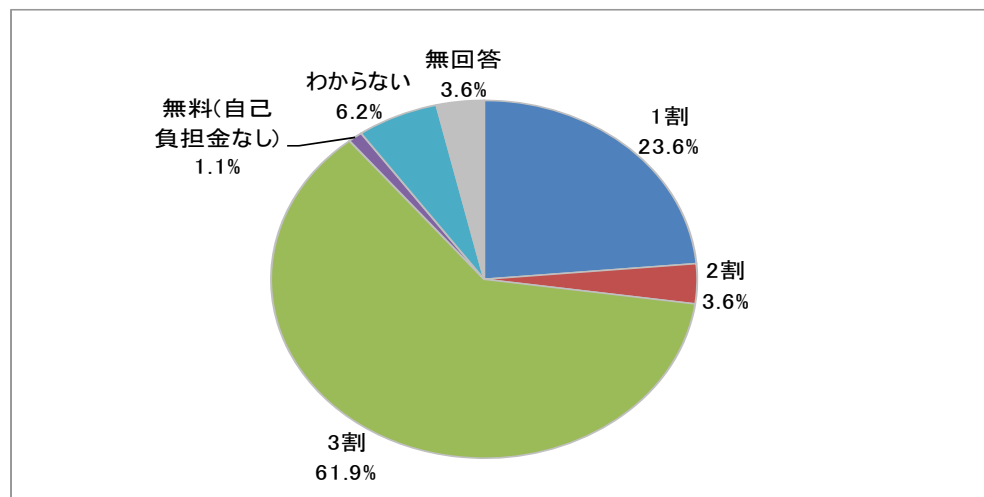
【考察】

1. 7 割近い人が自分の医療費を知っている。若年層の保険医療への関心が低く、高齢者ほど医療費に関して関心をもっていることが分かった。医療費の関心が低いことが、ジェネリック医薬品への変更について考えない点でもあると思われる。
2. 自分の医療は長期になるほど高額となるため、知っている度合いは高くなる傾向が見られた。
3. 上記 Q21 の考察も含め、残薬がある方は自己の医療費を知ってる方が多い。

【対応策】

1. ジェネリック医薬品や薬に関する情報を分かりやすく提供する工夫が必要であり、医療費抑制啓発は高齢者をはじめ、若い層にも必要であり若年層への保険医療の教育を検討する必要があると考えられる。
2. 医療費についてもっと関心を持ってもらうように情報提供すべきである。
3. 医療費の請求書などはもっとわかりやすくする必要があると思われる。

Q23. あなたは、自分の保険の自己負担金の割合がどのくらいか知っていますか？



No.	カテゴリ	件数	比率
1	1割	405	23.6%
2	2割	61	3.6%
3	3割	1063	61.9%
4	無料(自己負担金なし)	19	1.1%
5	わからない	106	6.2%
	無回答	62	3.6%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

- 全体では3割負担が61.9%であり、次いで1割負担23.6%、2割負担3.6%の順であった。
- 年齢別では3割の方の40～59歳の86.7%が多く、年齢が若い層では「わからない」と回答したのが多くあった。(参考資料1-Q23)
- 1割負担は処方日数が長くなるに従い、増加しており、3割負担は処方日数が長くなるほど、減少していた。(参考資料2-Q23)
- 残薬のあり、なしでは特に差は見られなかった。(参考資料3-Q23)

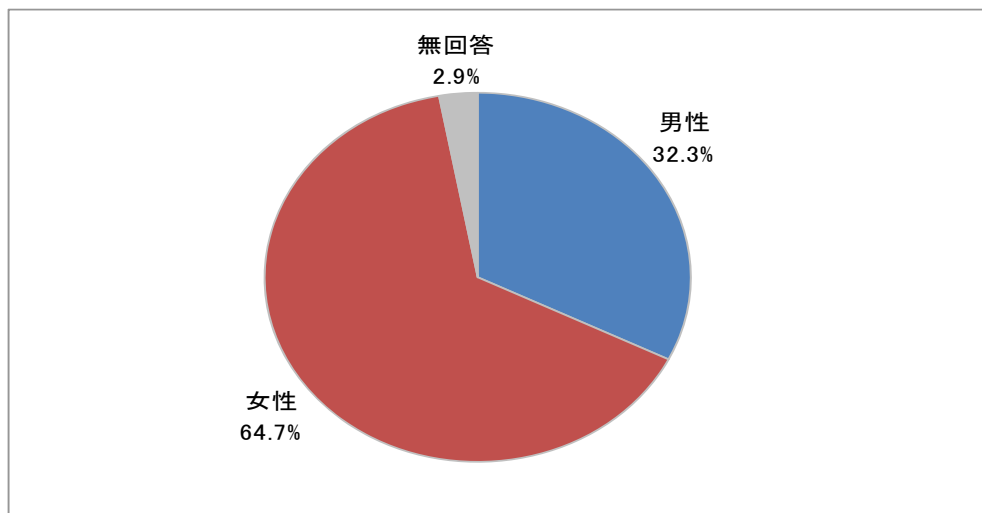
【考察】

若年層の保険医療への関心が低い傾向であり、医療費の関心が低いことが、ジェネリック医薬品への変更について考えない点でもあると思われる。

【対応策】

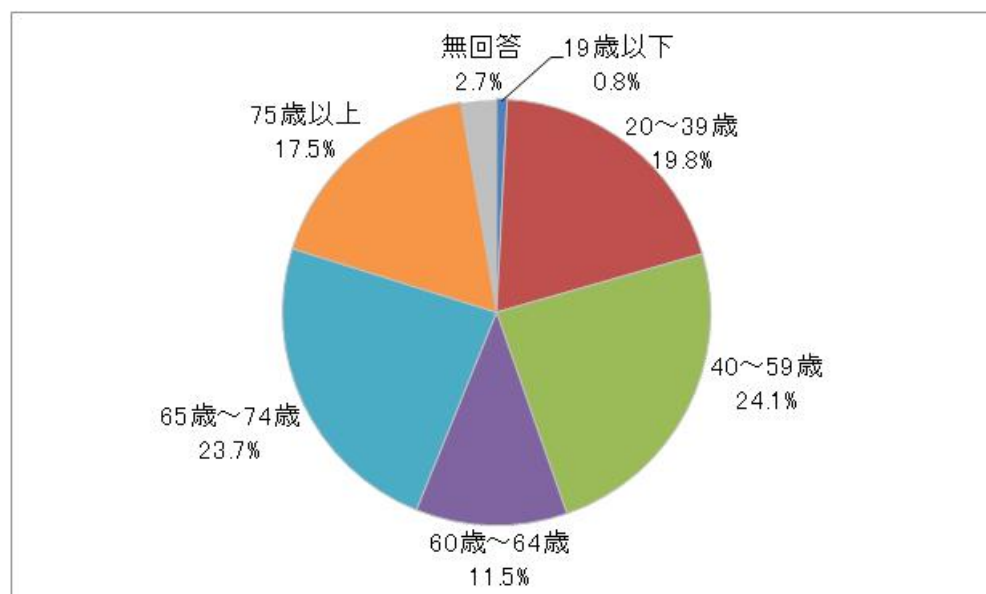
- 若年層への保険医療の教育方法を検討する必要がある。
- これから医療費は負担増になることが予想され、無駄をなくしていきたい。

Q24. あなたの性別を教えてください



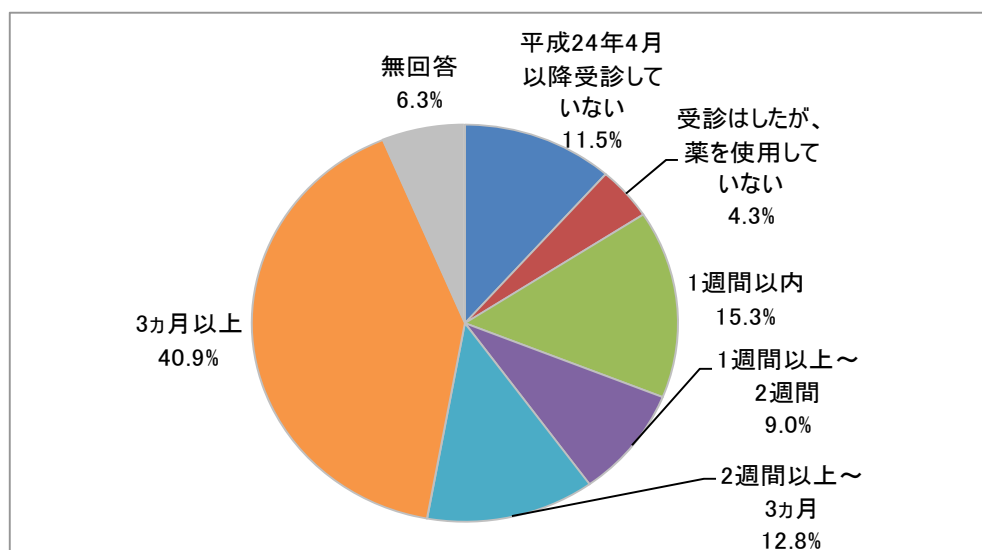
No.	カテゴリ	件数	比率
1	男性	555	32.3%
2	女性	1111	64.7%
	無回答	50	2.9%
	有効回答者数	1716	100.0%

Q25. あなたの年齢を教えてください



No.	カテゴリ	件数	比率
1	19歳以下	13	0.8%
2	20～39歳	339	19.8%
3	40～59歳	413	24.1%
4	60歳～64歳	198	11.5%
5	65歳～74歳	406	23.7%
6	75歳以上	300	17.5%
	無回答	47	2.7%
	有効回答者数	1716	100.0%

Q26. あなたが平成 24 年 4 月以降、病院・医院で受診して、処方されたお薬のうち一番長く継続して使用しているお薬の使用期間を選んでください



No.	カテゴリ	件数	比率
1	平成24年4月以降受診していない	198	11.5%
2	受診はしたが、薬を使用していない	73	4.3%
3	1週間以内	262	15.3%
4	1週間以上～2週間	154	9.0%
5	2週間以上～3ヵ月	219	12.8%
6	3ヵ月以上	702	40.9%
	無回答	108	6.3%
	有効回答者数	1716	100.0%

【問題点の抽出】

- 全体では 40.9%が 3 ヶ月以上と回答している。
- 若い層では短期の服用が多いが、60～64 歳で 47%、65 歳以上では半数以上が 3 か月以上であった。(参考資料 1-Q26)
- 残薬のあり、なしでは特に差は見られなかった。(参考資料 3-Q26)

【考察】

慢性疾患の方が多く、長期に服用している実態がわかる結果となった。

ま と め

1. 医療用医薬品の残薬について

病院・医院から処方せんによって調剤された薬(医療用医薬品)は、その約7割の患者が残していることが分かった。その半数以上は「単に飲み忘れた」、「使い忘れた」と回答している。

年齢別においては20～59歳は60歳以上に比較して「残ったことがある」との回答が多く、学生や社会人などの年齢では学校や職場に薬を持って行くのを忘れてしまったことが原因と思われる。

症状が改善または悪化したため途中で使用をやめたケースも1,502件中389件あり、長期処方された場合の副作用出現への対策も必要である。

残薬については処方日数に関係なく、半数以上(約7割)に残薬が発生している結果であるが、患者側からすると「薬を飲む回数が少なかったり、使用方法(食前、食後、食間など)をそろえて簡単にすれば忘れないと思う」という意見が多くあり、服用方法の煩雑な点も挙げられる。

服用方法が煩雑な点が飲み忘れとなっていることが原因であれば、薬剤師が患者の服薬遵守を確認し、まずはきちんと服用できるように支援していくことが重要である。もし高齢者などで煩雑な服用方法では治療効果が期待できないようであれば、医師に他の処方を提案していくなど患者側にたって服薬支援をしていくことが今後の薬剤師の役割であるとも言える。

残薬についての意識は「数日くらい服用しなくても問題ない」との回答が「病気が悪くなるのではないかと心配である」の回答より多く、病気治療における薬物療法の意味が理解されていない結果と思われる。このことから医師、薬剤師は患者に対してもっと薬物療法の目的など病気に対する知識を深めていくための説明をすべきである。

残薬については医師、薬剤師から「残薬の有無について」聞かれる割合が少ないことが分かった。半数以上は「残薬がある」と回答しているため、医師・薬剤師は患者に対して残薬の確認を行っていく必要がある。

残薬があることを医師、薬剤師に相談すれば、7割以上は処方変更されていることから、まず患者側からは『医師、薬剤師に残薬状況を伝える』ことを心掛け、医師、薬剤師側からは『残薬について聞いていく』ことが大切である。

また、定期的に医療機関へ受診し薬局に処方箋を出している患者は、薬局側もきちんと服用(使用)出来ているのを前提で話をしているケースが多く、残薬の確認を行っていないことが多いと思われる。しかし実際は多くが飲み忘れているケースであるため、定期的に来局する患者であっても残薬確認は積極的に行っていくべきである。

残薬があるということは、その廃棄についても注意が必要である。期限切れなど古くなった医薬品や服用(使用)しなくなった医薬品などは、家庭ごみで廃棄せず、かかりつけ薬局で廃棄してもらうように案内していくことが大切である。患者がいま継続している医薬品を明確とするためにも、服用(使用)しなくなった医薬品は速やかに廃棄するように薬剤師から説明していくべきである。

2. ジェネリック医薬品について

ジェネリック医薬品については、医師からの情報提供が薬剤師に比べて低く、半数以下であることから、医師はもっと患者に説明すべきである。ジェネリック医薬品に対して患者は「良いと思う」が半数以上あるが、「効果が不安」、「副作用が心配」、「勧めないでほしい」、「どちらとも思わない」など否定的な意見も多数ある。

薬局におけるジェネリック医薬品の説明については、半数は満足しているが、残りはあまり満足していない結果となった。

ジェネリック医薬品の情報においては、価格だけではなく、効能・効果や副作用の点についても情報提供していくべきである。

今回の調査では「ジェネリック医薬品が処方されている」と回答したのが、41.2%と半数以下であり、ジェネリック医薬品の普及が進んでいない現状が示された。また患者自身がジェネリック医薬品を処方されているか分からないと回答したのが 20.8%あり、薬剤師からの説明不足が原因と思われる。

ジェネリック医薬品への変更での経済効果については高く認識されているが、保険組合などからジェネリック医薬品への使用推進を促す案内はあまり進んでいないことが分かった。

国民医療費は毎年、増加しているなか、医療費を抑えるためにはジェネリック医薬品の推進が必須となる。そのために今後は、行政や保険組合と協力を行いながら、ジェネリック医薬品を普及させていかなければならない。

<今後の方針>

今回の「医薬品の残薬・ジェネリック医薬品についての調査」では、回答者の約7割が薬の飲み残し（残薬）を経験している。

その回答からは、

1. 服用薬の煩瑣な服用方法や職場や学校での服用時間など服用に関するさまざまな問題
2. 患者自己判断による中止
3. 医療費への関心の薄さなど患者意識の問題
4. 医師・薬剤師による確認・説明不足

などが明確となった。

それゆえ、まとめにも記載したように、薬剤師による、患者の服用遵守を確認し医師と連携を取った服薬支援や薬物療法の目的や副作用の十分な説明、さらには、残薬の適切な廃棄方法の指導など患者教育の実施が必須である。

後発医薬品の使用促進においては、さらなる患者への情報提供の必要性が示唆され、特に効能・効果や副作用など後発医薬品への不安解消への対応が必要と思われる。

前回の平成24年度診療報酬・調剤報酬改定において、国は残薬を減らし医薬品のさらなる適正使用を推進するために、薬剤管理指導料の要件に、薬剤師による残薬の有無の確認の実施他が追加され、また今回の改定でも薬局薬剤師による分割調剤を進めるものとなっている。さらに、500床以上の病院には投与日数制限がかけられ、必要以上の長期処方を押える方策を打ち出した。後発医薬品においては、「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」において、平成30年3月末までに後発医薬品使用数量シェアを60%以上にするさまざまな促進策を策定した。

これらにより、残薬の減少や後発医薬品の使用が推進されることとなる。しかしながら、薬剤師は残薬問題や後発医薬品使用推進だけでなく、そもそも必要以上の医薬品が投与されないために、職能を発揮すべきであろう。地域社会の健康管理者として、責務をもって活動すべきであると考ええる。

神奈川県薬剤師会としては、本調査結果を踏まえ、地域薬剤師会と連携し薬局薬剤師による服薬確認や服薬説明と支援の適切な実施の推進を図ると共に、地域医師会・歯科医師会、さらには行政や保険組合と連携協力し、県民への医療費意識への啓発活動を図っていくことが重要と考える。

神奈川県薬剤師会 医薬品適正使用調査委員会

(敬称略 順不同)

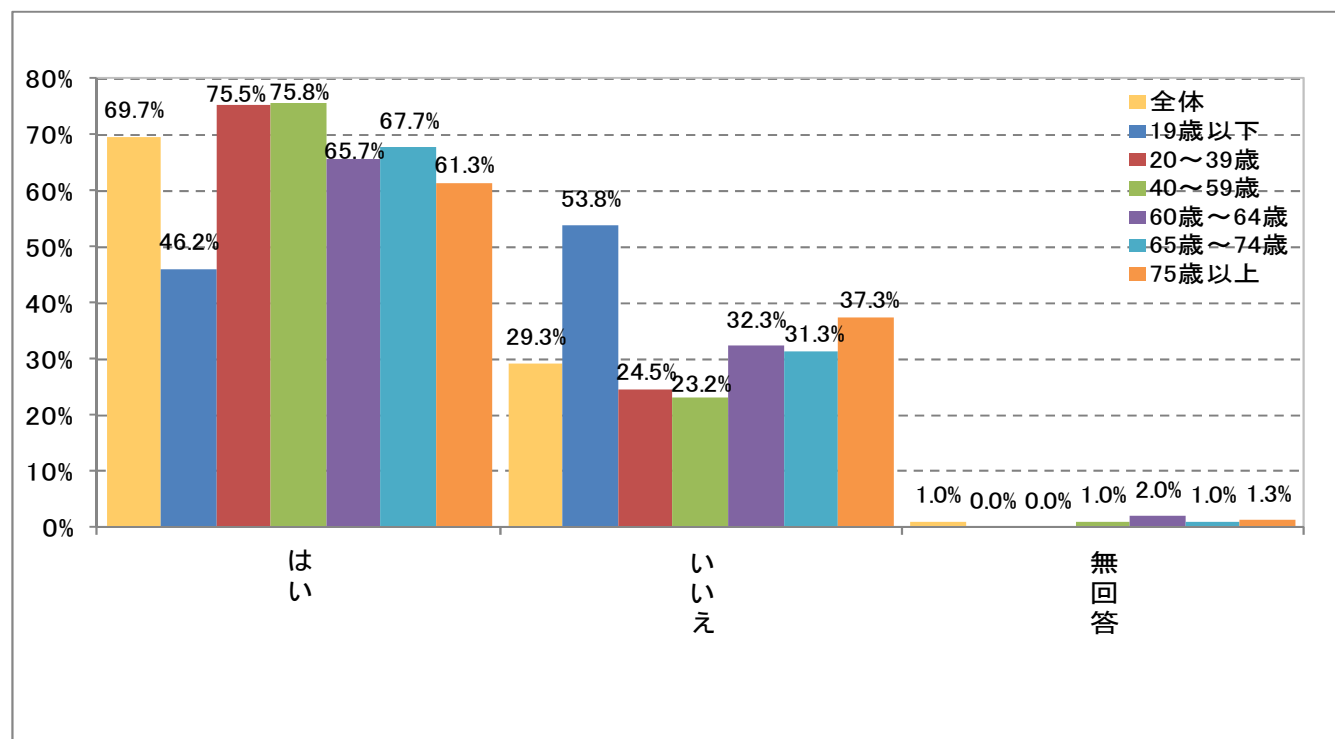
慶應義塾大学 薬学部教授 福島 紀子 (委員長)
神奈川県病院薬剤師会 理事 金丸 茂樹 (副委員長)
特定非営利活動法人 神奈川県消費者の会連絡会 代表理事 今井 澄江
日本チェーンドラッグストア協会 副会長 小田 兵馬
神奈川県薬剤師会 副会長 竹ノ内 敏孝
神奈川県薬剤師会 常務理事 後藤 知良
神奈川県薬剤師会 理事 坂本 悟

協力 神奈川県保健福祉局生活衛生部薬務課

医療用医薬品の残薬・ジェネリック医薬品についての調査結果報告【クロス集計】

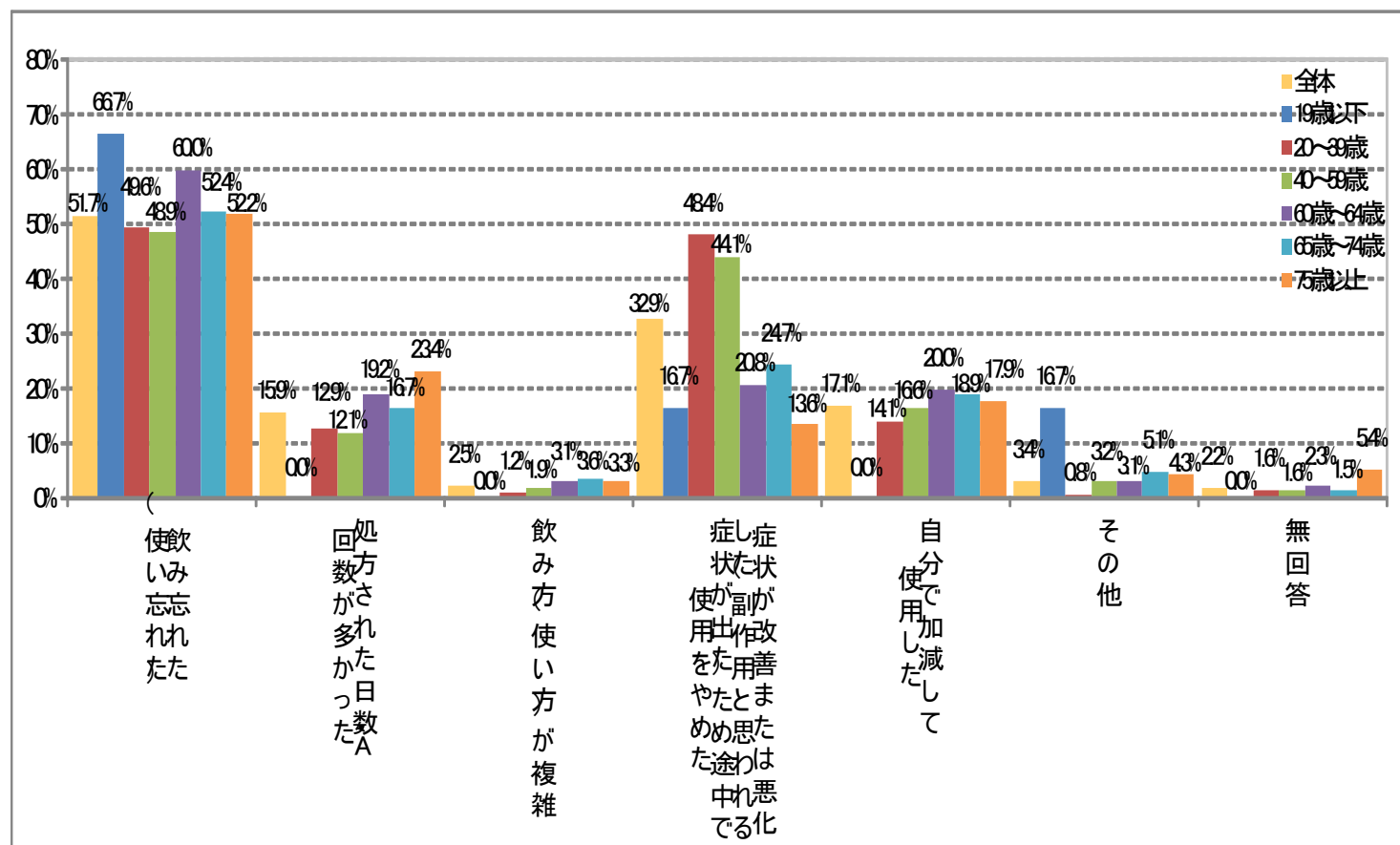
【調査結果】〈年齢別クロス集計〉
 (Q25 あなたの年齢を教えてください)

Q1. 病院・医院から処方せんによって調剤された薬(医療用医薬品)が残ったことがありますか
 (病院内で処方された薬を含む)



		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	1164	6	256	313	130	275	184
	比率	69.7%	46.2%	75.5%	75.8%	65.7%	67.7%	61.3%
いいえ	件数	489	7	83	96	64	127	112
	比率	29.3%	53.8%	24.5%	23.2%	32.3%	31.3%	37.3%
無回答	件数	16	0	0	4	4	4	4
	比率	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	1.0%	1.3%

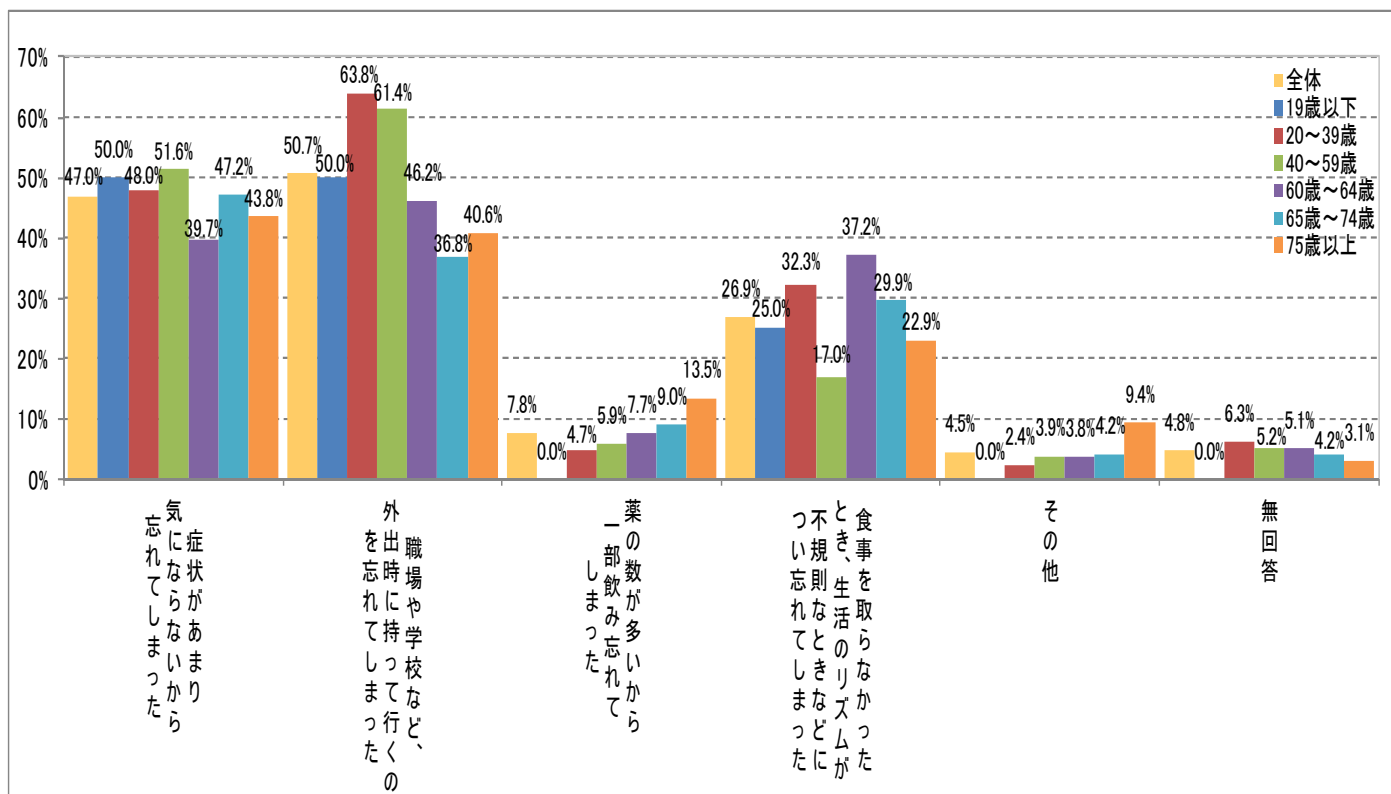
Q2. 残った理由は何でしたか
(Q1. 「1. はい」とお答えの方)



		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1164	6	256	313	130	275	184
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
飲み忘れた(使い忘れた)	件数	602	4	127	153	78	144	96
	比率	51.7%	66.7%	49.6%	48.9%	60.0%	52.4%	52.2%
処方された回数、回数が多かった	件数	185	0	33	38	25	46	43
	比率	15.9%	0.0%	12.9%	12.1%	19.2%	16.7%	23.4%
飲み方(使い方)が複雑	件数	29	0	3	6	4	10	6
	比率	2.5%	0.0%	1.2%	1.9%	3.1%	3.6%	3.3%
症状が改善または悪化した(副作用と思われる症状が出た)ため途中で使用をやめた	件数	383	1	124	138	27	68	25
	比率	32.9%	16.7%	48.4%	44.1%	20.8%	24.7%	13.6%
自分で加減して使用した	件数	199	0	36	52	26	52	33
	比率	17.1%	0.0%	14.1%	16.6%	20.0%	18.9%	17.9%
その他	件数	39	1	2	10	4	14	8
	比率	3.4%	16.7%	0.8%	3.2%	3.1%	5.1%	4.3%
無回答	件数	26	0	4	5	3	4	10
	比率	2.2%	0.0%	1.6%	1.6%	2.3%	1.5%	5.4%

Q3. 飲み忘れた(使い忘れた)理由は何ですか

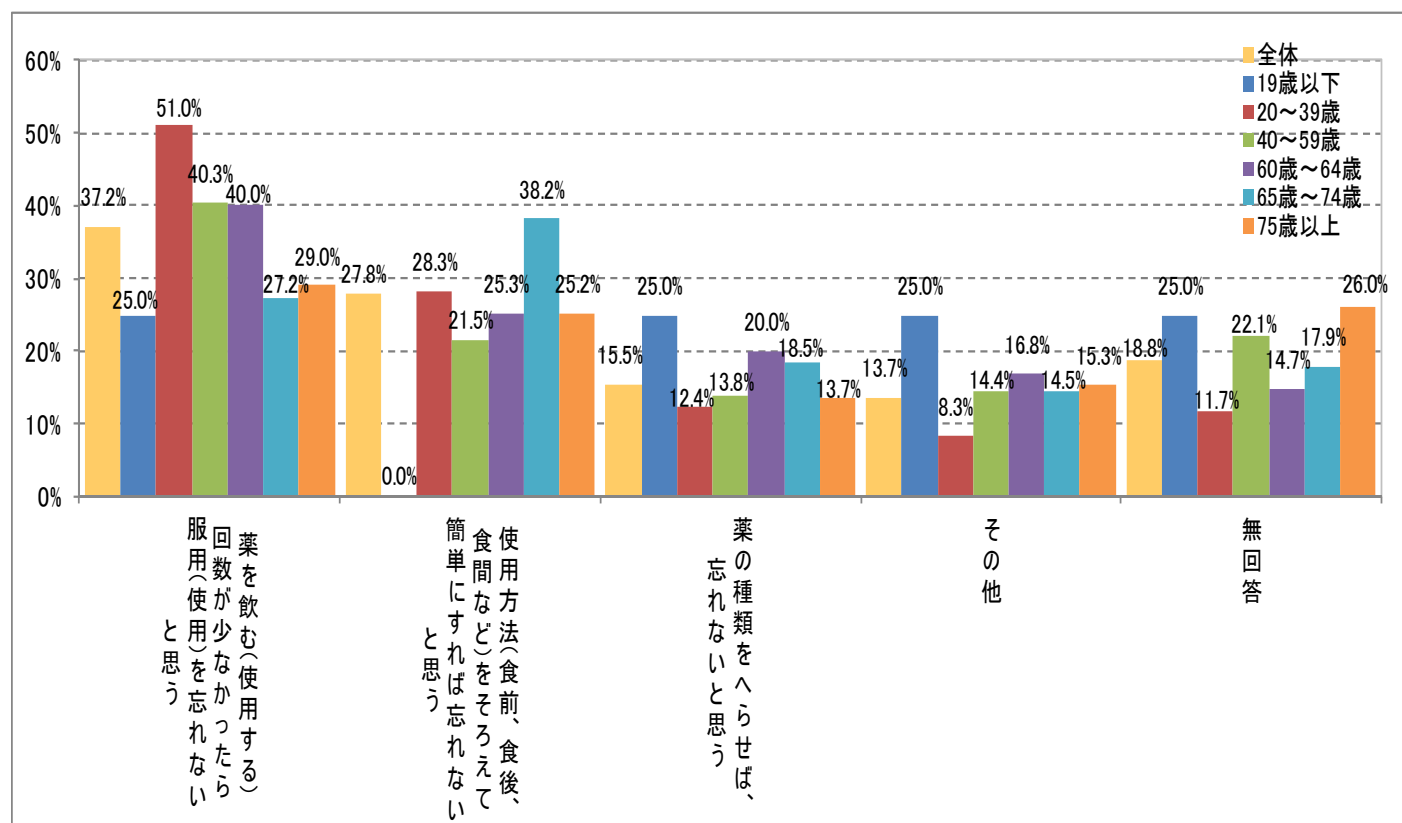
(Q2. 「1. 飲み忘れた(使い忘れた)」とお答えの方)



		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	602	4	127	153	78	144	96
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
症状があまり気にならないから忘れてしまった	件数	283	2	61	79	31	68	42
	比率	47.0%	50.0%	48.0%	51.6%	39.7%	47.2%	43.8%
職場や学校など、外出時に持って行くのを忘れてしまった	件数	305	2	81	94	36	53	39
	比率	50.7%	50.0%	63.8%	61.4%	46.2%	36.8%	40.6%
薬の数が多いから一部飲み忘れてしまった	件数	47	0	6	9	6	13	13
	比率	7.8%	0.0%	4.7%	5.9%	7.7%	9.0%	13.5%
食事を取らなかったとき、生活のリズムが不規則なときなどに忘れてしまった	件数	162	1	41	26	29	43	22
	比率	26.9%	25.0%	32.3%	17.0%	37.2%	29.9%	22.9%
その他	件数	27	0	3	6	3	6	9
	比率	4.5%	0.0%	2.4%	3.9%	3.8%	4.2%	9.4%
無回答	件数	29	0	8	8	4	6	3
	比率	4.8%	0.0%	6.3%	5.2%	5.1%	4.2%	3.1%

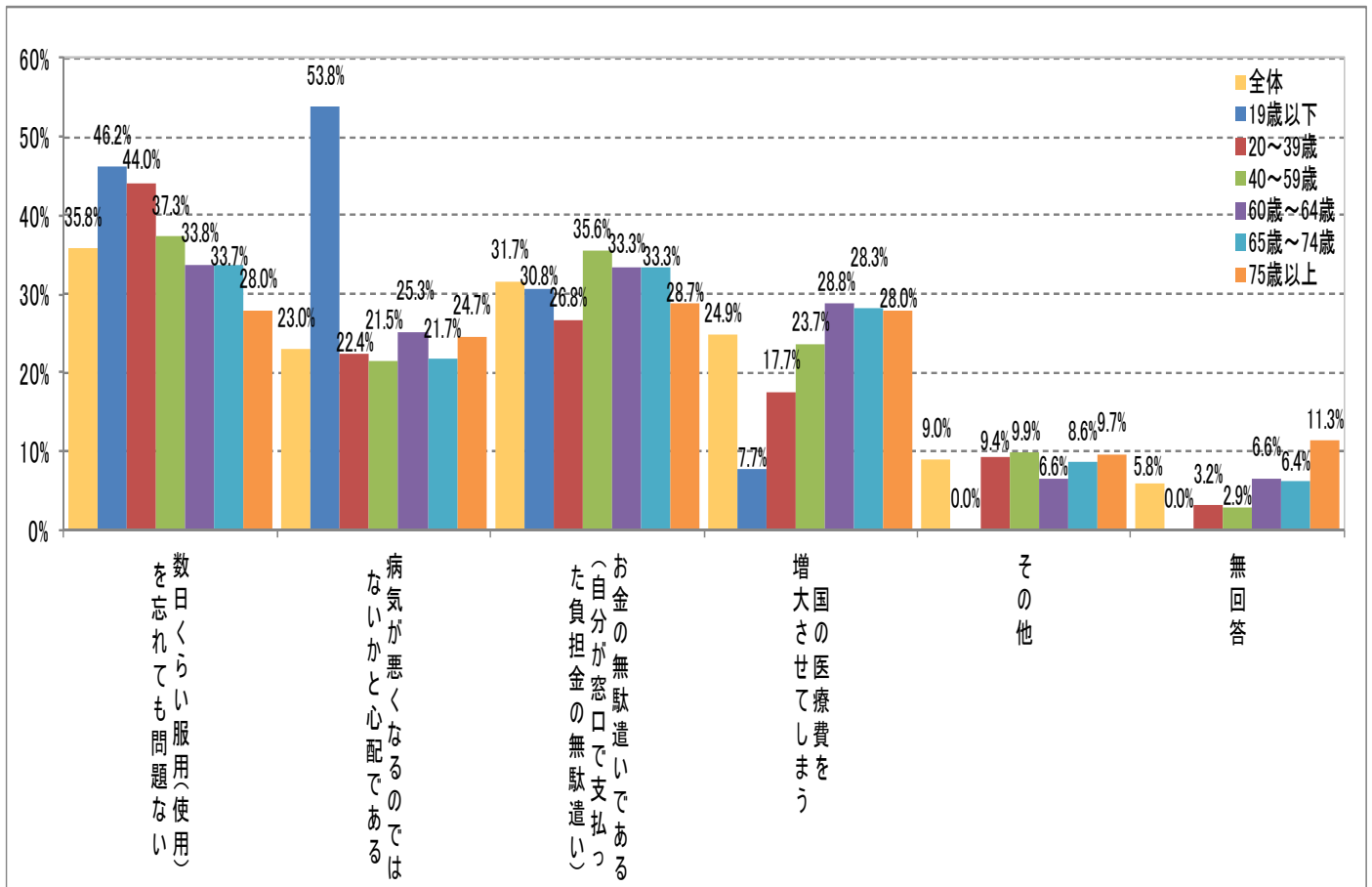
Q4. どのようにしたらきちんと服用(使用)できると思いますか？

(Q2. 「1. 飲み忘れた(使い忘れた)」、「2. 処方された日数、回数が多かった」とお答えの方)



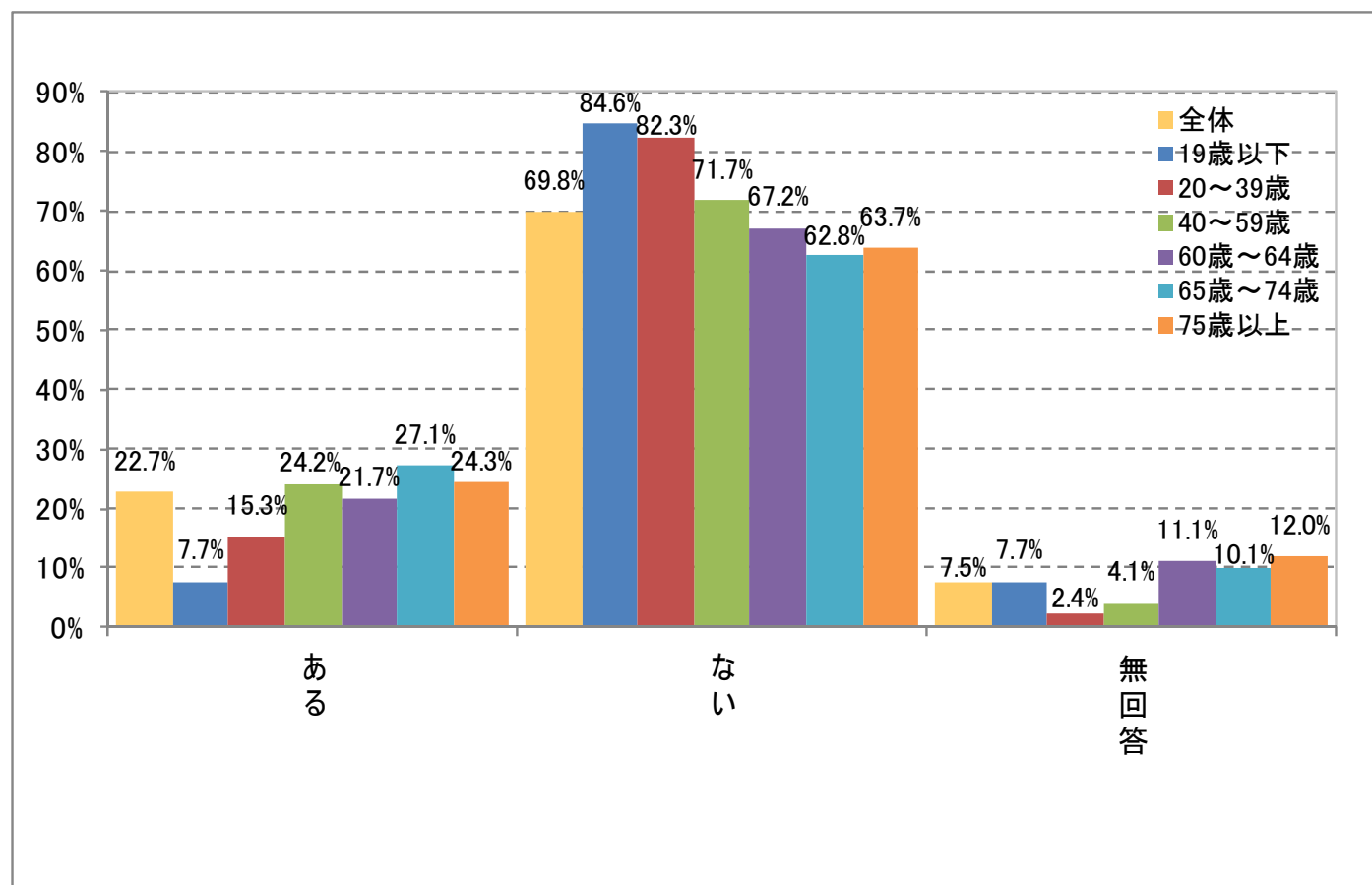
		全体	19歳以下	20~39歳	40~59歳	60歳~64歳	65歳~74歳	75歳以上
全体	件数	729	4	145	181	95	173	131
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
薬を飲む(使用する)回数が少なかったら服用(使用)を忘れないと思う	件数	271	1	74	73	38	47	38
	比率	37.2%	25.0%	51.0%	40.3%	40.0%	27.2%	29.0%
使用方法(食前、食後、食間など)をそろえて簡単にすれば忘れないと思う	件数	203	0	41	39	24	66	33
	比率	27.8%	0.0%	28.3%	21.5%	25.3%	38.2%	25.2%
薬の種類をへらせば、忘れないと思う	件数	113	1	18	25	19	32	18
	比率	15.5%	25.0%	12.4%	13.8%	20.0%	18.5%	13.7%
その他	件数	100	1	12	26	16	25	20
	比率	13.7%	25.0%	8.3%	14.4%	16.8%	14.5%	15.3%
無回答	件数	137	1	17	40	14	31	34
	比率	18.8%	25.0%	11.7%	22.1%	14.7%	17.9%	26.0%

Q5. 残薬についてどのように思われますか



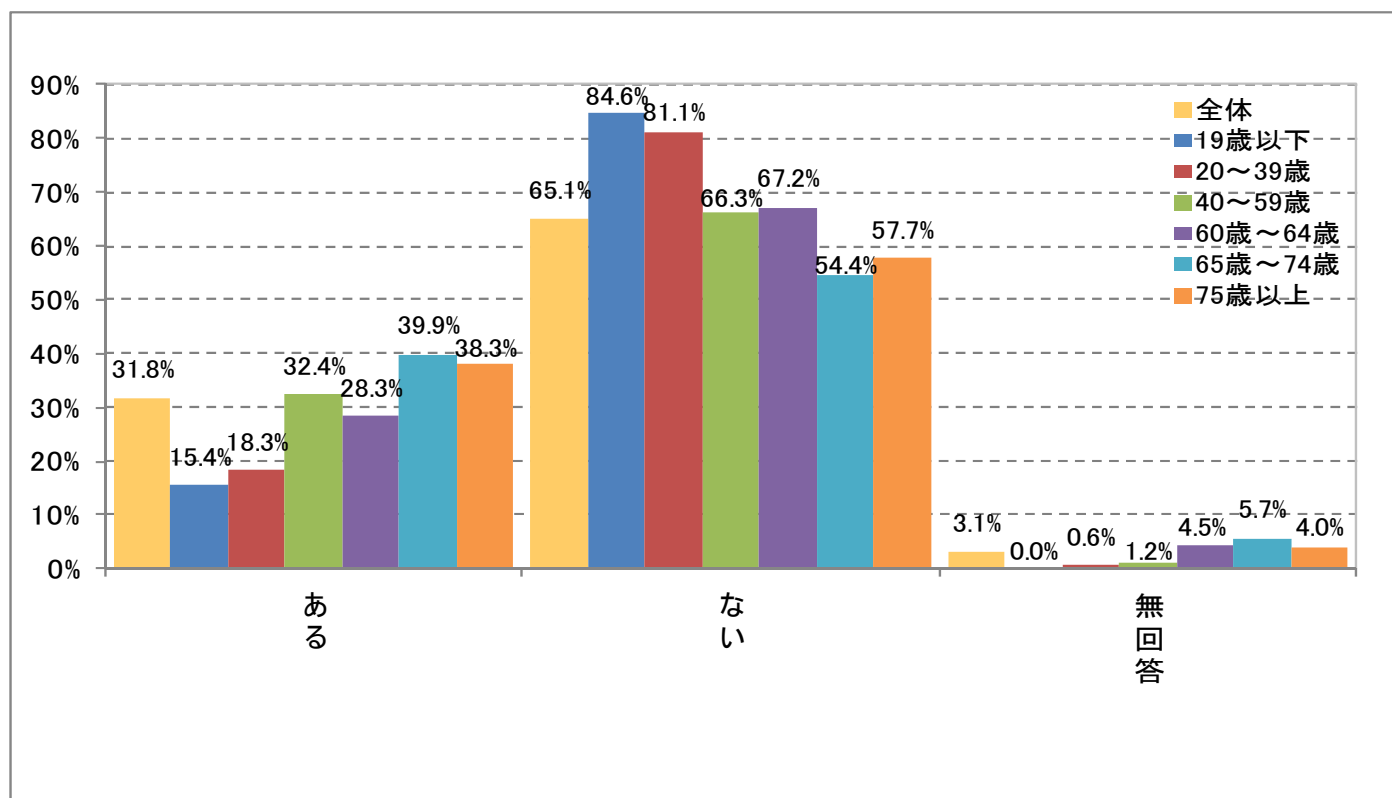
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
数日くらい服用(使用)を忘れても問題ない	件数	597	6	149	154	67	137	84
	比率	35.8%	46.2%	44.0%	37.3%	33.8%	33.7%	28.0%
病気が悪くなるのではないかと心配である	件数	384	7	76	89	50	88	74
	比率	23.0%	53.8%	22.4%	21.5%	25.3%	21.7%	24.7%
お金の無駄遣いである(自分が窓口で支払った負担金の無駄遣い)	件数	529	4	91	147	66	135	86
	比率	31.7%	30.8%	26.8%	35.6%	33.3%	33.3%	28.7%
国の医療費を増大させてしまう	件数	415	1	60	98	57	115	84
	比率	24.9%	7.7%	17.7%	23.7%	28.8%	28.3%	28.0%
その他	件数	150	0	32	41	13	35	29
	比率	9.0%	0.0%	9.4%	9.9%	6.6%	8.6%	9.7%
無回答	件数	96	0	11	12	13	26	34
	比率	5.8%	0.0%	3.2%	2.9%	6.6%	6.4%	11.3%

Q6. 病院・医院で医師から残薬について聞かれたことがありますか？



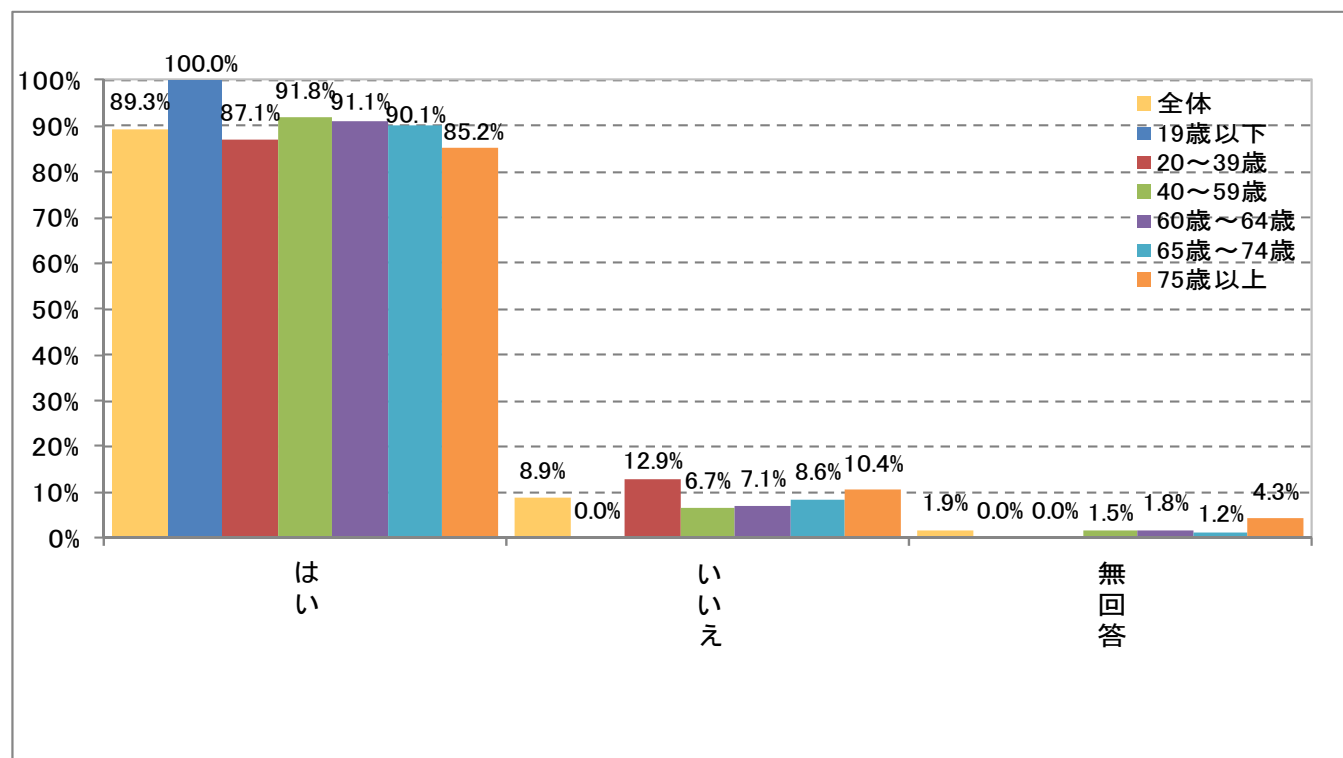
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	379	1	52	100	43	110	73
	比率	22.7%	7.7%	15.3%	24.2%	21.7%	27.1%	24.3%
ない	件数	1165	11	279	296	133	255	191
	比率	69.8%	84.6%	82.3%	71.7%	67.2%	62.8%	63.7%
無回答	件数	125	1	8	17	22	41	36
	比率	7.5%	7.7%	2.4%	4.1%	11.1%	10.1%	12.0%

Q7. 飲み忘れなどで残った場合、受診時に医師に話をして残薬の調整をお願いしたことがありますか



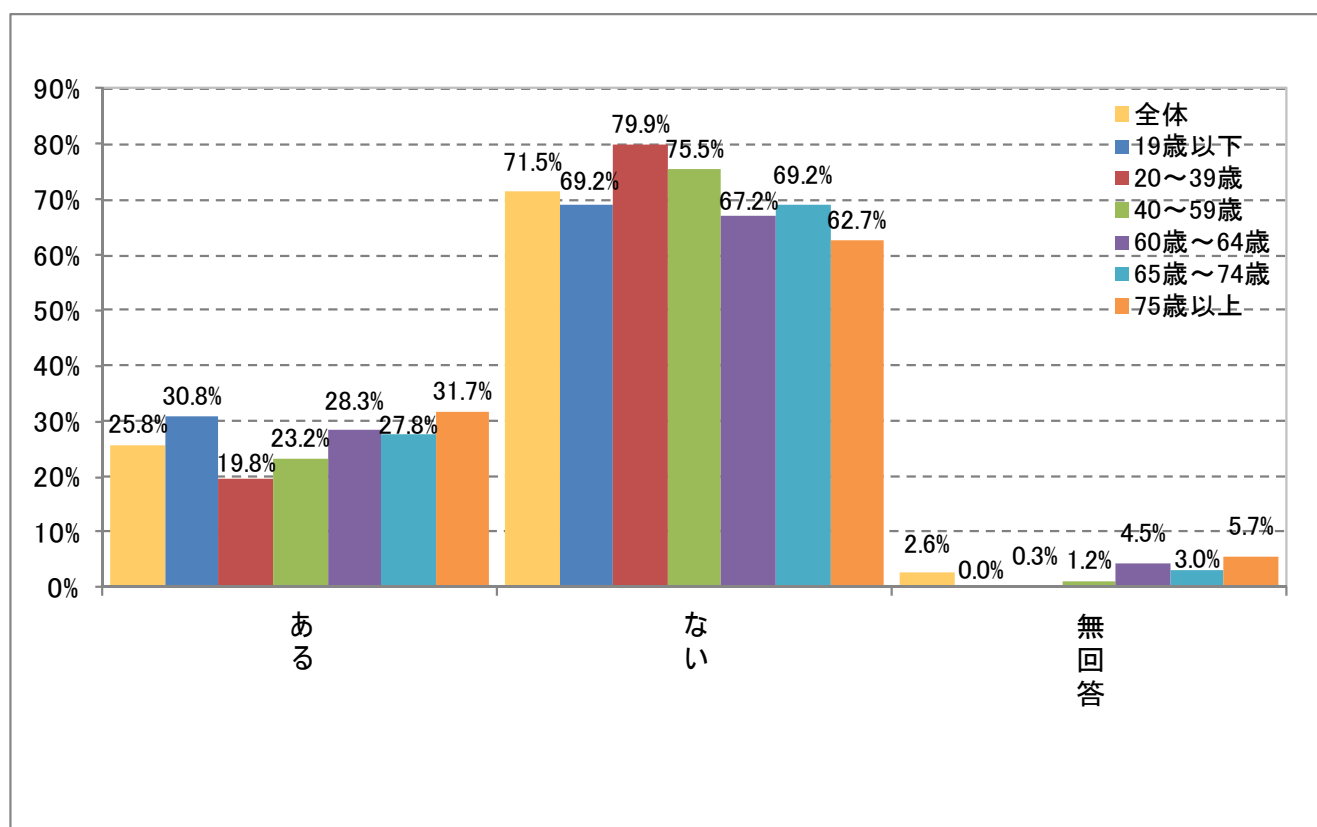
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	531	2	62	134	56	162	115
	比率	31.8%	15.4%	18.3%	32.4%	28.3%	39.9%	38.3%
ない	件数	1087	11	275	274	133	221	173
	比率	65.1%	84.6%	81.1%	66.3%	67.2%	54.4%	57.7%
無回答	件数	51	0	2	5	9	23	12
	比率	3.1%	0.0%	0.6%	1.2%	4.5%	5.7%	4.0%

Q8. 残薬調整のために、その分の医薬品を減らして処方してもらえましたか
(Q7. 「1. ある」とお答えの方)



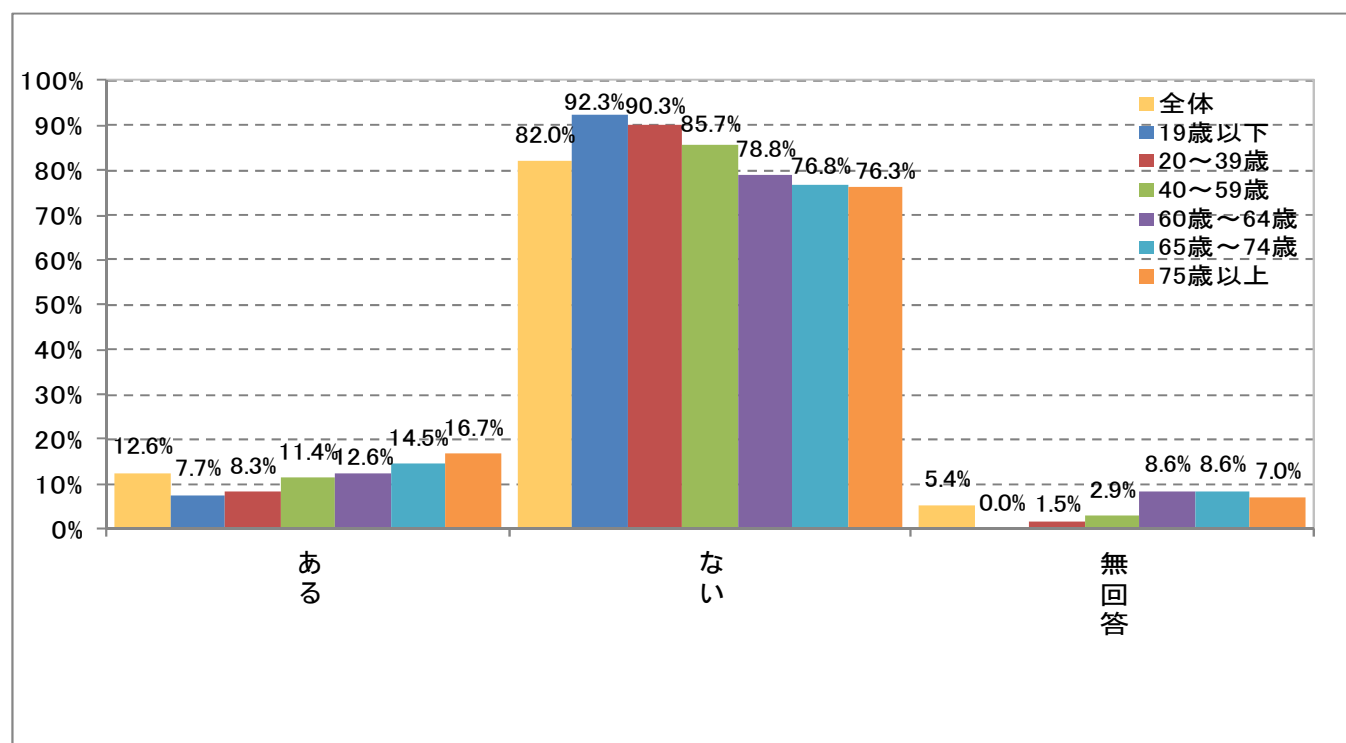
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	531	2	62	134	56	162	115
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	474	2	54	123	51	146	98
	比率	89.3%	100.0%	87.1%	91.8%	91.1%	90.1%	85.2%
いいえ	件数	47	0	8	9	4	14	12
	比率	8.9%	0.0%	12.9%	6.7%	7.1%	8.6%	10.4%
無回答	件数	10	0	0	2	1	2	5
	比率	1.9%	0.0%	0.0%	1.5%	1.8%	1.2%	4.3%

Q9. 薬局において残薬について聞かれたことがありますか？



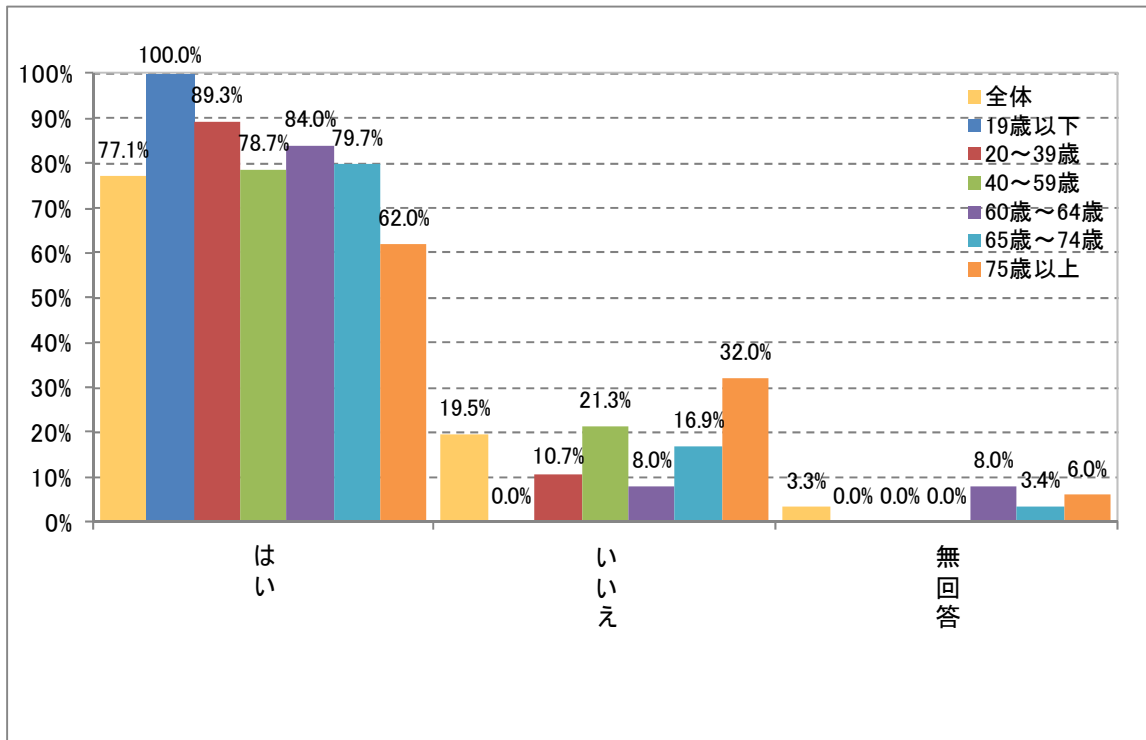
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	431	4	67	96	56	113	95
	比率	25.8%	30.8%	19.8%	23.2%	28.3%	27.8%	31.7%
ない	件数	1194	9	271	312	133	281	188
	比率	71.5%	69.2%	79.9%	75.5%	67.2%	69.2%	62.7%
無回答	件数	44	0	1	5	9	12	17
	比率	2.6%	0.0%	0.3%	1.2%	4.5%	3.0%	5.7%

Q10. 飲み忘れなどで残った場合、薬局において薬剤師に残薬の調整をお願いしたことがありますか



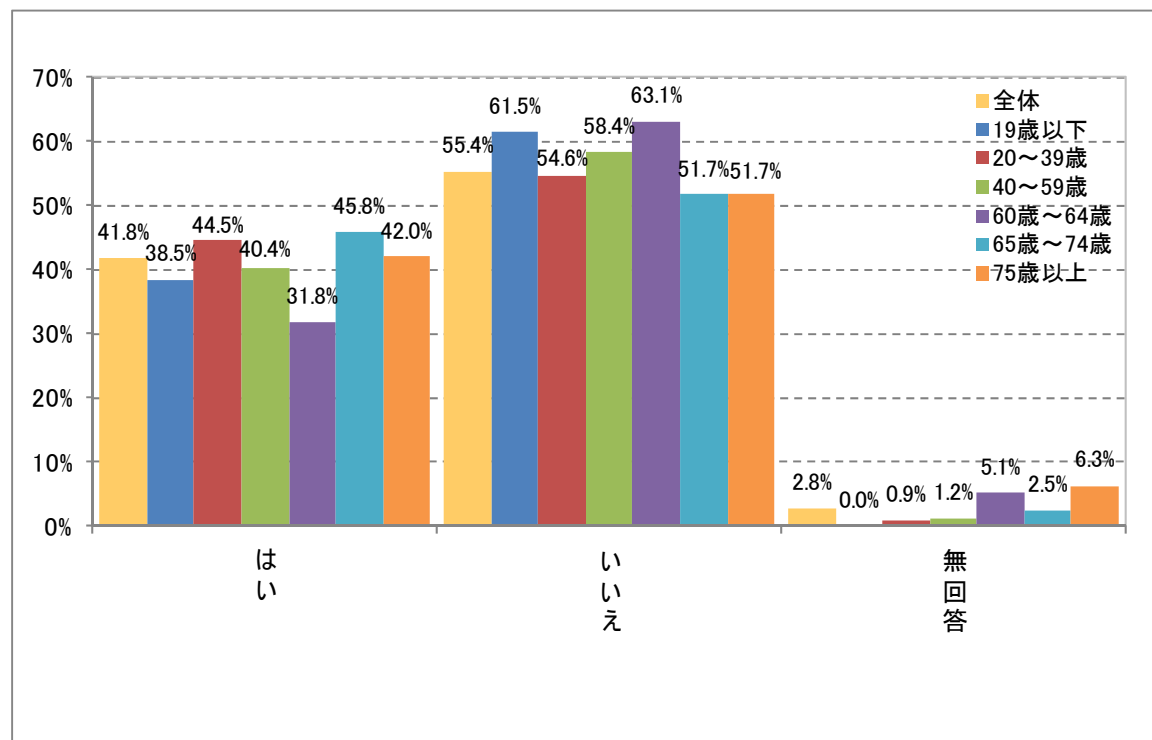
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	210	1	28	47	25	59	50
	比率	12.6%	7.7%	8.3%	11.4%	12.6%	14.5%	16.7%
ない	件数	1369	12	306	354	156	312	229
	比率	82.0%	92.3%	90.3%	85.7%	78.8%	76.8%	76.3%
無回答	件数	90	0	5	12	17	35	21
	比率	5.4%	0.0%	1.5%	2.9%	8.6%	8.6%	7.0%

Q11. その結果、薬局において、処方日数や回数を変更してもらえましたか？
(Q10. 「1. ある」とお答えの方)



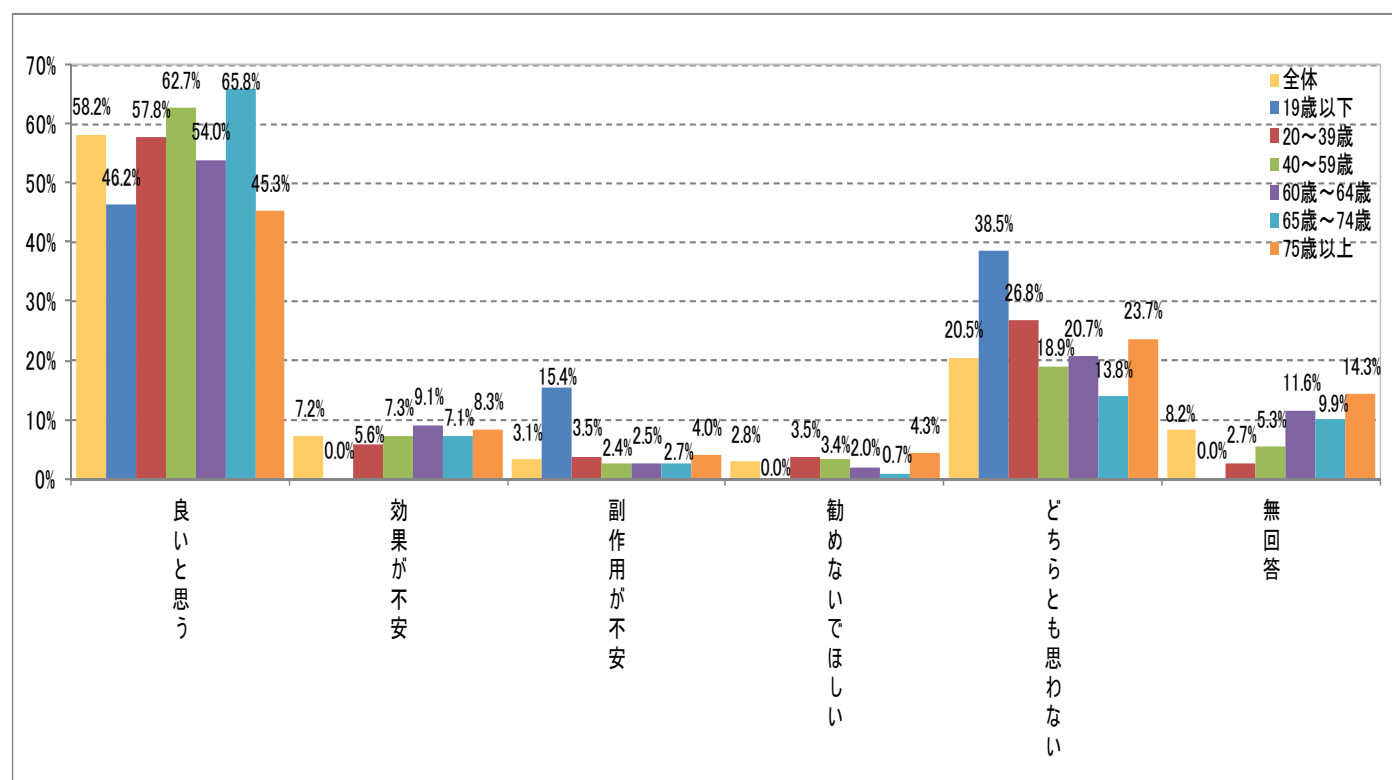
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	210	1	28	47	25	59	50
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	162	1	25	37	21	47	31
	比率	77.1%	100.0%	89.3%	78.7%	84.0%	79.7%	62.0%
いいえ	件数	41	0	3	10	2	10	16
	比率	19.5%	0.0%	10.7%	21.3%	8.0%	16.9%	32.0%
無回答	件数	7	0	0	0	2	2	3
	比率	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	3.4%	6.0%

Q12. 病院・医院において、ジェネリック医薬品について医師から説明を受けたことがありますか？



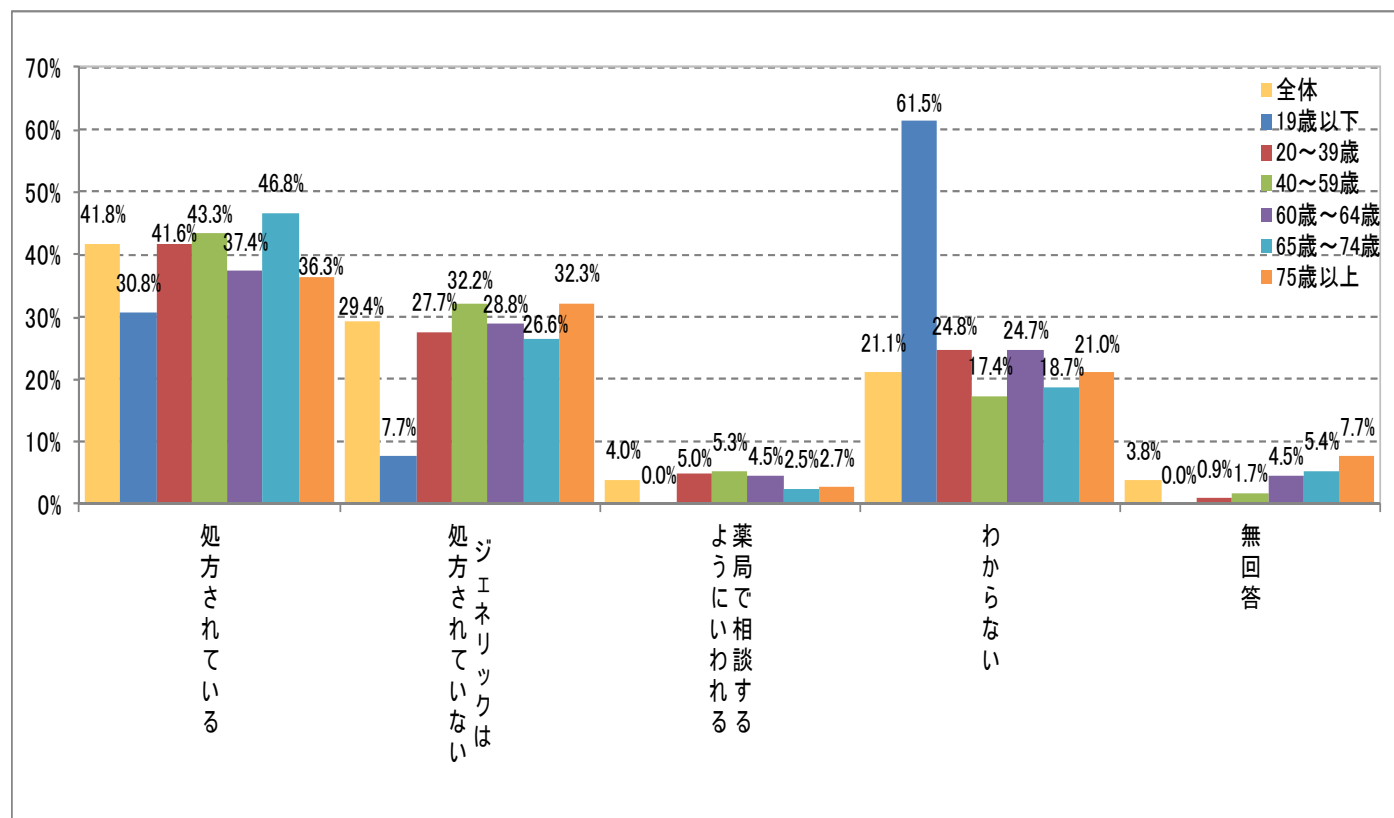
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	698	5	151	167	63	186	126
	比率	41.8%	38.5%	44.5%	40.4%	31.8%	45.8%	42.0%
いいえ	件数	924	8	185	241	125	210	155
	比率	55.4%	61.5%	54.6%	58.4%	63.1%	51.7%	51.7%
無回答	件数	47	0	3	5	10	10	19
	比率	2.8%	0.0%	0.9%	1.2%	5.1%	2.5%	6.3%

Q13. 病院・医院の医師からジェネリック医薬品の処方を勧められることについてどのように思われますか



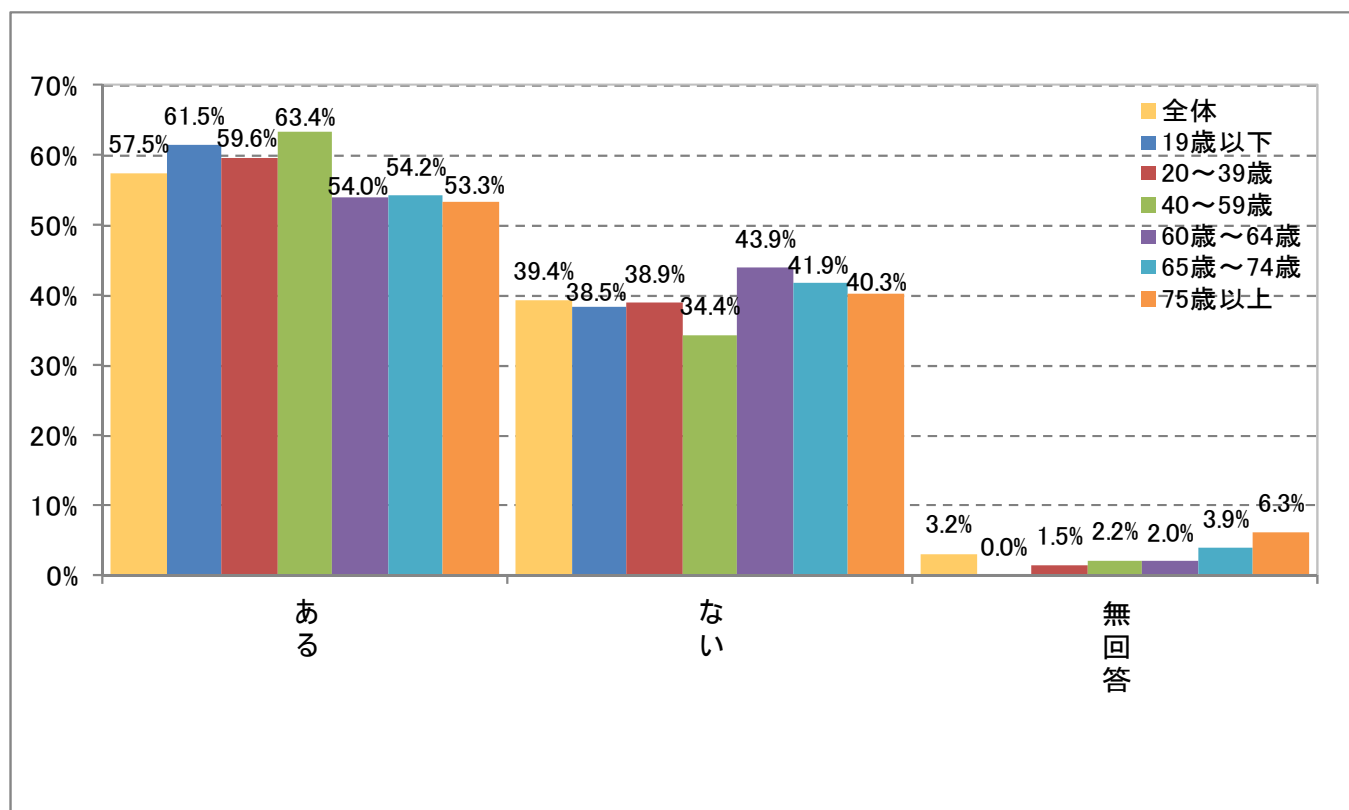
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
良いと思う	件数	971	6	196	259	107	267	136
	比率	58.2%	46.2%	57.8%	62.7%	54.0%	65.8%	45.3%
効果が不安	件数	121	0	19	30	18	29	25
	比率	7.2%	0.0%	5.6%	7.3%	9.1%	7.1%	8.3%
副作用が不安	件数	52	2	12	10	5	11	12
	比率	3.1%	15.4%	3.5%	2.4%	2.5%	2.7%	4.0%
勧めないでほしい	件数	46	0	12	14	4	3	13
	比率	2.8%	0.0%	3.5%	3.4%	2.0%	0.7%	4.3%
どちらとも思わない	件数	342	5	91	78	41	56	71
	比率	20.5%	38.5%	26.8%	18.9%	20.7%	13.8%	23.7%
無回答	件数	137	0	9	22	23	40	43
	比率	8.2%	0.0%	2.7%	5.3%	11.6%	9.9%	14.3%

Q14. 病院・医院からジェネリック医薬品を処方されていますか



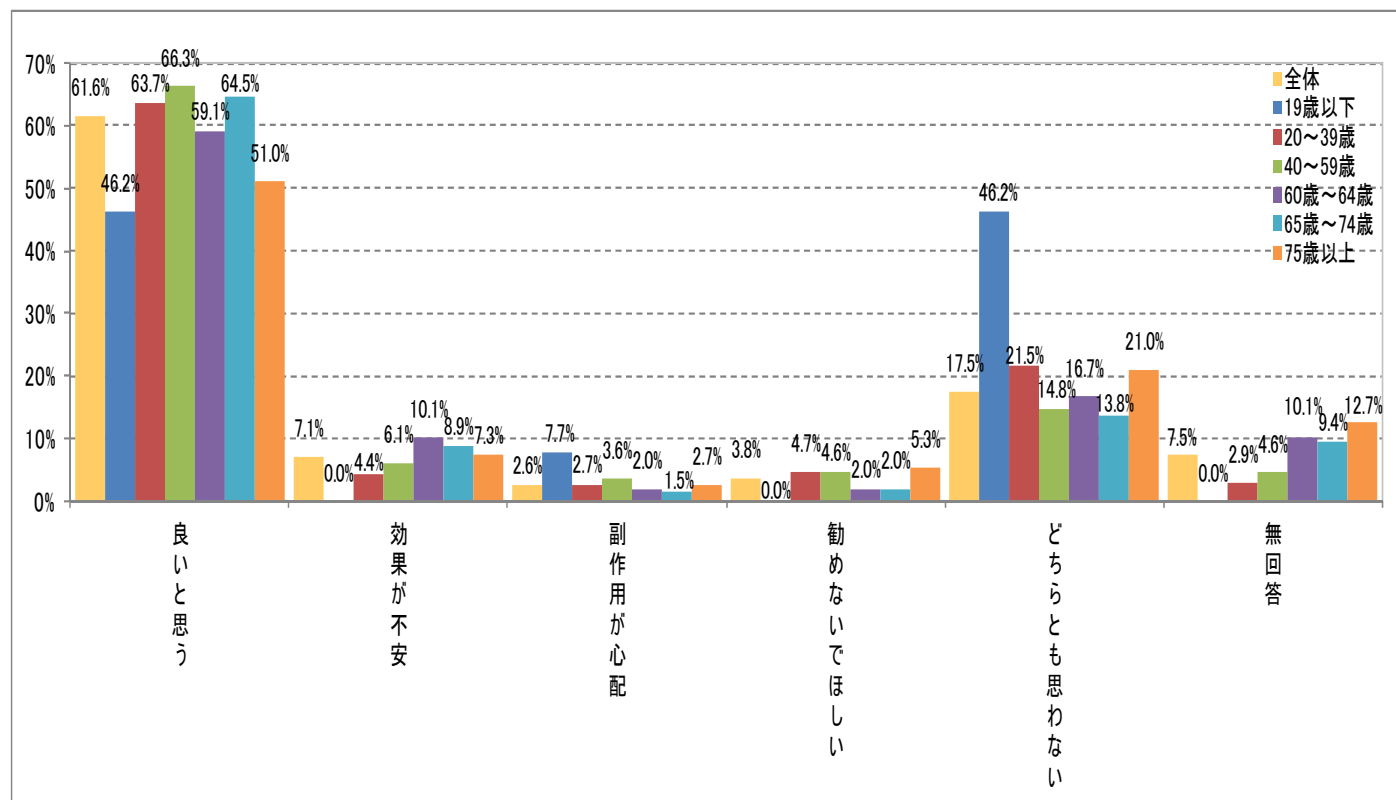
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
処方されている	件数	697	4	141	179	74	190	109
	比率	41.8%	30.8%	41.6%	43.3%	37.4%	46.8%	36.3%
ジェネリックは処方されていない	件数	490	1	94	133	57	108	97
	比率	29.4%	7.7%	27.7%	32.2%	28.8%	26.6%	32.3%
薬局で相談するよういわれる	件数	66	0	17	22	9	10	8
	比率	4.0%	0.0%	5.0%	5.3%	4.5%	2.5%	2.7%
わからない	件数	352	8	84	72	49	76	63
	比率	21.1%	61.5%	24.8%	17.4%	24.7%	18.7%	21.0%
無回答	件数	64	0	3	7	9	22	23
	比率	3.8%	0.0%	0.9%	1.7%	4.5%	5.4%	7.7%

Q15. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更について薬剤師から説明を受けたことがありますか



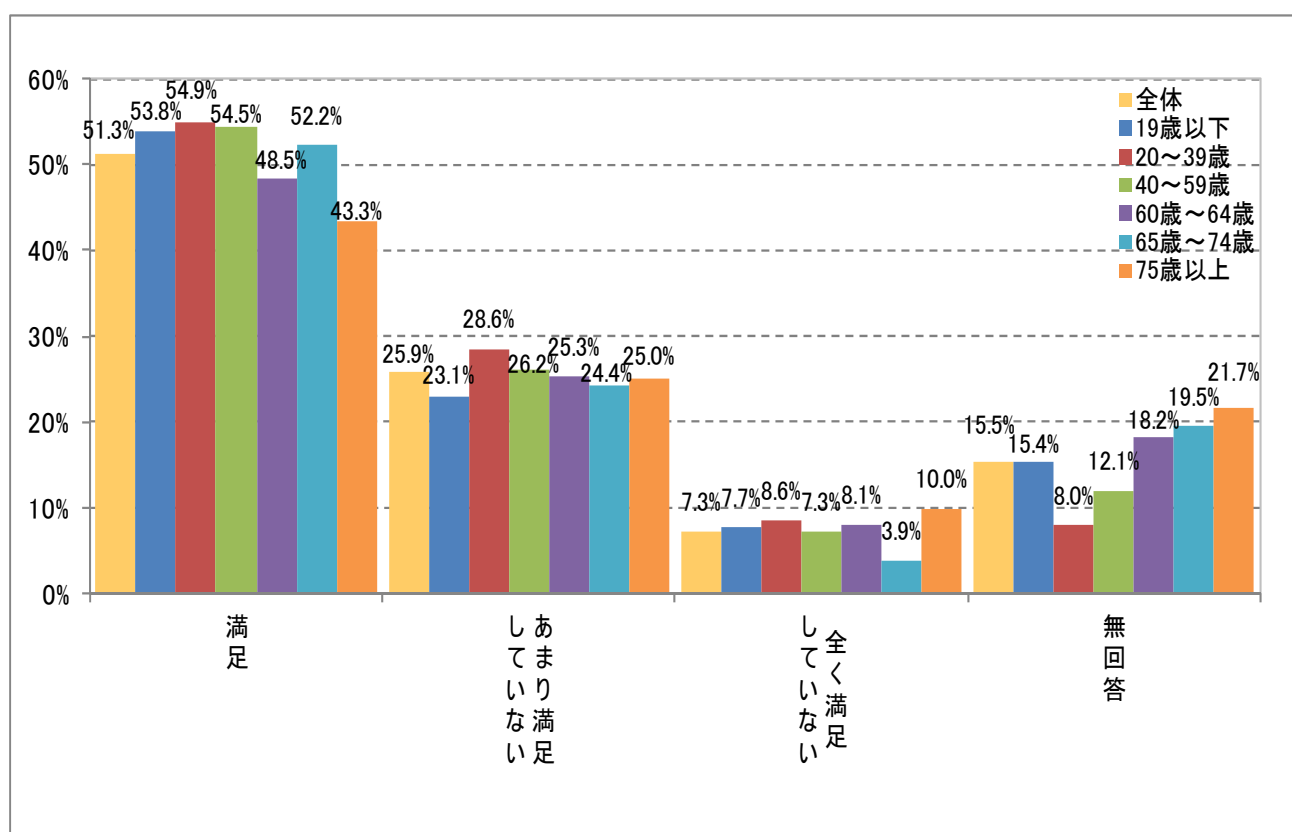
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	959	8	202	262	107	220	160
	比率	57.5%	61.5%	59.6%	63.4%	54.0%	54.2%	53.3%
ない	件数	657	5	132	142	87	170	121
	比率	39.4%	38.5%	38.9%	34.4%	43.9%	41.9%	40.3%
無回答	件数	53	0	5	9	4	16	19
	比率	3.2%	0.0%	1.5%	2.2%	2.0%	3.9%	6.3%

Q16. 薬局でジェネリック医薬品への変更について、薬剤師から勧められることについてどのように思われますか



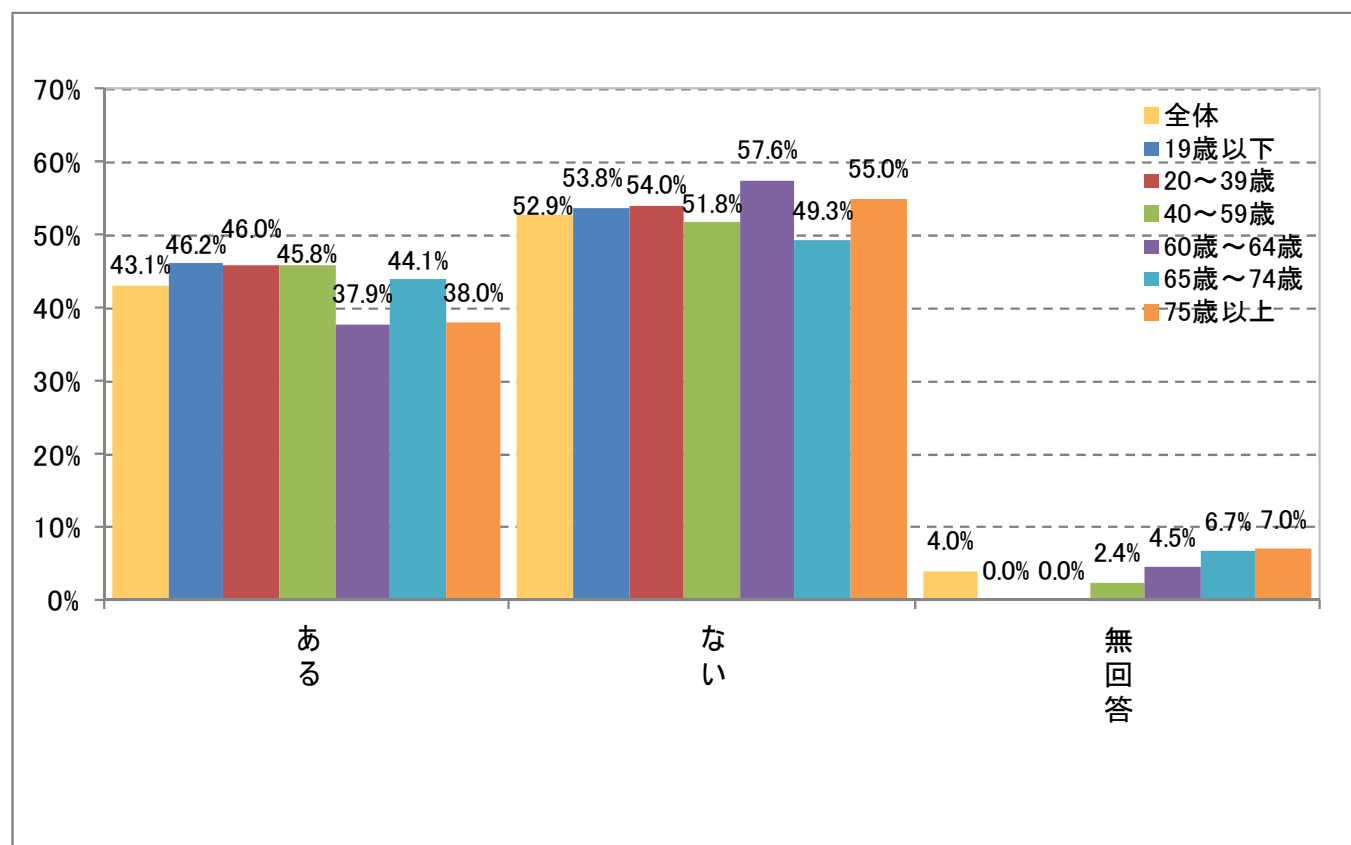
		全体	19歳以下	20~39歳	40~59歳	60歳~64歳	65歳~74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
良いと思う	件数	1028	6	216	274	117	262	153
	比率	61.6%	46.2%	63.7%	66.3%	59.1%	64.5%	51.0%
効果が不安	件数	118	0	15	25	20	36	22
	比率	7.1%	0.0%	4.4%	6.1%	10.1%	8.9%	7.3%
副作用が不安	件数	43	1	9	15	4	6	8
	比率	2.6%	7.7%	2.7%	3.6%	2.0%	1.5%	2.7%
勧めないでほしい	件数	63	0	16	19	4	8	16
	比率	3.8%	0.0%	4.7%	4.6%	2.0%	2.0%	5.3%
どちらとも思わない	件数	292	6	73	61	33	56	63
	比率	17.5%	46.2%	21.5%	14.8%	16.7%	13.8%	21.0%
無回答	件数	125	0	10	19	20	38	38
	比率	7.5%	0.0%	2.9%	4.6%	10.1%	9.4%	12.7%

Q17. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更説明に満足していますか



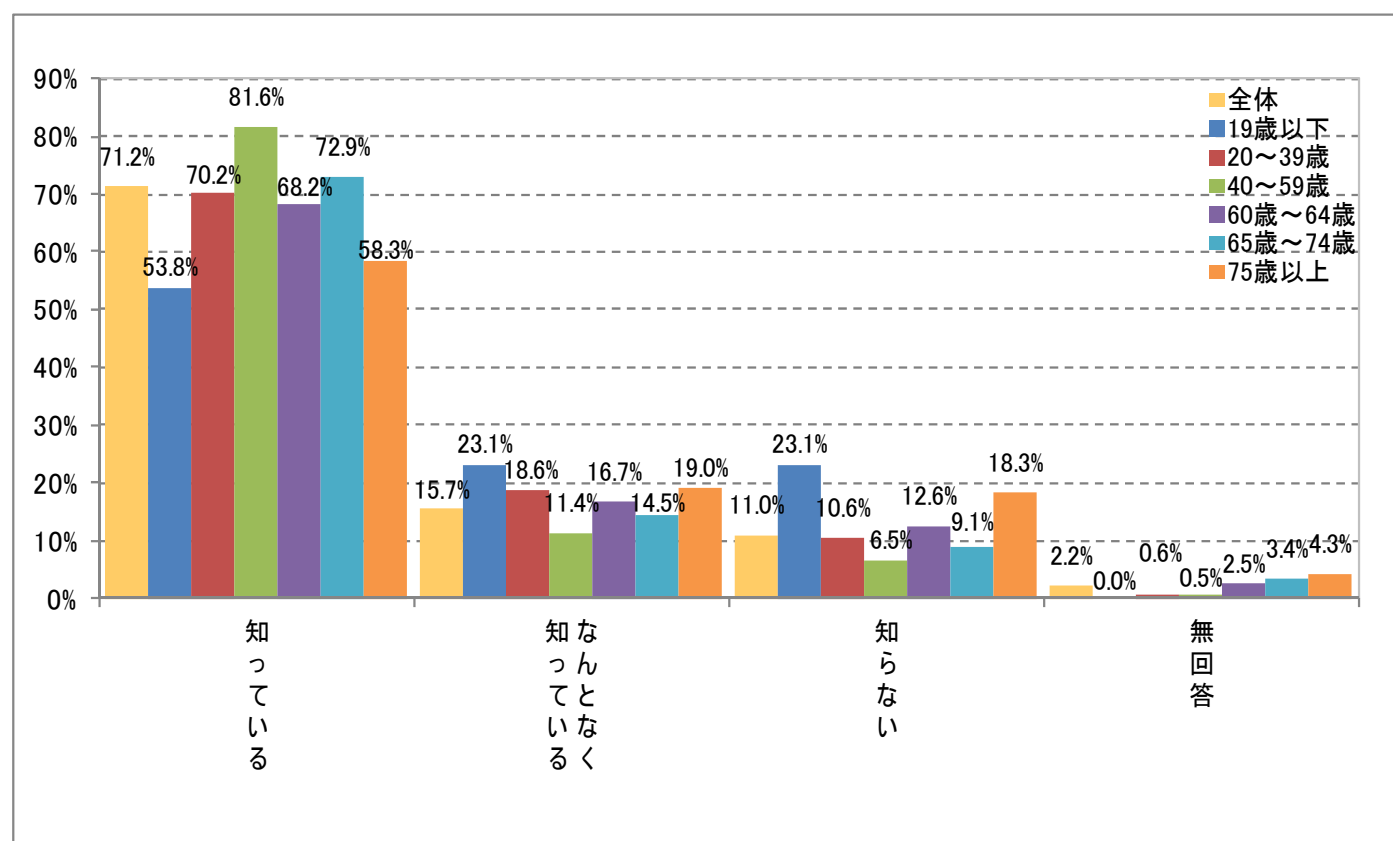
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
満足	件数	856	7	186	225	96	212	130
	比率	51.3%	53.8%	54.9%	54.5%	48.5%	52.2%	43.3%
あまり満足していない	件数	432	3	97	108	50	99	75
	比率	25.9%	23.1%	28.6%	26.2%	25.3%	24.4%	25.0%
全く満足していない	件数	122	1	29	30	16	16	30
	比率	7.3%	7.7%	8.6%	7.3%	8.1%	3.9%	10.0%
無回答	件数	259	2	27	50	36	79	65
	比率	15.5%	15.4%	8.0%	12.1%	18.2%	19.5%	21.7%

Q18. 薬局において、ジェネリック医薬品に変更したことはありますか



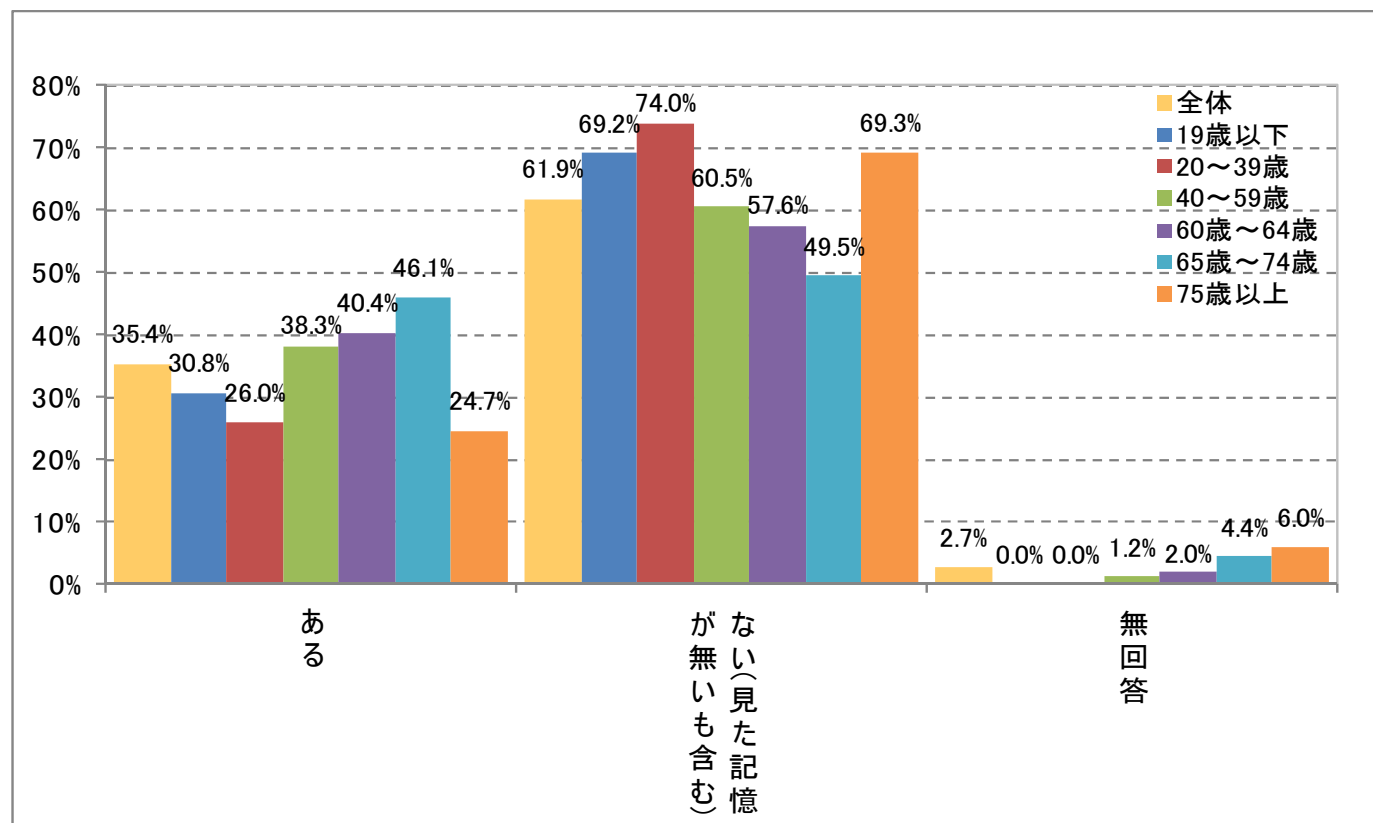
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	719	6	156	189	75	179	114
	比率	43.1%	46.2%	46.0%	45.8%	37.9%	44.1%	38.0%
ない	件数	883	7	183	214	114	200	165
	比率	52.9%	53.8%	54.0%	51.8%	57.6%	49.3%	55.0%
無回答	件数	67	0	0	10	9	27	21
	比率	4.0%	0.0%	0.0%	2.4%	4.5%	6.7%	7.0%

Q19. 処方薬をジェネリック医薬品に変更することによって、自己負担金や、医療費を減らせることを知っていますか



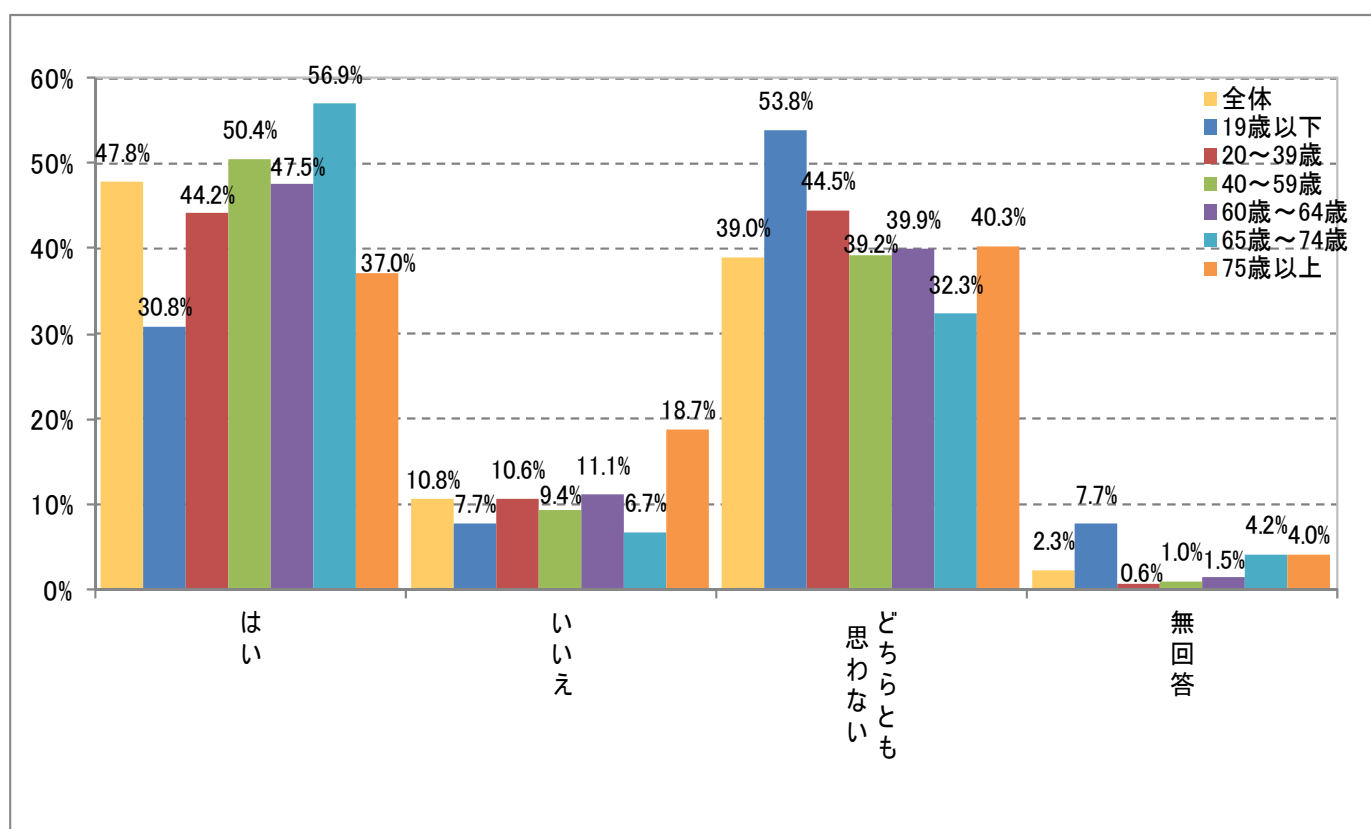
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	件数	1188	7	238	337	135	296	175
	比率	71.2%	53.8%	70.2%	81.6%	68.2%	72.9%	58.3%
なんとなく知っている	件数	262	3	63	47	33	59	57
	比率	15.7%	23.1%	18.6%	11.4%	16.7%	14.5%	19.0%
知らない	件数	183	3	36	27	25	37	55
	比率	11.0%	23.1%	10.6%	6.5%	12.6%	9.1%	18.3%
無回答	件数	36	0	2	2	5	14	13
	比率	2.2%	0.0%	0.6%	0.5%	2.5%	3.4%	4.3%

Q20. 国保組合・健康保険組合などからジェネリック医薬品の使用をすすめるお知らせを受け取ったことはありますか



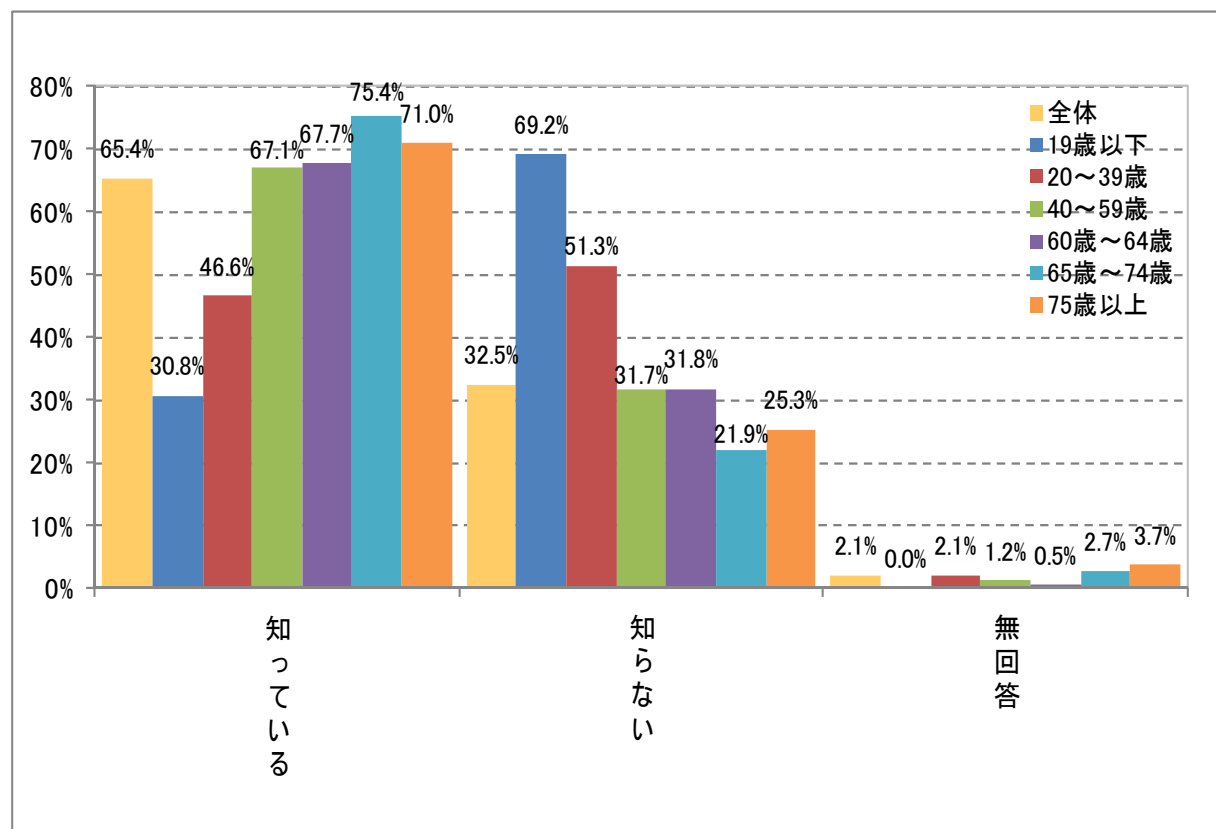
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	591	4	88	158	80	187	74
	比率	35.4%	30.8%	26.0%	38.3%	40.4%	46.1%	24.7%
ない(見た記憶が無いも含む)	件数	1033	9	251	250	114	201	208
	比率	61.9%	69.2%	74.0%	60.5%	57.6%	49.5%	69.3%
無回答	件数	45	0	0	5	4	18	18
	比率	2.7%	0.0%	0.0%	1.2%	2.0%	4.4%	6.0%

Q21. あなたは、ジェネリック医薬品を使いたいと思いますか



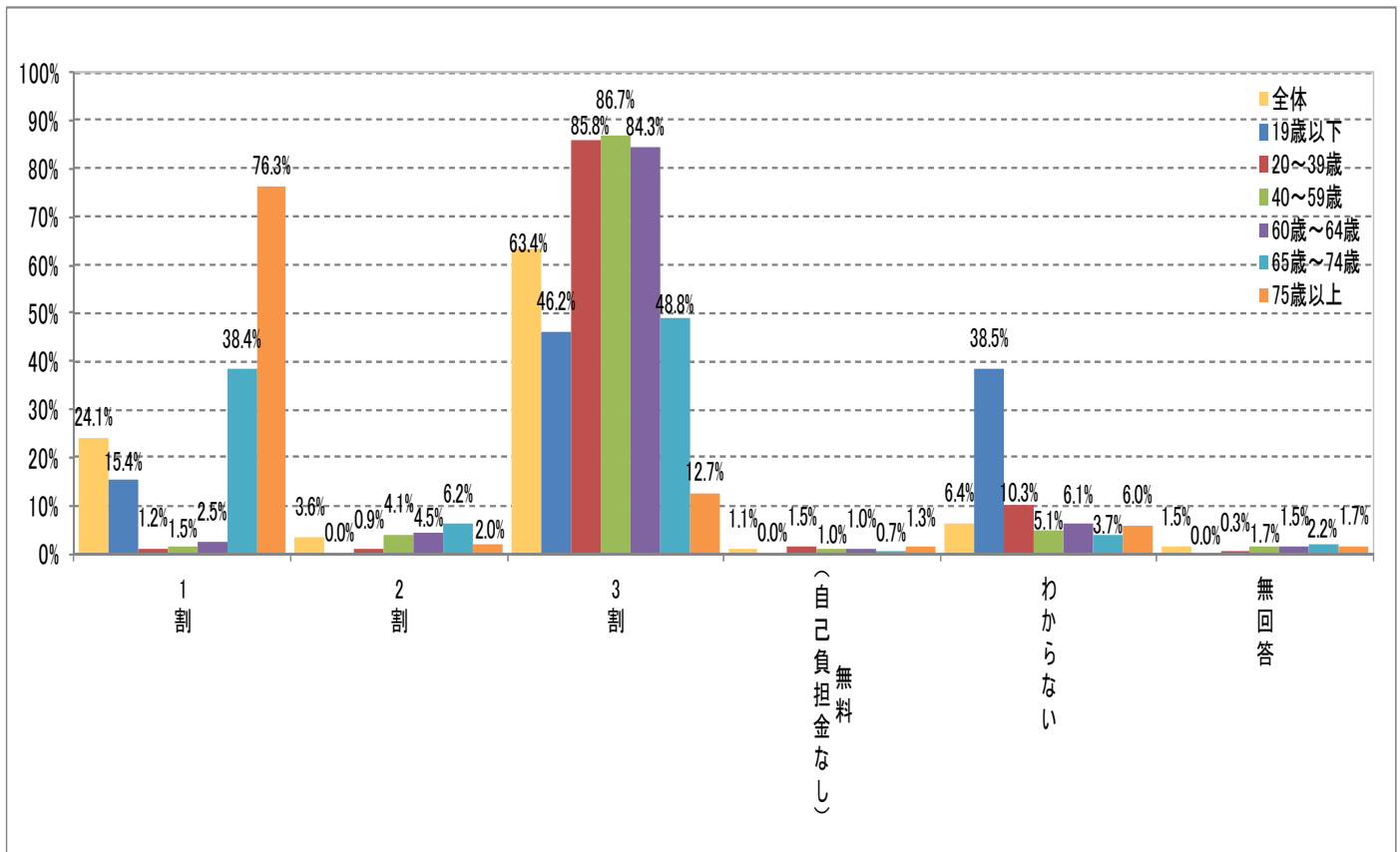
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	798	4	150	208	94	231	111
	比率	47.8%	30.8%	44.2%	50.4%	47.5%	56.9%	37.0%
いいえ	件数	181	1	36	39	22	27	56
	比率	10.8%	7.7%	10.6%	9.4%	11.1%	6.7%	18.7%
どちらとも思わない	件数	651	7	151	162	79	131	121
	比率	39.0%	53.8%	44.5%	39.2%	39.9%	32.3%	40.3%
無回答	件数	39	1	2	4	3	17	12
	比率	2.3%	7.7%	0.6%	1.0%	1.5%	4.2%	4.0%

Q22. あなたは、自分の医療費がどのくらいかかっているか知っていますか？



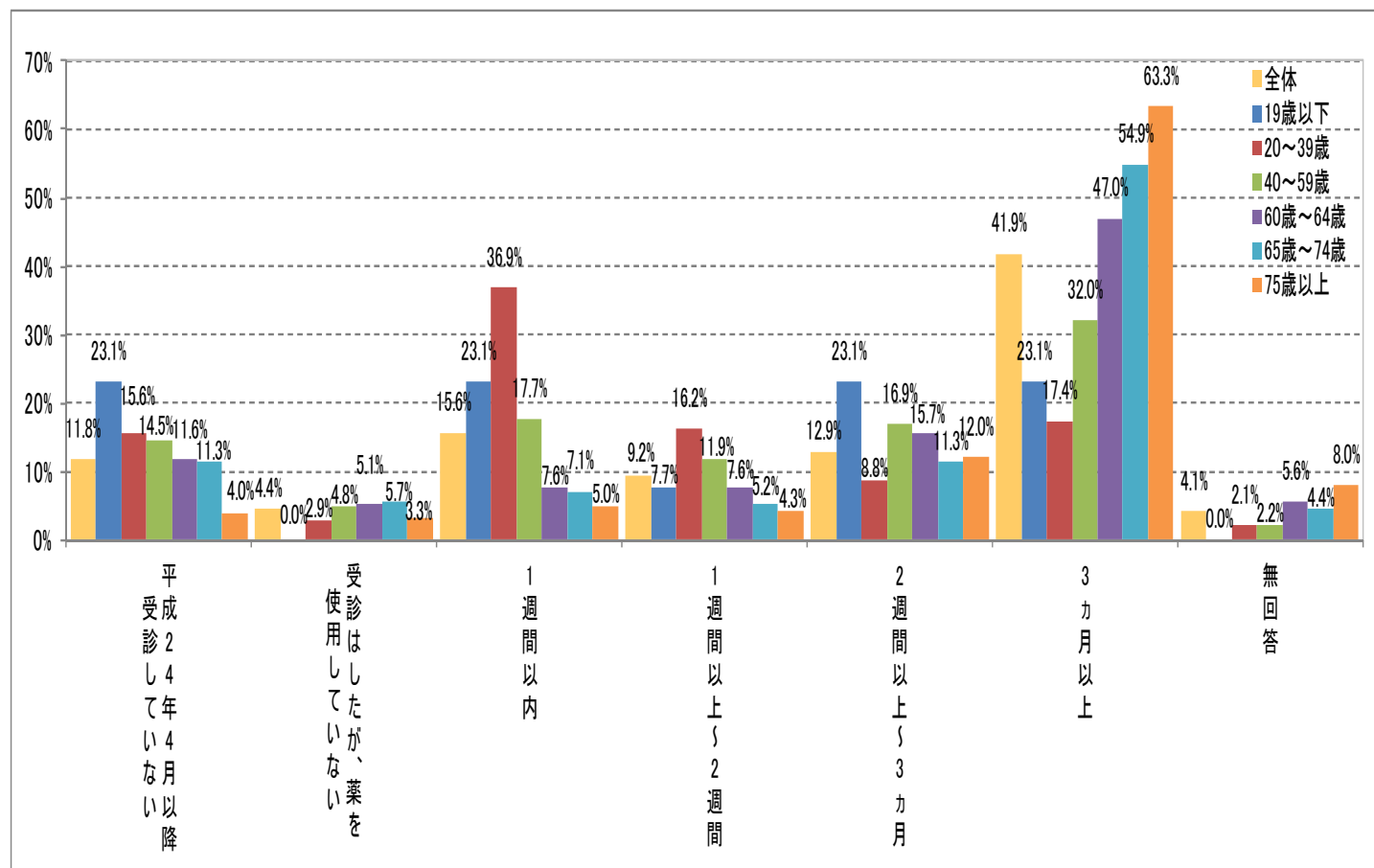
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	件数	1092	4	158	277	134	306	213
	比率	65.4%	30.8%	46.6%	67.1%	67.7%	75.4%	71.0%
知らない	件数	542	9	174	131	63	89	76
	比率	32.5%	69.2%	51.3%	31.7%	31.8%	21.9%	25.3%
無回答	件数	35	0	7	5	1	11	11
	比率	2.1%	0.0%	2.1%	1.2%	0.5%	2.7%	3.7%

Q23. あなたは、自分の保険の自己負担金の割合がどのくらいか知っていますか？



		全体	19歳以下	20~39歳	40~59歳	60歳~64歳	65歳~74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1割	件数	402	2	4	6	5	156	229
	比率	24.1%	15.4%	1.2%	1.5%	2.5%	38.4%	76.3%
2割	件数	60	0	3	17	9	25	6
	比率	3.6%	0.0%	0.9%	4.1%	4.5%	6.2%	2.0%
3割	件数	1058	6	291	358	167	198	38
	比率	63.4%	46.2%	85.8%	86.7%	84.3%	48.8%	12.7%
無料(自己負担金なし)	件数	18	0	5	4	2	3	4
	比率	1.1%	0.0%	1.5%	1.0%	1.0%	0.7%	1.3%
わからない	件数	106	5	35	21	12	15	18
	比率	6.4%	38.5%	10.3%	5.1%	6.1%	3.7%	6.0%
無回答	件数	25	0	1	7	3	9	5
	比率	1.5%	0.0%	0.3%	1.7%	1.5%	2.2%	1.7%

Q26. あなたが平成 24 年 4 月以降、病院・医院で受診して、処方されたお薬のうち一番長く継続して使用しているお薬の使用期間を選んでください



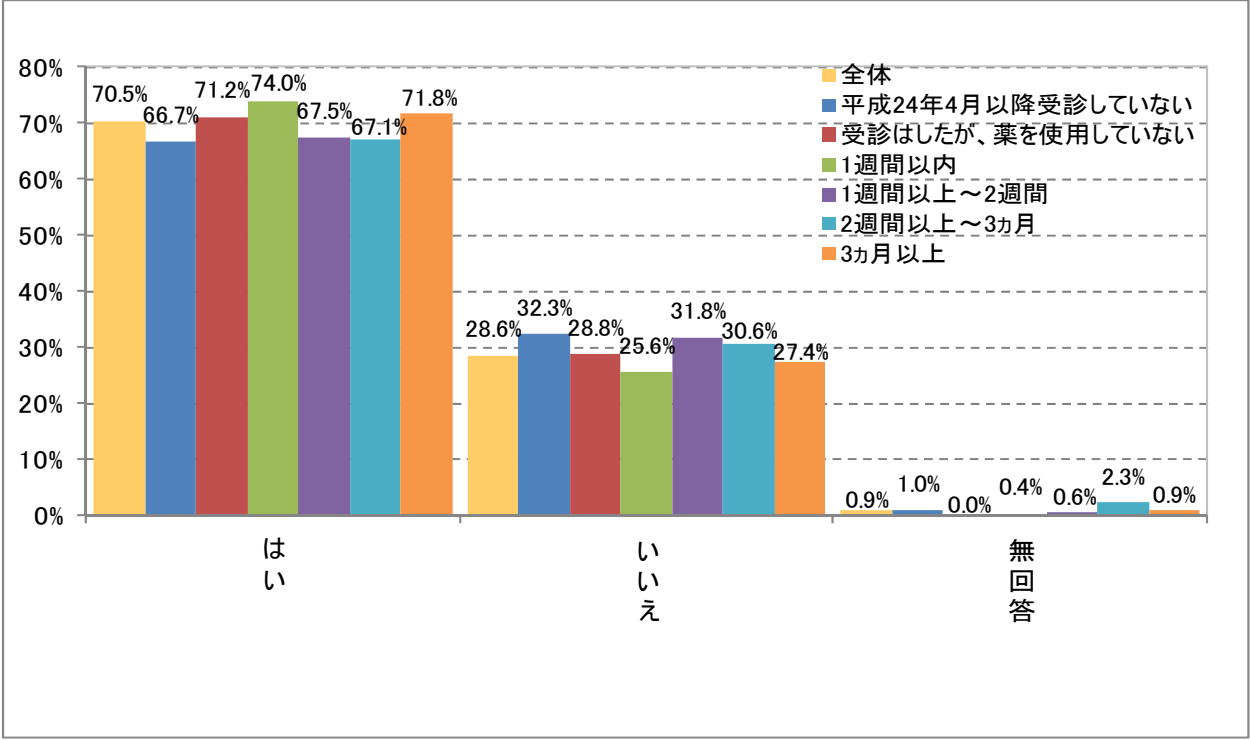
		全体	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
全体	件数	1669	13	339	413	198	406	300
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
平成24年4月以降受診していない	件数	197	3	53	60	23	46	12
	比率	11.8%	23.1%	15.6%	14.5%	11.6%	11.3%	4.0%
受診はしたが、薬を使用していない	件数	73	0	10	20	10	23	10
	比率	4.4%	0.0%	2.9%	4.8%	5.1%	5.7%	3.3%
1週間以内	件数	260	3	125	73	15	29	15
	比率	15.6%	23.1%	36.9%	17.7%	7.6%	7.1%	5.0%
1週間以上～2週間	件数	154	1	55	49	15	21	13
	比率	9.2%	7.7%	16.2%	11.9%	7.6%	5.2%	4.3%
2週間以上～3ヵ月	件数	216	3	30	70	31	46	36
	比率	12.9%	23.1%	8.8%	16.9%	15.7%	11.3%	12.0%
3ヵ月以上	件数	700	3	59	132	93	223	190
	比率	41.9%	23.1%	17.4%	32.0%	47.0%	54.9%	63.3%
無回答	件数	69	0	7	9	11	18	24
	比率	4.1%	0.0%	2.1%	2.2%	5.6%	4.4%	8.0%

医療用医薬品の残薬・ジェネリック医薬品についての調査結果報告【クロス集計】

【調査結果】〈使用期間別クロス集計〉

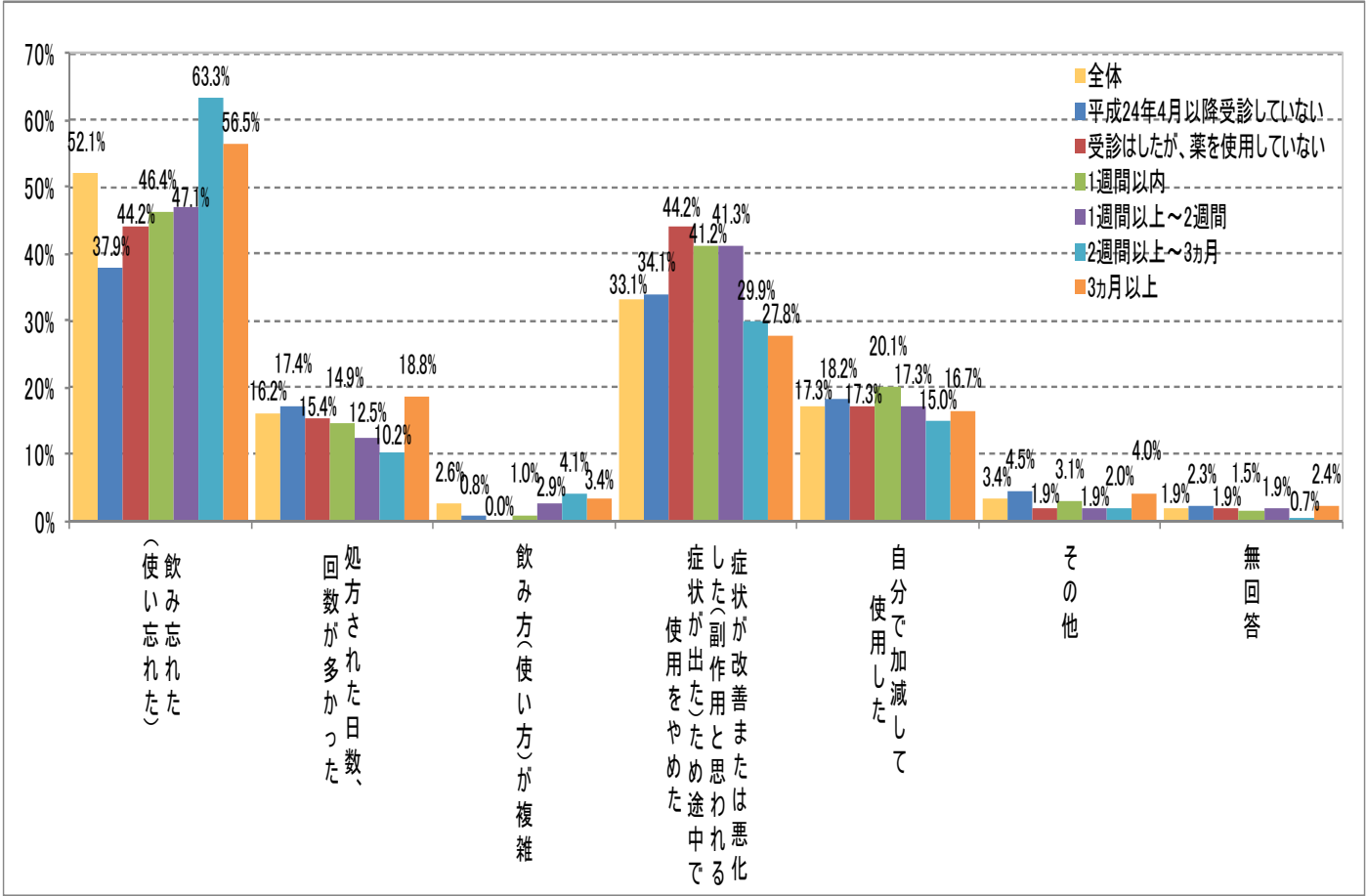
(Q26.あなたは平成24年4月以降、病院・医院で受診して、処方されたお薬のうち一番長く継続して使用しているお薬の使用期間を選んでください。)

Q1. 病院・医院から処方せんによって調剤された薬(医療用医薬品)が残ったことがありますか(病院内で処方された薬を含む)



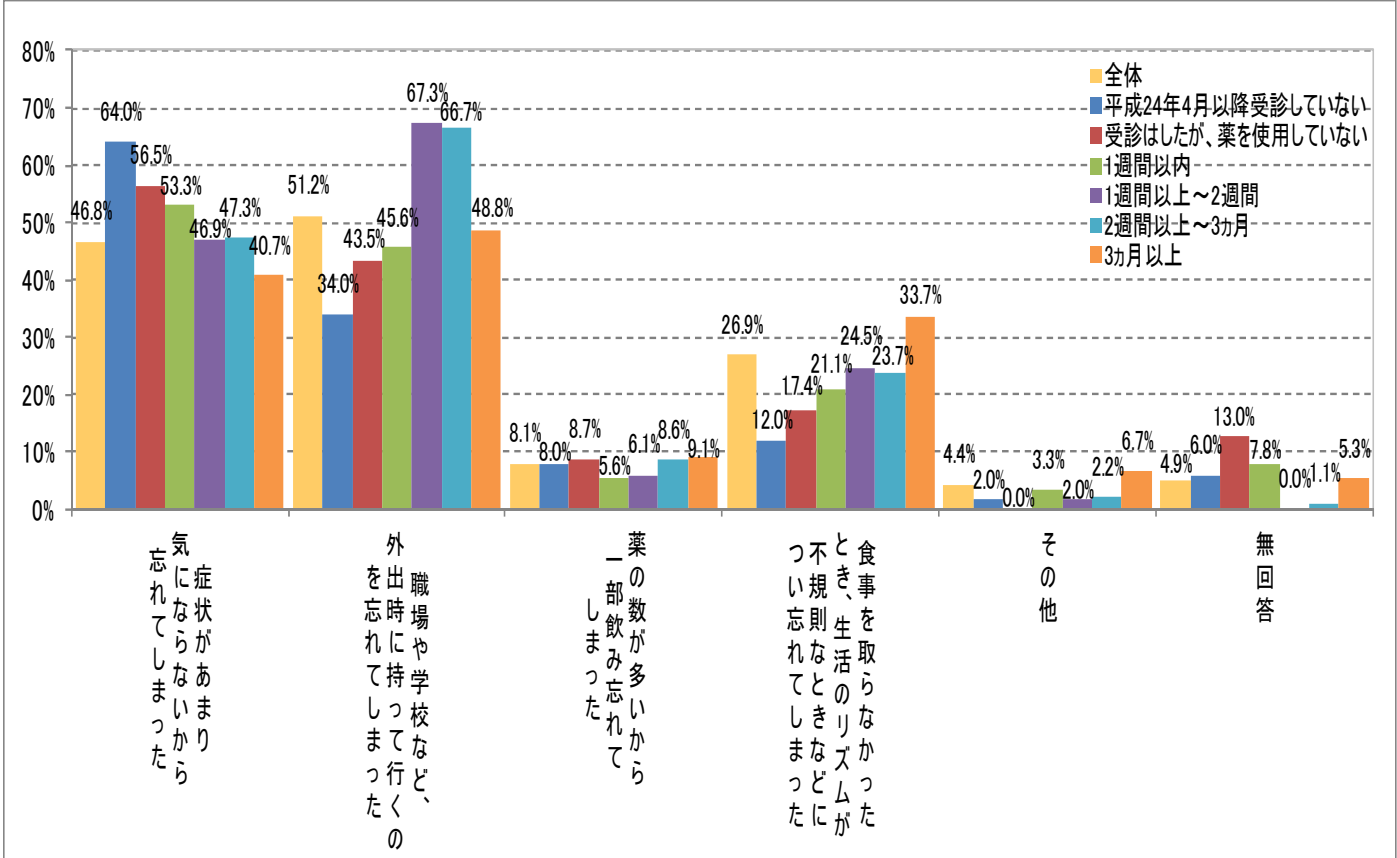
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1608	198	73	262	154	219	702
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	1133	132	52	194	104	147	504
	比率	70.5%	66.7%	71.2%	74.0%	67.5%	67.1%	71.8%
いいえ	件数	460	64	21	67	49	67	192
	比率	28.6%	32.3%	28.8%	25.6%	31.8%	30.6%	27.4%
無回答	件数	15	2	0	1	1	5	6
	比率	0.9%	1.0%	0.0%	0.4%	0.6%	2.3%	0.9%

Q2. 残った理由は何でしたか(Q1. 「1. はい」とお答えの方)



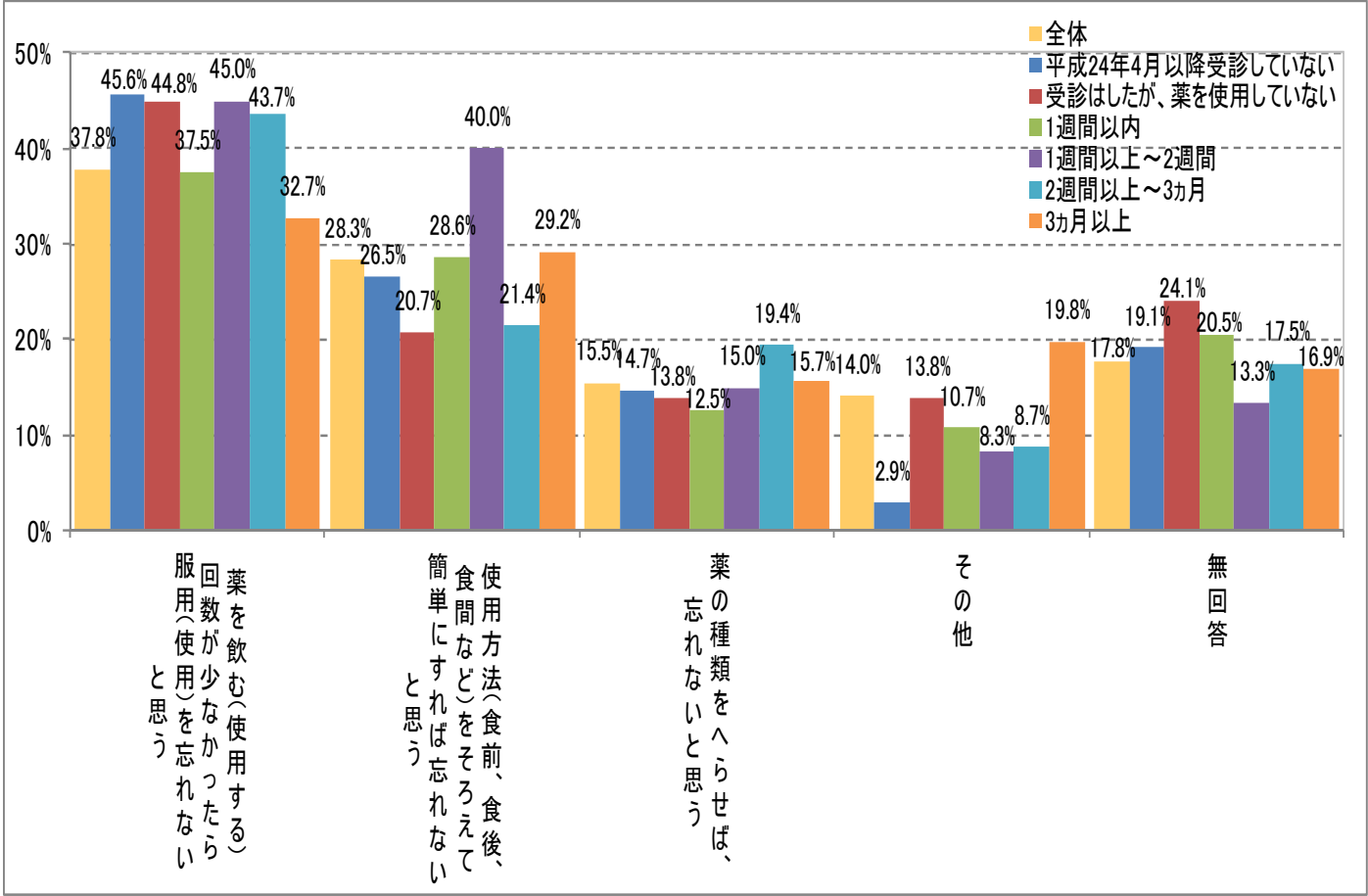
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1133	132	52	194	104	147	504
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
飲み忘れた(使い忘れた)	件数	590	50	23	90	49	93	285
	比率	52.1%	37.9%	44.2%	46.4%	47.1%	63.3%	56.5%
処方された日数、回数が多かった	件数	183	23	8	29	13	15	95
	比率	16.2%	17.4%	15.4%	14.9%	12.5%	10.2%	18.8%
飲み方(使い方)が複雑	件数	29	1	0	2	3	6	17
	比率	2.6%	0.8%	0.0%	1.0%	2.9%	4.1%	3.4%
症状が改善または悪化した(副作用と思われる症状が出た)ため途中で使用をやめた	件数	375	45	23	80	43	44	140
	比率	33.1%	34.1%	44.2%	41.2%	41.3%	29.9%	27.8%
自分で加減して使用した	件数	196	24	9	39	18	22	84
	比率	17.3%	18.2%	17.3%	20.1%	17.3%	15.0%	16.7%
その他	件数	38	6	1	6	2	3	20
	比率	3.4%	4.5%	1.9%	3.1%	1.9%	2.0%	4.0%
無回答	件数	22	3	1	3	2	1	12
	比率	1.9%	2.3%	1.9%	1.5%	1.9%	0.7%	2.4%

Q3. 飲み忘れた(使い忘れた)理由は何ですか(Q2. 「Q1. 飲み忘れた(使い忘れた)」 とお答えの方)



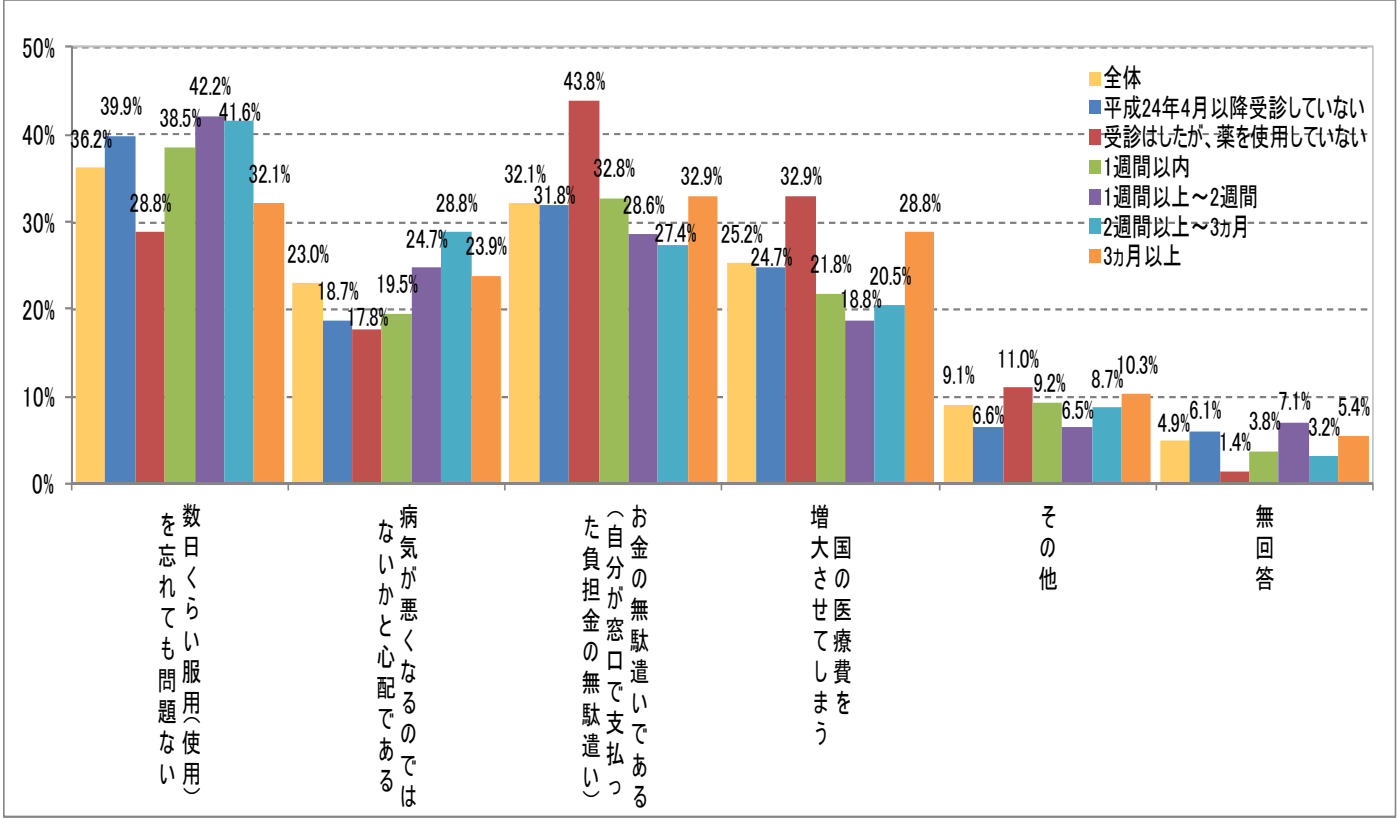
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	590	50	23	90	49	93	285
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
症状があまり気にならないから忘れてしまった	件数	276	32	13	48	23	44	116
	比率	46.8%	64.0%	56.5%	53.3%	46.9%	47.3%	40.7%
職場や学校など、外出時に持っていて行きのを忘れてしまった	件数	302	17	10	41	33	62	139
	比率	51.2%	34.0%	43.5%	45.6%	67.3%	66.7%	48.8%
薬の数が多から一部飲み忘れてしまった	件数	48	4	2	5	3	8	26
	比率	8.1%	8.0%	8.7%	5.6%	6.1%	8.6%	9.1%
食事を取らなかったとき、生活のリズムが不規則なときなどに忘れてしまった	件数	159	6	4	19	12	22	96
	比率	26.9%	12.0%	17.4%	21.1%	24.5%	23.7%	33.7%
その他	件数	26	1	0	3	1	2	19
	比率	4.4%	2.0%	0.0%	3.3%	2.0%	2.2%	6.7%
無回答	件数	29	3	3	7	0	1	15
	比率	4.9%	6.0%	13.0%	7.8%	0.0%	1.1%	5.3%

Q4. どのようにしたらきちんと服用(使用)できると思いますか？
(Q2. 「1. 飲み忘れた(使い忘れた)」、「2. 処方された日数、回数が多かった」とお答えの方)



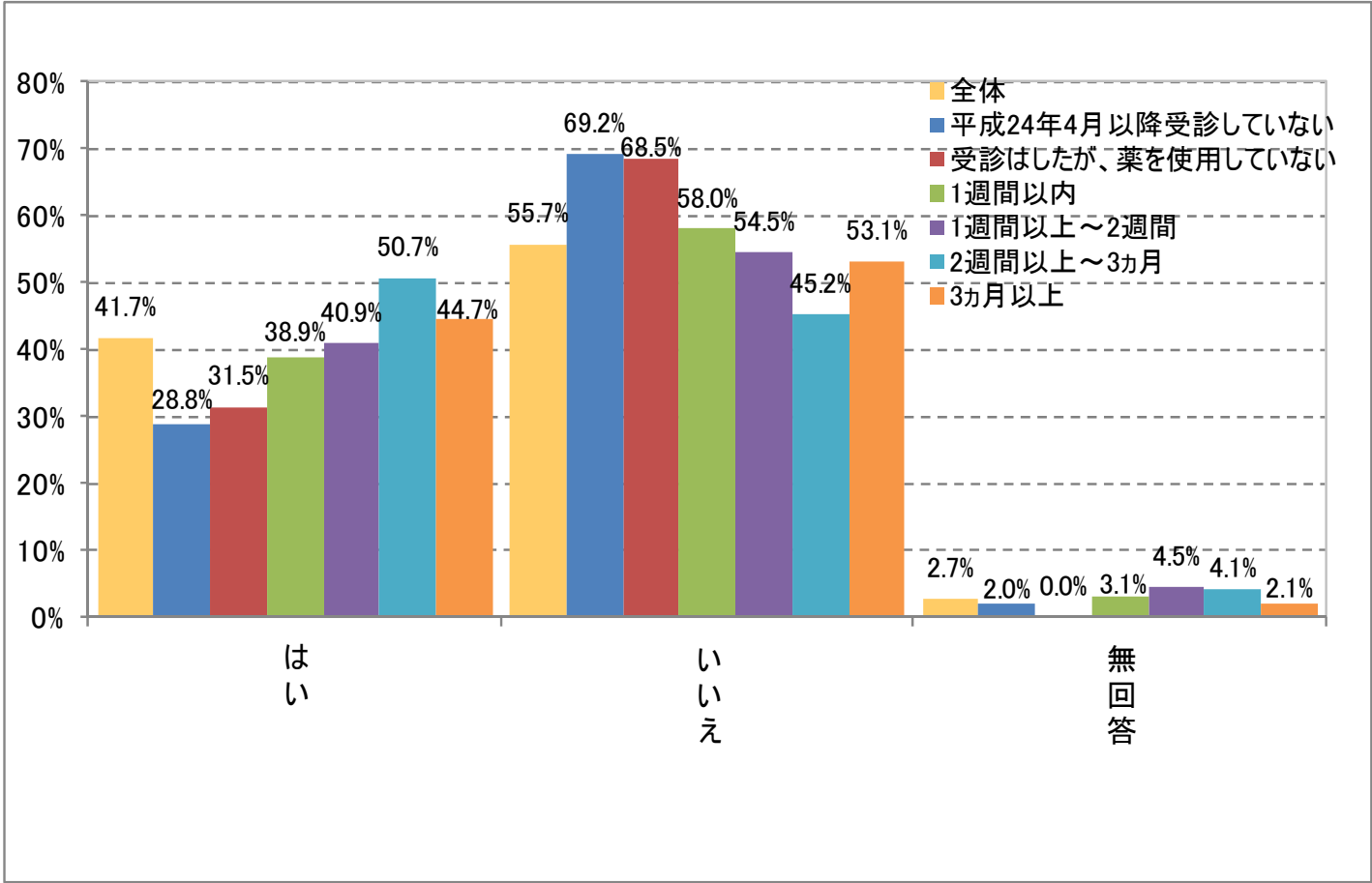
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	715	68	29	112	60	103	343
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
薬を飲む(使用する)回数が少なかったら服用(使用)を忘れないと思う	件数	270	31	13	42	27	45	112
	比率	37.8%	45.6%	44.8%	37.5%	45.0%	43.7%	32.7%
使用方法(食前、食後、食間など)をそろえて簡単にすれば忘れないと思う	件数	202	18	6	32	24	22	100
	比率	28.3%	26.5%	20.7%	28.6%	40.0%	21.4%	29.2%
薬の種類をへらせば、忘れないと思う	件数	111	10	4	14	9	20	54
	比率	15.5%	14.7%	13.8%	12.5%	15.0%	19.4%	15.7%
その他	件数	100	2	4	12	5	9	68
	比率	14.0%	2.9%	13.8%	10.7%	8.3%	8.7%	19.8%
無回答	件数	127	13	7	23	8	18	58
	比率	17.8%	19.1%	24.1%	20.5%	13.3%	17.5%	16.9%

Q5. 残薬についてどのように思われますか



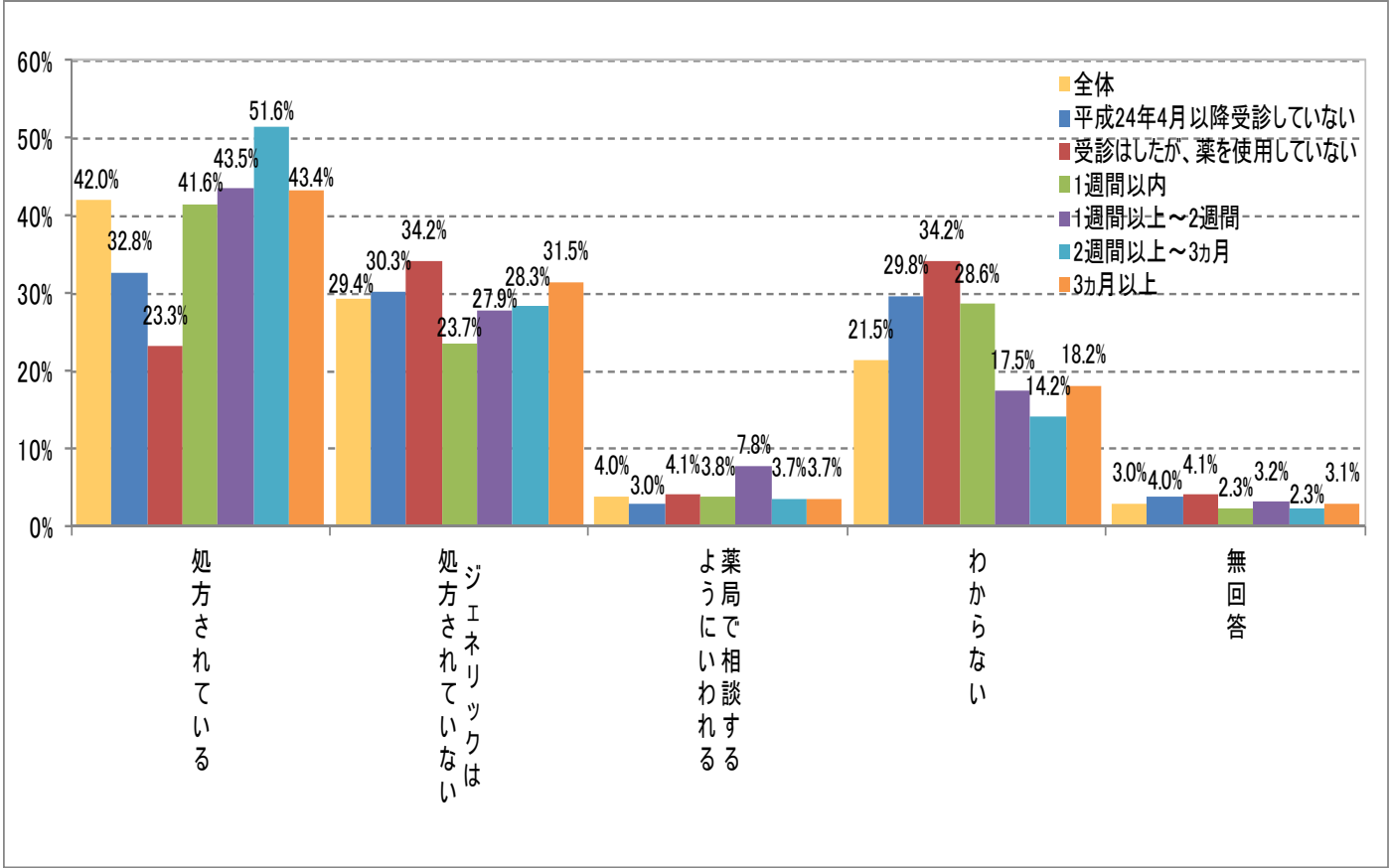
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1608	198	73	262	154	219	702
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
数日くらい服用(使用)を忘れても問題ない	件数	582	79	21	101	65	91	225
	比率	36.2%	39.9%	28.8%	38.5%	42.2%	41.6%	32.1%
病気が悪くなるのではないかと心配である	件数	370	37	13	51	38	63	168
	比率	23.0%	18.7%	17.8%	19.5%	24.7%	28.8%	23.9%
お金の無駄遣いである(自分が窓口で支払った負担金の無駄遣い)	件数	516	63	32	86	44	60	231
	比率	32.1%	31.8%	43.8%	32.8%	28.6%	27.4%	32.9%
国の医療費を増大させてしまう	件数	406	49	24	57	29	45	202
	比率	25.2%	24.7%	32.9%	21.8%	18.8%	20.5%	28.8%
その他	件数	146	13	8	24	10	19	72
	比率	9.1%	6.6%	11.0%	9.2%	6.5%	8.7%	10.3%
無回答	件数	79	12	1	10	11	7	38
	比率	4.9%	6.1%	1.4%	3.8%	7.1%	3.2%	5.4%

Q12. 病院・医院において、ジェネリック医薬品について医師から説明を受けたことがありますか？



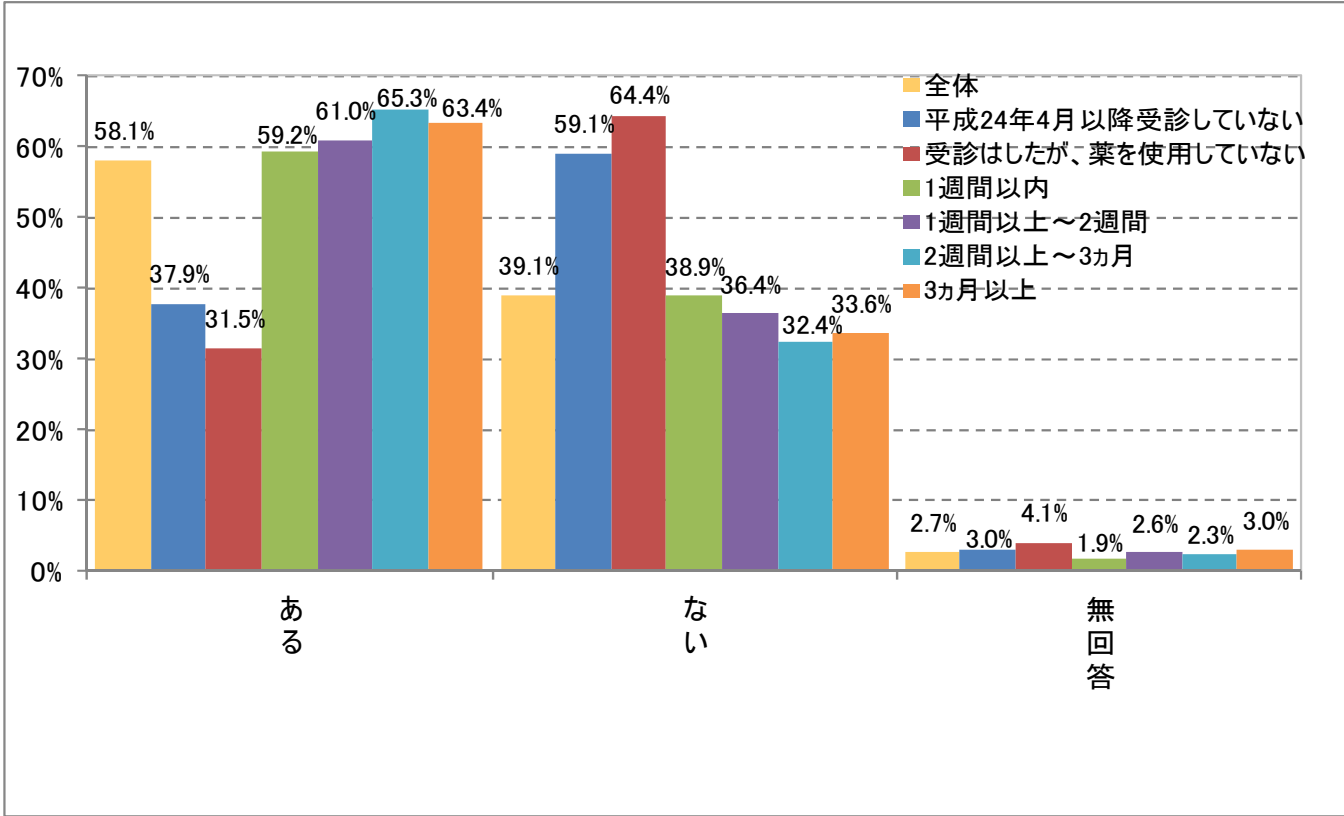
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1608	198	73	262	154	219	702
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	670	57	23	102	63	111	314
	比率	41.7%	28.8%	31.5%	38.9%	40.9%	50.7%	44.7%
いいえ	件数	895	137	50	152	84	99	373
	比率	55.7%	69.2%	68.5%	58.0%	54.5%	45.2%	53.1%
無回答	件数	43	4	0	8	7	9	15
	比率	2.7%	2.0%	0.0%	3.1%	4.5%	4.1%	2.1%

Q14. 病院・医院からジェネリック医薬品を処方されていますか



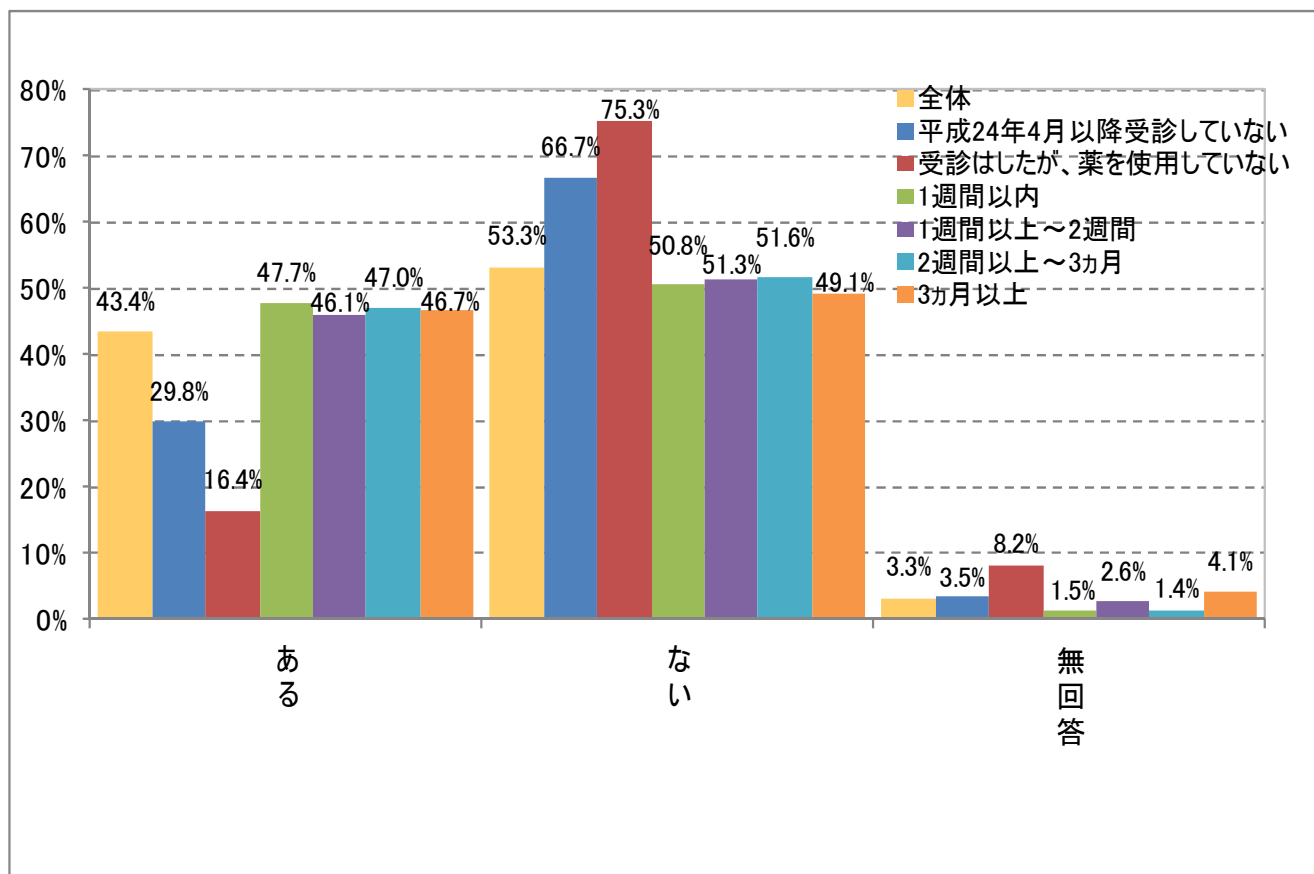
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1608	198	73	262	154	219	702
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
処方されている	件数	676	65	17	109	67	113	305
	比率	42.0%	32.8%	23.3%	41.6%	43.5%	51.6%	43.4%
ジェネリックは処方されていない	件数	473	60	25	62	43	62	221
	比率	29.4%	30.3%	34.2%	23.7%	27.9%	28.3%	31.5%
薬局で相談するようにいわれる	件数	65	6	3	10	12	8	26
	比率	4.0%	3.0%	4.1%	3.8%	7.8%	3.7%	3.7%
わからない	件数	345	59	25	75	27	31	128
	比率	21.5%	29.8%	34.2%	28.6%	17.5%	14.2%	18.2%
無回答	件数	49	8	3	6	5	5	22
	比率	3.0%	4.0%	4.1%	2.3%	3.2%	2.3%	3.1%

Q15. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更について薬剤師から説明を受けたことがありますか



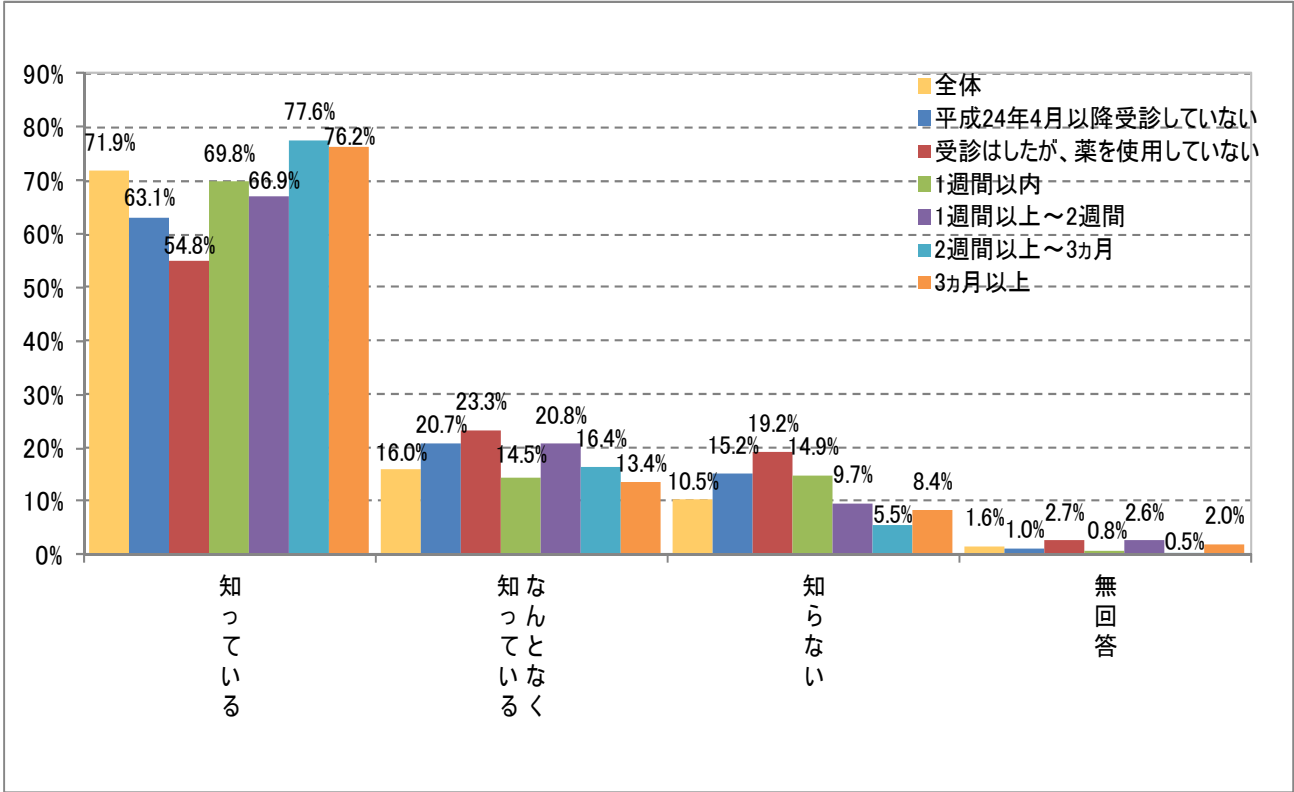
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1608	198	73	262	154	219	702
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	935	75	23	155	94	143	445
	比率	58.1%	37.9%	31.5%	59.2%	61.0%	65.3%	63.4%
ない	件数	629	117	47	102	56	71	236
	比率	39.1%	59.1%	64.4%	38.9%	36.4%	32.4%	33.6%
無回答	件数	44	6	3	5	4	5	21
	比率	2.7%	3.0%	4.1%	1.9%	2.6%	2.3%	3.0%

Q18. 薬局において、ジェネリック医薬品に変更したことはありますか



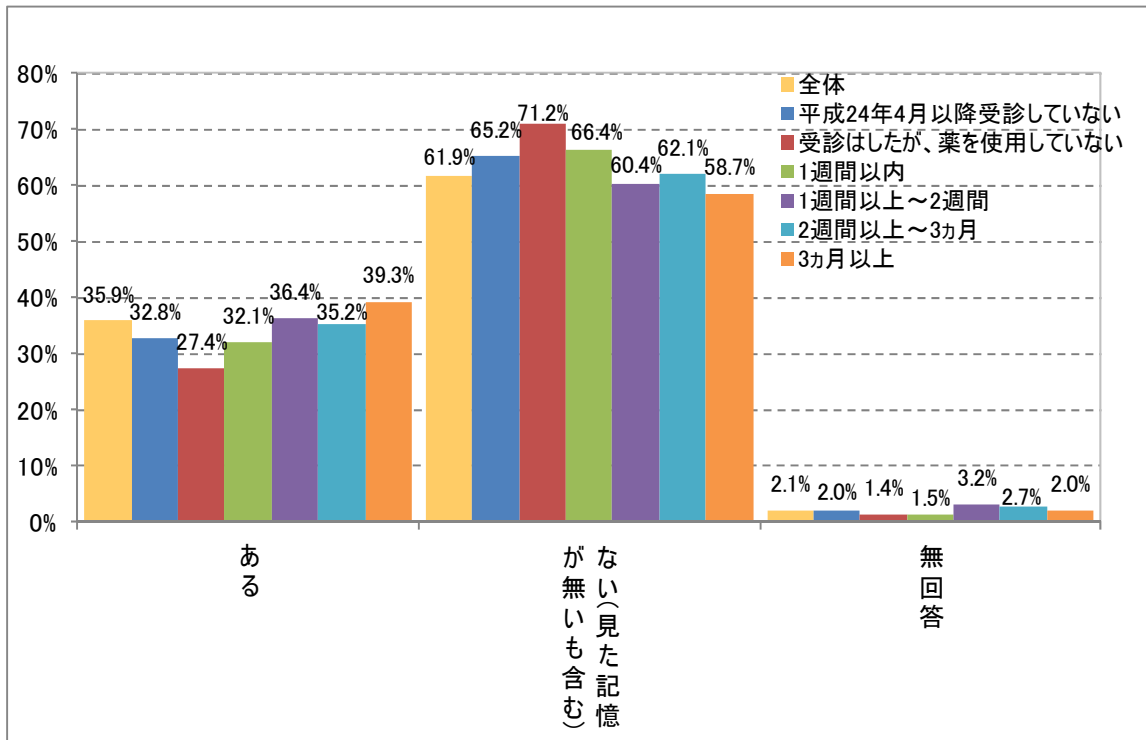
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1608	198	73	262	154	219	702
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	698	59	12	125	71	103	328
	比率	43.4%	29.8%	16.4%	47.7%	46.1%	47.0%	46.7%
ない	件数	857	132	55	133	79	113	345
	比率	53.3%	66.7%	75.3%	50.8%	51.3%	51.6%	49.1%
無回答	件数	53	7	6	4	4	3	29
	比率	3.3%	3.5%	8.2%	1.5%	2.6%	1.4%	4.1%

Q19. 処方薬をジェネリック医薬品に変更することによって、自己負担金や、医療費を減らせることを知っていますか



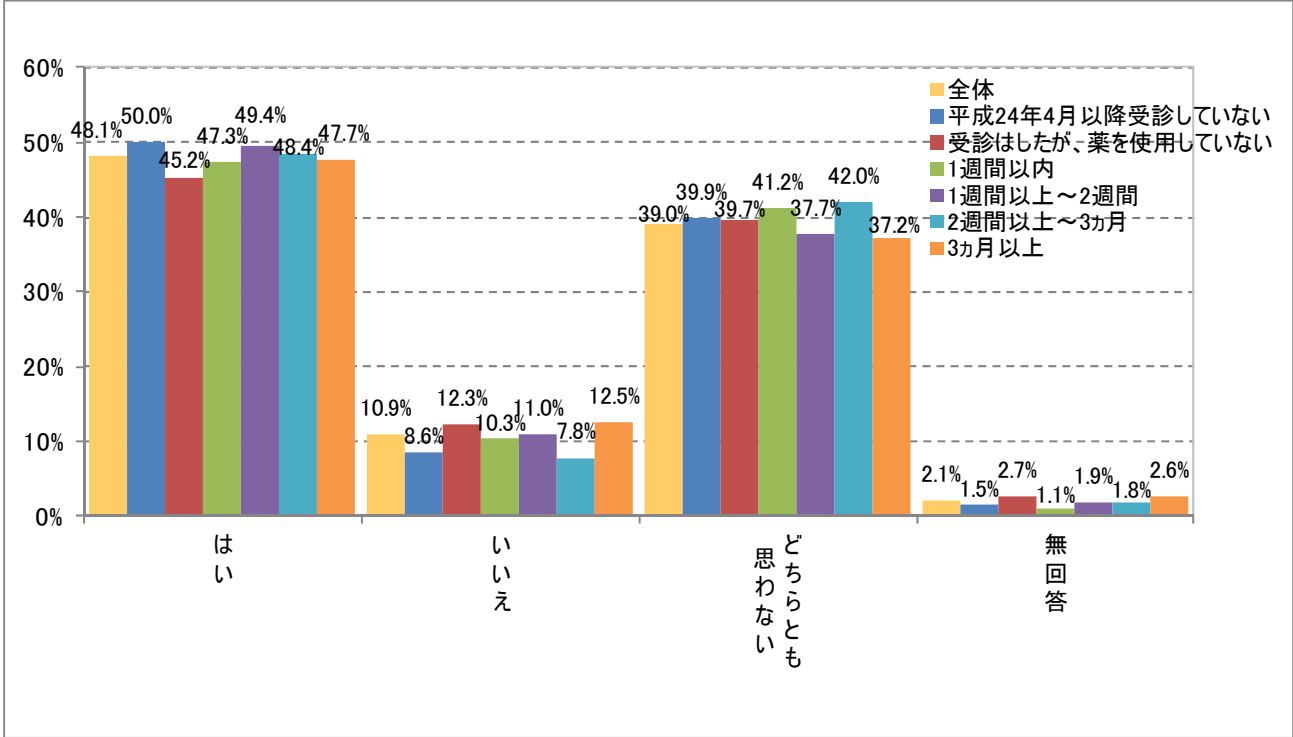
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1608	198	73	262	154	219	702
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	件数	1156	125	40	183	103	170	535
	比率	71.9%	63.1%	54.8%	69.8%	66.9%	77.6%	76.2%
なんとなく知っている	件数	258	41	17	38	32	36	94
	比率	16.0%	20.7%	23.3%	14.5%	20.8%	16.4%	13.4%
知らない	件数	169	30	14	39	15	12	59
	比率	10.5%	15.2%	19.2%	14.9%	9.7%	5.5%	8.4%
無回答	件数	25	2	2	2	4	1	14
	比率	1.6%	1.0%	2.7%	0.8%	2.6%	0.5%	2.0%

Q20. 国保組合・健康保険組合などからジェネリック医薬品の使用をすすめるお知らせを受け取ったことはありますか



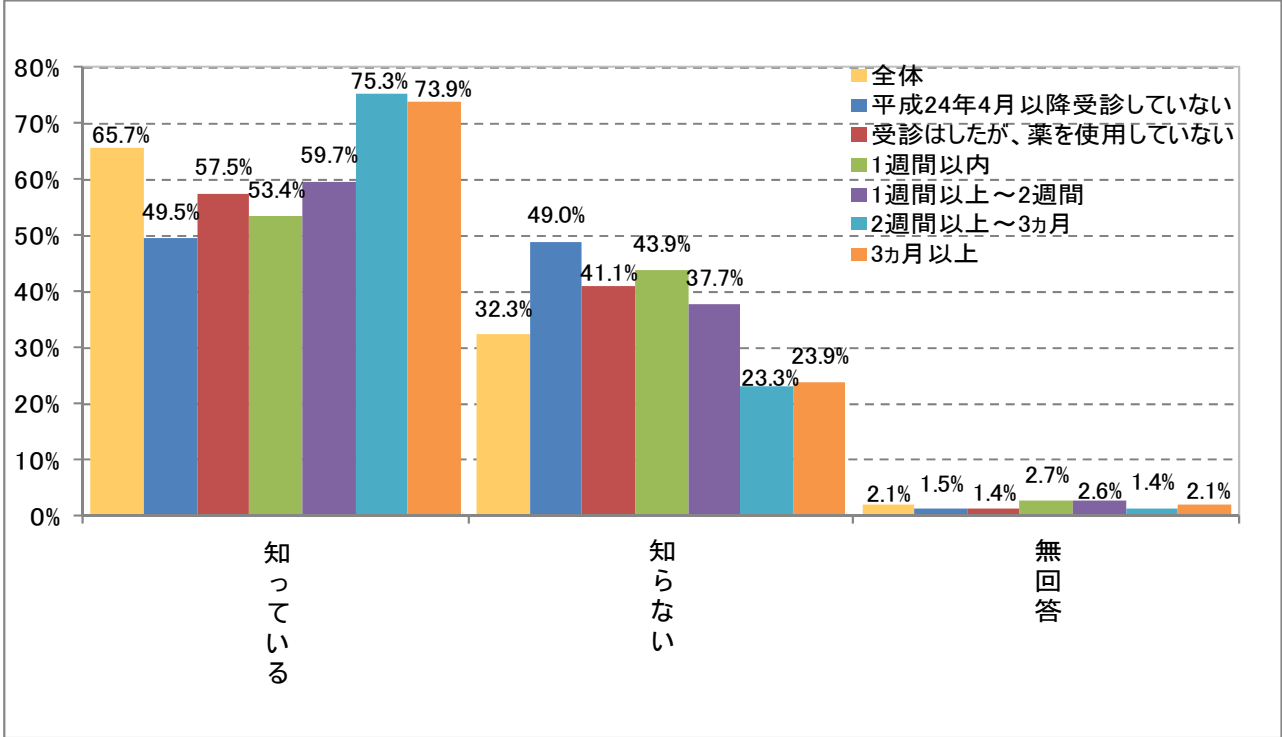
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1608	198	73	262	154	219	702
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	578	65	20	84	56	77	276
	比率	35.9%	32.8%	27.4%	32.1%	36.4%	35.2%	39.3%
ない(見た記憶が無いも含む)	件数	996	129	52	174	93	136	412
	比率	61.9%	65.2%	71.2%	66.4%	60.4%	62.1%	58.7%
無回答	件数	34	4	1	4	5	6	14
	比率	2.1%	2.0%	1.4%	1.5%	3.2%	2.7%	2.0%

Q21. あなたは、ジェネリック医薬品を使いたいと思いますか



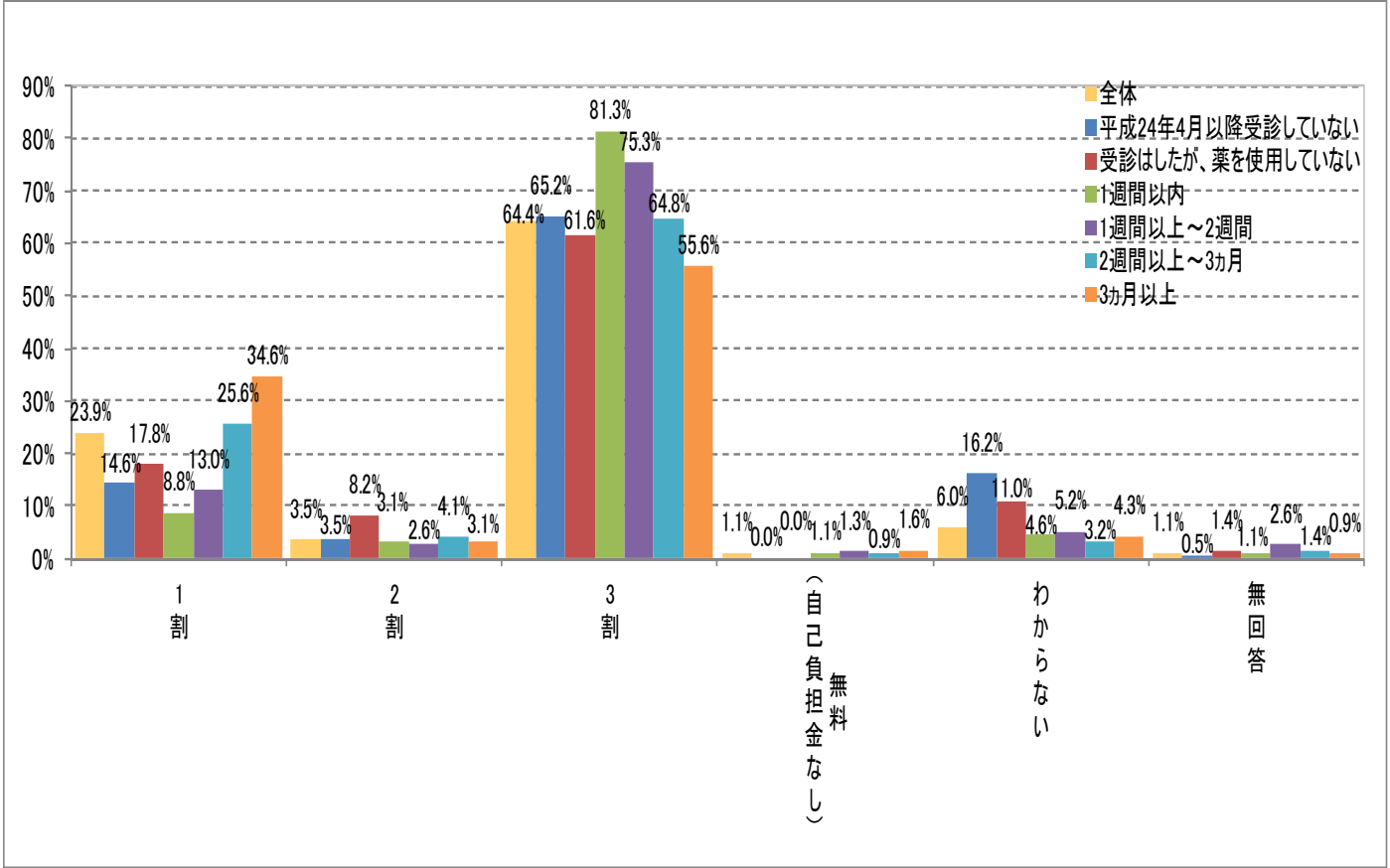
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1608	198	73	262	154	219	702
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	773	99	33	124	76	106	335
	比率	48.1%	50.0%	45.2%	47.3%	49.4%	48.4%	47.7%
いいえ	件数	175	17	9	27	17	17	88
	比率	10.9%	8.6%	12.3%	10.3%	11.0%	7.8%	12.5%
どちらとも 思わない	件数	627	79	29	108	58	92	261
	比率	39.0%	39.9%	39.7%	41.2%	37.7%	42.0%	37.2%
無回答	件数	33	3	2	3	3	4	18
	比率	2.1%	1.5%	2.7%	1.1%	1.9%	1.8%	2.6%

Q22. あなたは、自分の医療費がどのくらいかかっているか知っていますか？



		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1608	198	73	262	154	219	702
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	件数	1056	98	42	140	92	165	519
	比率	65.7%	49.5%	57.5%	53.4%	59.7%	75.3%	73.9%
知らない	件数	519	97	30	115	58	51	168
	比率	32.3%	49.0%	41.1%	43.9%	37.7%	23.3%	23.9%
無回答	件数	33	3	1	7	4	3	15
	比率	2.1%	1.5%	1.4%	2.7%	2.6%	1.4%	2.1%

Q23. あなたは、自分の保険の自己負担金の割合がどのくらいか知っていますか？



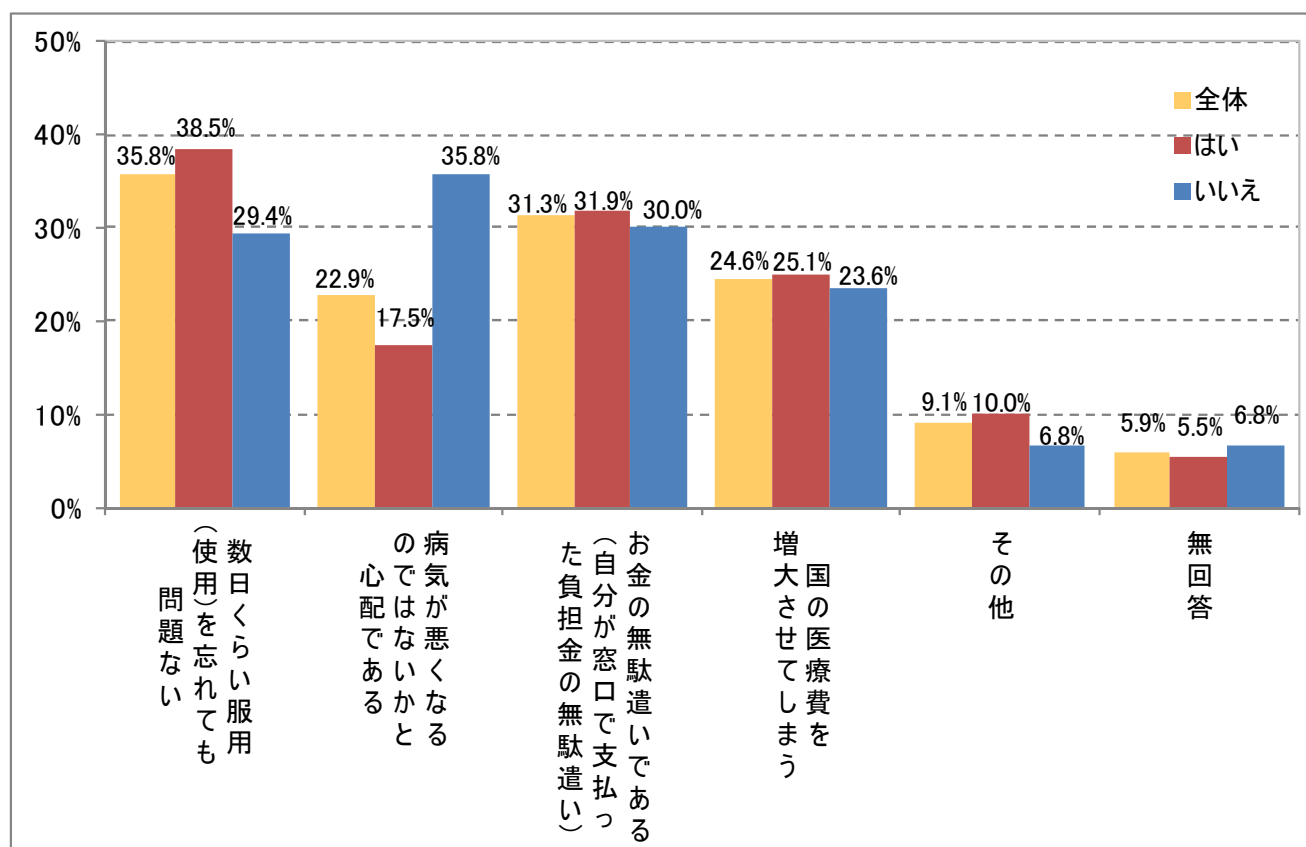
		全体	平成24年4月以降受診していない	受診はしたが、薬を使用していない	1週間以内	1週間以上～2週間	2週間以上～3ヵ月	3ヵ月以上
全体	件数	1608	198	73	262	154	219	702
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1割	件数	384	29	13	23	20	56	243
	比率	23.9%	14.6%	17.8%	8.8%	13.0%	25.6%	34.6%
2割	件数	56	7	6	8	4	9	22
	比率	3.5%	3.5%	8.2%	3.1%	2.6%	4.1%	3.1%
3割	件数	1035	129	45	213	116	142	390
	比率	64.4%	65.2%	61.6%	81.3%	75.3%	64.8%	55.6%
無料(自己負担金なし)	件数	18	0	0	3	2	2	11
	比率	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	1.3%	0.9%	1.6%
わからない	件数	97	32	8	12	8	7	30
	比率	6.0%	16.2%	11.0%	4.6%	5.2%	3.2%	4.3%
無回答	件数	18	1	1	3	4	3	6
	比率	1.1%	0.5%	1.4%	1.1%	2.6%	1.4%	0.9%

医療用医薬品の残薬・ジェネリック医薬品についての調査結果報告【クロス集計】

【調査結果】〈残薬別クロス集計〉

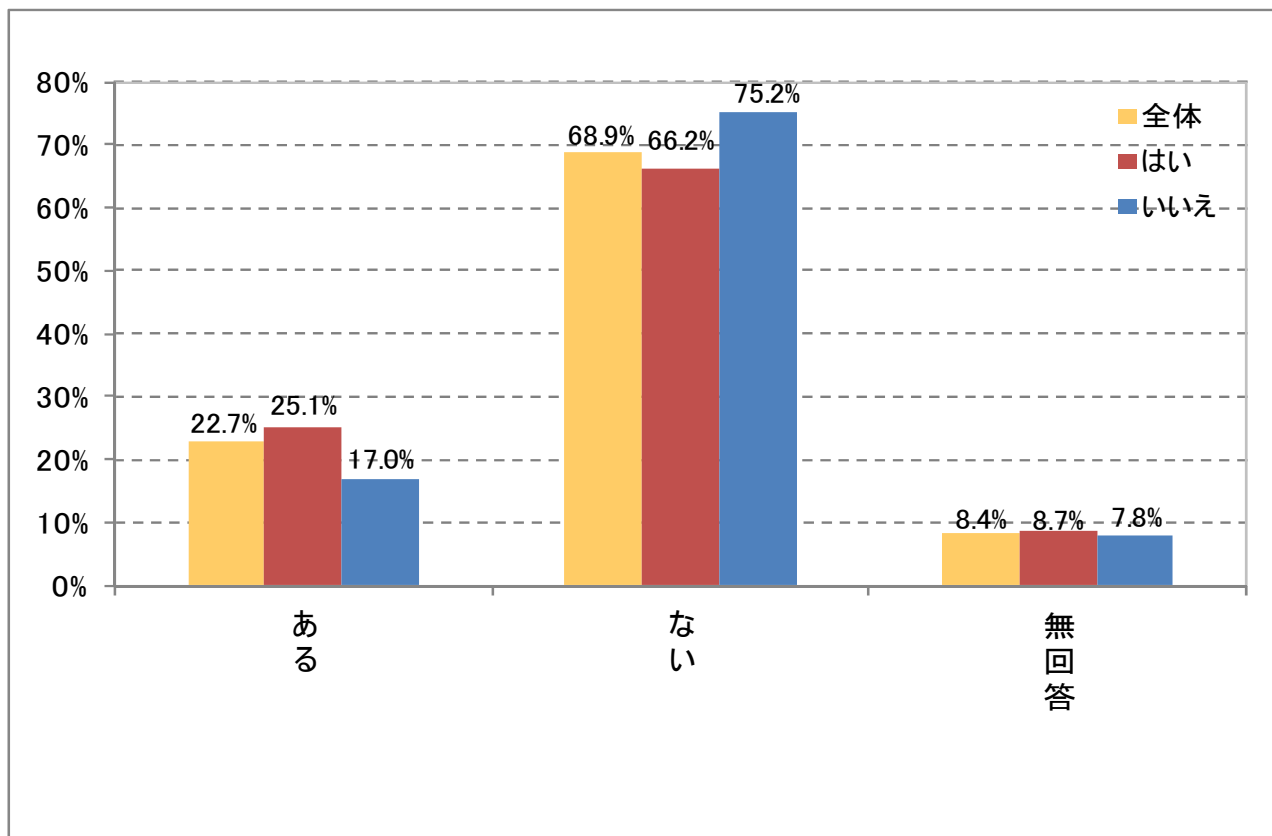
(Q1. 病院・医院から処方せんによって調剤された薬(医療用医薬品)が残ったことがありますか(病院内で処方された薬を含む))

Q5. 残薬についてどのように思われますか



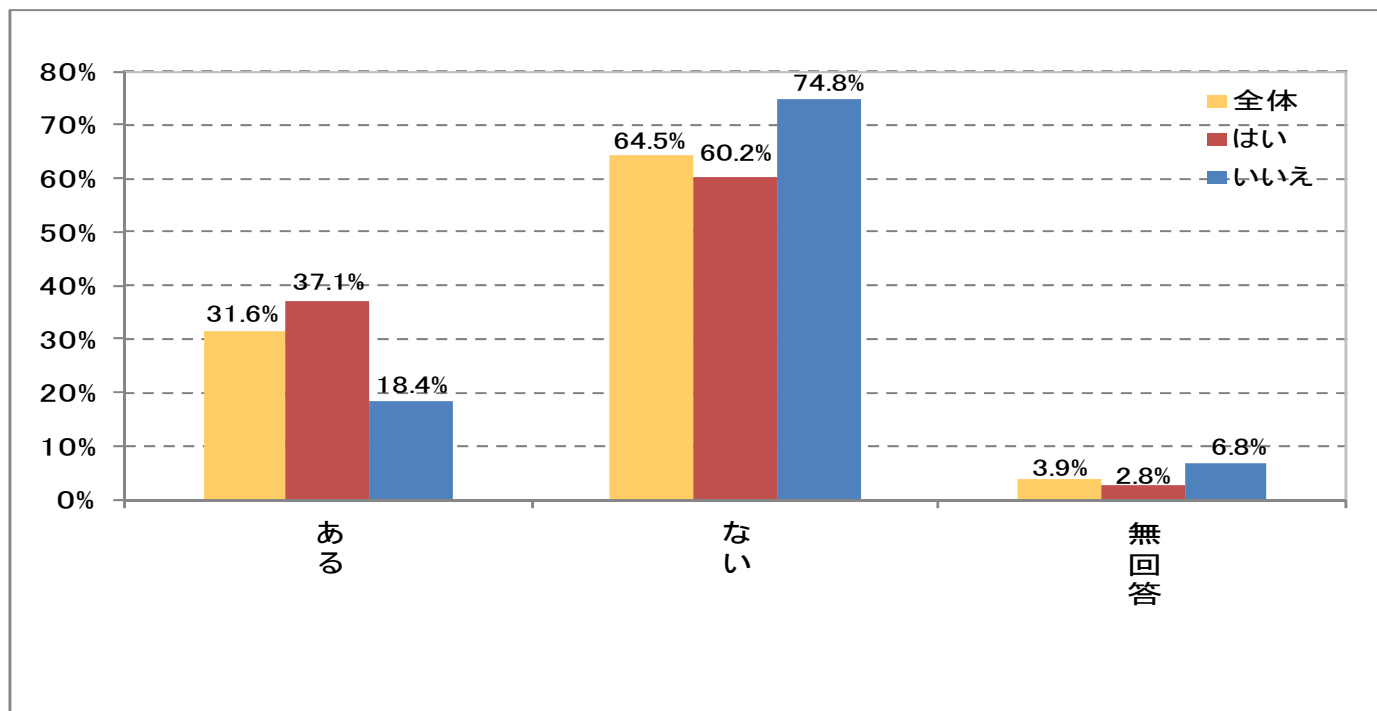
全体	件数	全体	はい	いいえ
	比率	1697	1197	500
		100.0%	100.0%	100.0%
数日くらい服用(使用)を忘れても問題ない	件数	608	461	147
	比率	35.8%	38.5%	29.4%
病気が悪くなるのではないかと心配である	件数	388	209	179
	比率	22.9%	17.5%	35.8%
お金の無駄遣いである(自分が窓口で支払った負担金の無駄遣い)	件数	532	382	150
	比率	31.3%	31.9%	30.0%
国の医療費を増大させてしまう	件数	418	300	118
	比率	24.6%	25.1%	23.6%
その他	件数	154	120	34
	比率	9.1%	10.0%	6.8%
無回答	件数	100	66	34
	比率	5.9%	5.5%	6.8%

Q6. 病院・医院で医師から残薬について聞かれたことがありますか？



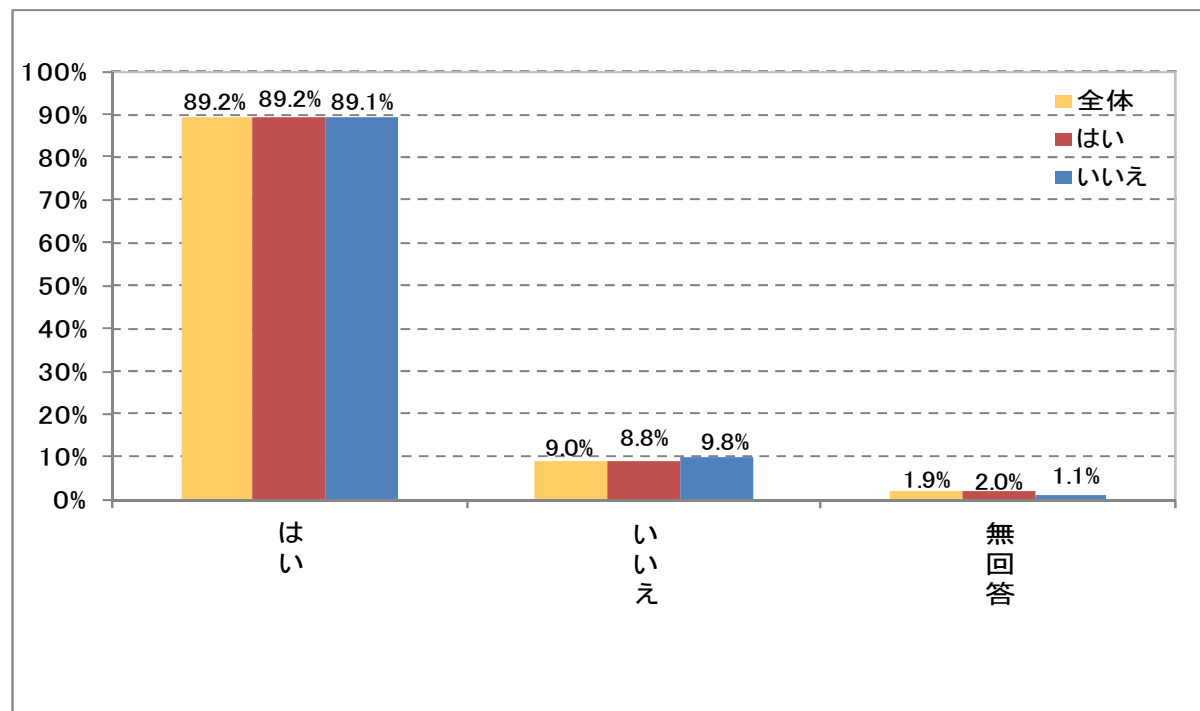
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	385	300	85
	比率	22.7%	25.1%	17.0%
ない	件数	1169	793	376
	比率	68.9%	66.2%	75.2%
無回答	件数	143	104	39
	比率	8.4%	8.7%	7.8%

Q7. 飲み忘れなどで残った場合、受診時に医師に話をして残薬の調整をお願いしたことがありますか



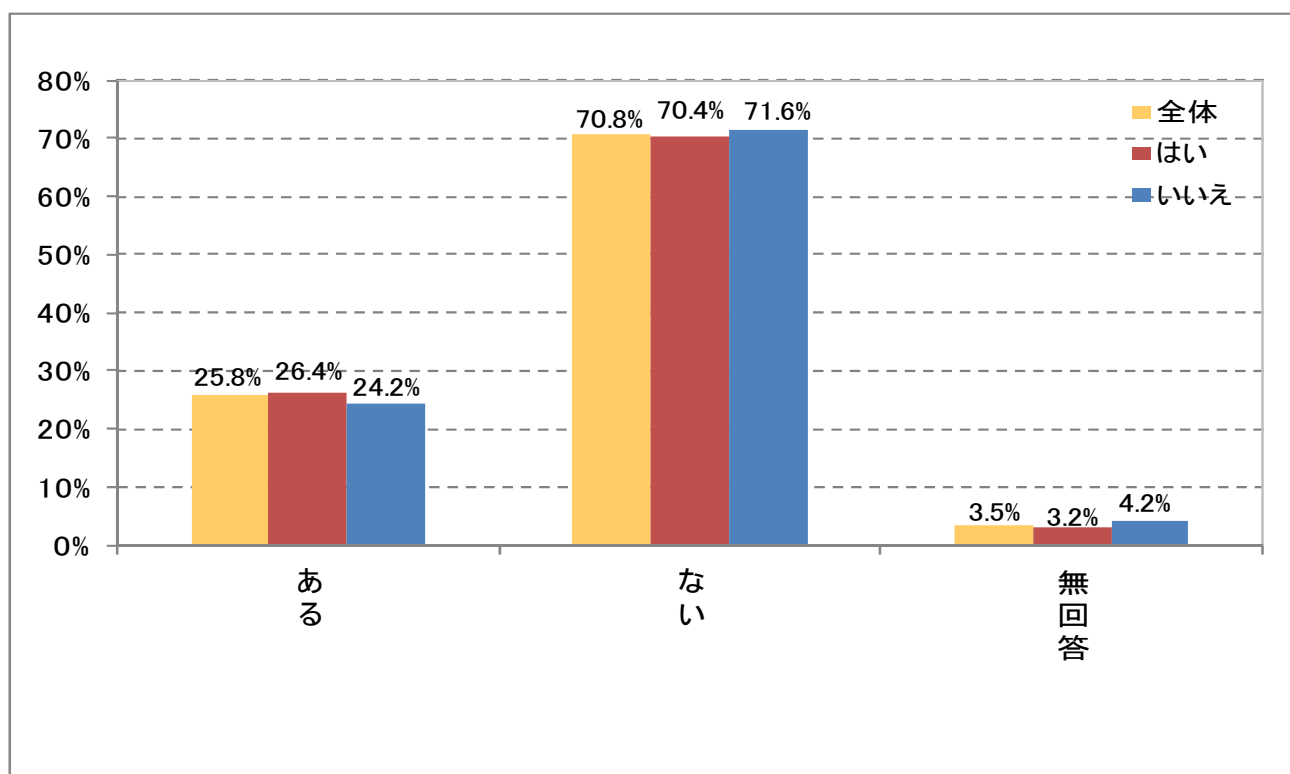
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	536	444	92
	比率	31.6%	37.1%	18.4%
ない	件数	1094	720	374
	比率	64.5%	60.2%	74.8%
無回答	件数	67	33	34
	比率	3.9%	2.8%	6.8%

Q8. 残薬調整のために、その分の医薬品を減らして処方してもらえましたか
(Q7. 「1. ある」とお答えの方)



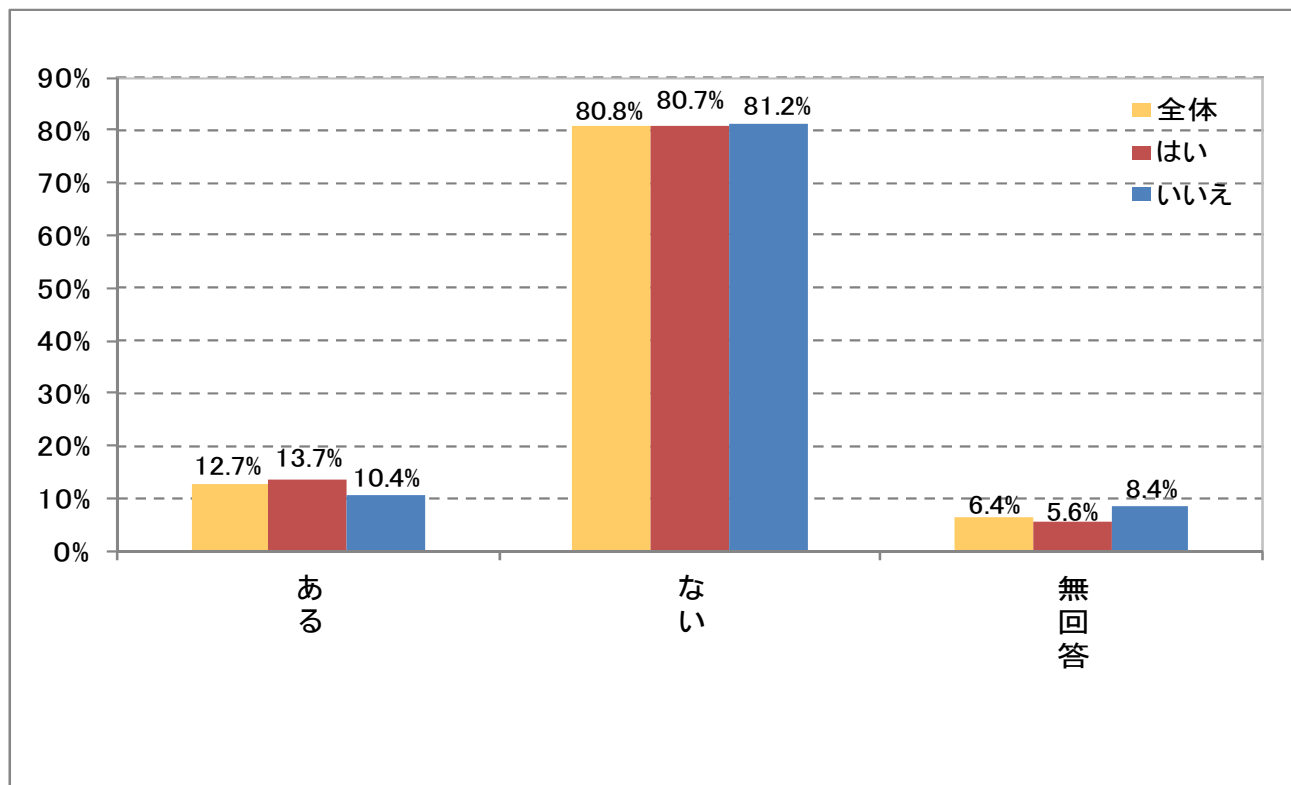
		全体	はい	いいえ
全体	件数	536	444	92
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	478	396	82
	比率	89.2%	89.2%	89.1%
いいえ	件数	48	39	9
	比率	9.0%	8.8%	9.8%
無回答	件数	10	9	1
	比率	1.9%	2.0%	1.1%

Q9. 薬局において残薬について聞かれたことがありますか？



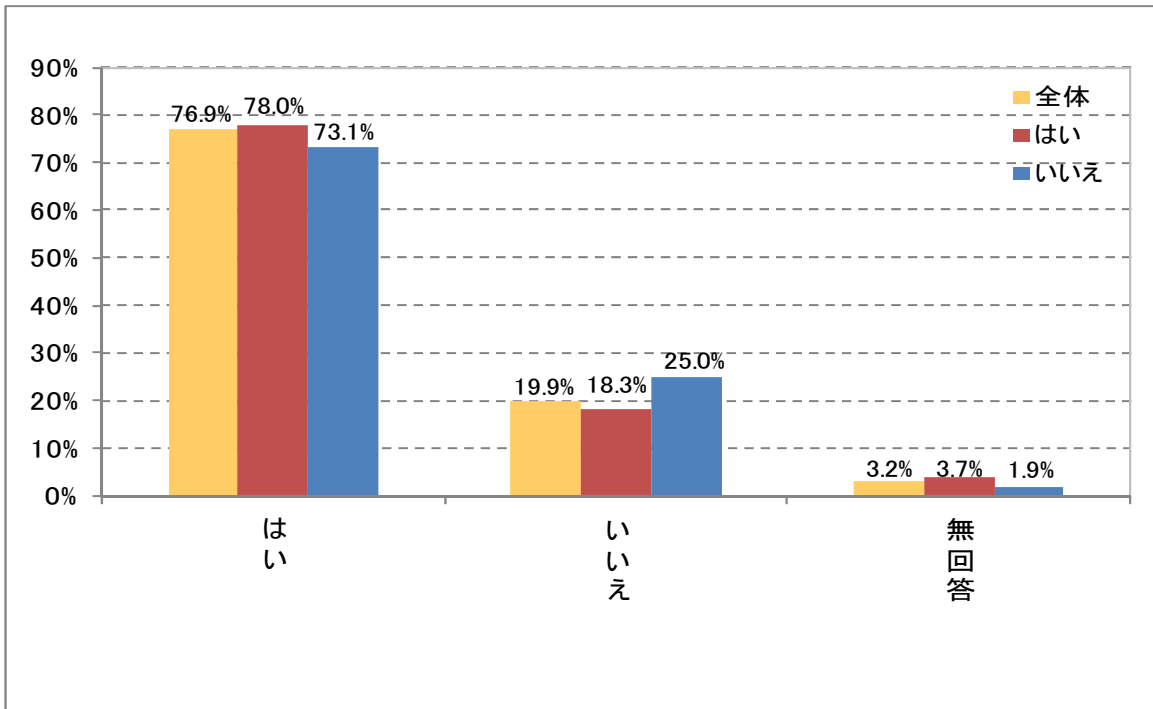
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	437	316	121
	比率	25.8%	26.4%	24.2%
ない	件数	1201	843	358
	比率	70.8%	70.4%	71.6%
無回答	件数	59	38	21
	比率	3.5%	3.2%	4.2%

Q10. 飲み忘れなどで残った場合、薬局において薬剤師に残薬の調整をお願いしたことがありますか



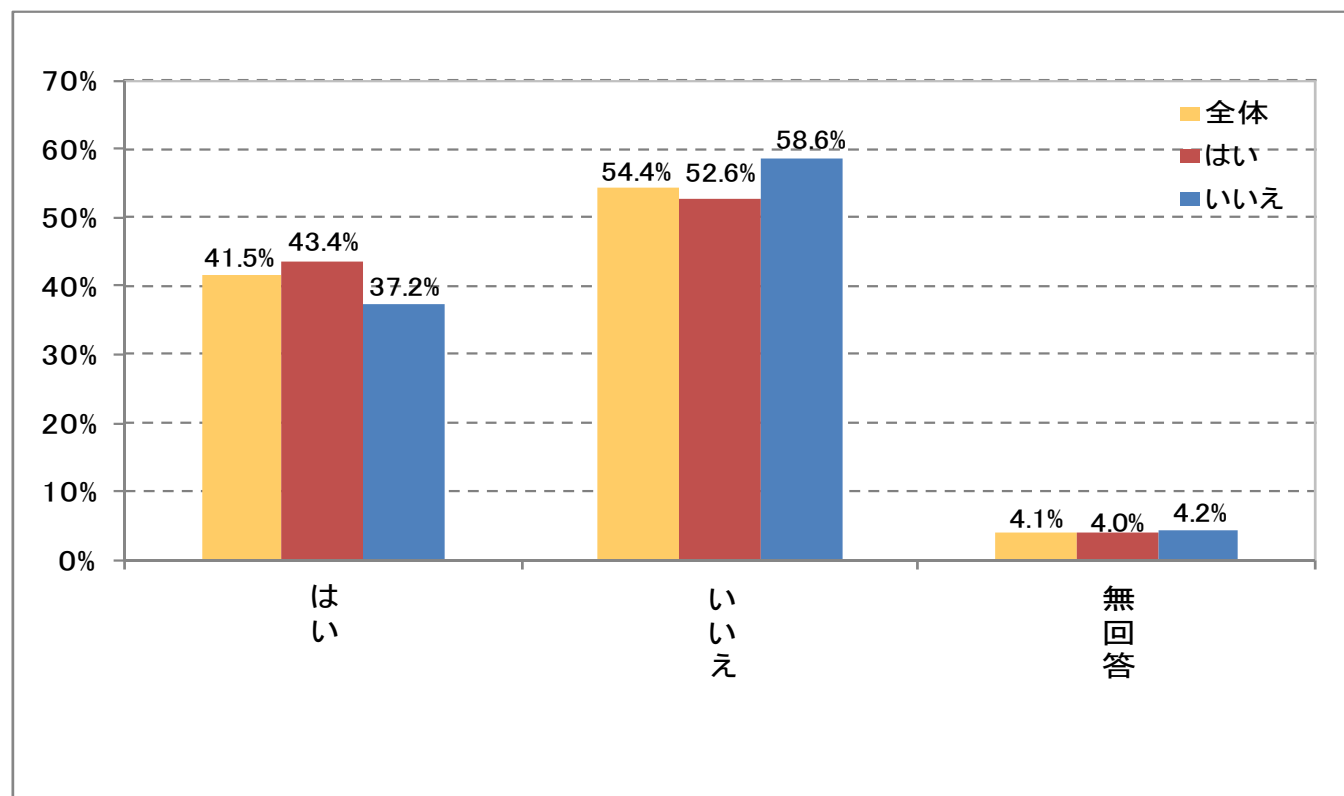
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	216	164	52
	比率	12.7%	13.7%	10.4%
ない	件数	1372	966	406
	比率	80.8%	80.7%	81.2%
無回答	件数	109	67	42
	比率	6.4%	5.6%	8.4%

Q11. その結果、薬局において、処方日数や回数を変更してもらえましたか？
(Q10. 「1. ある」とお答えの方)



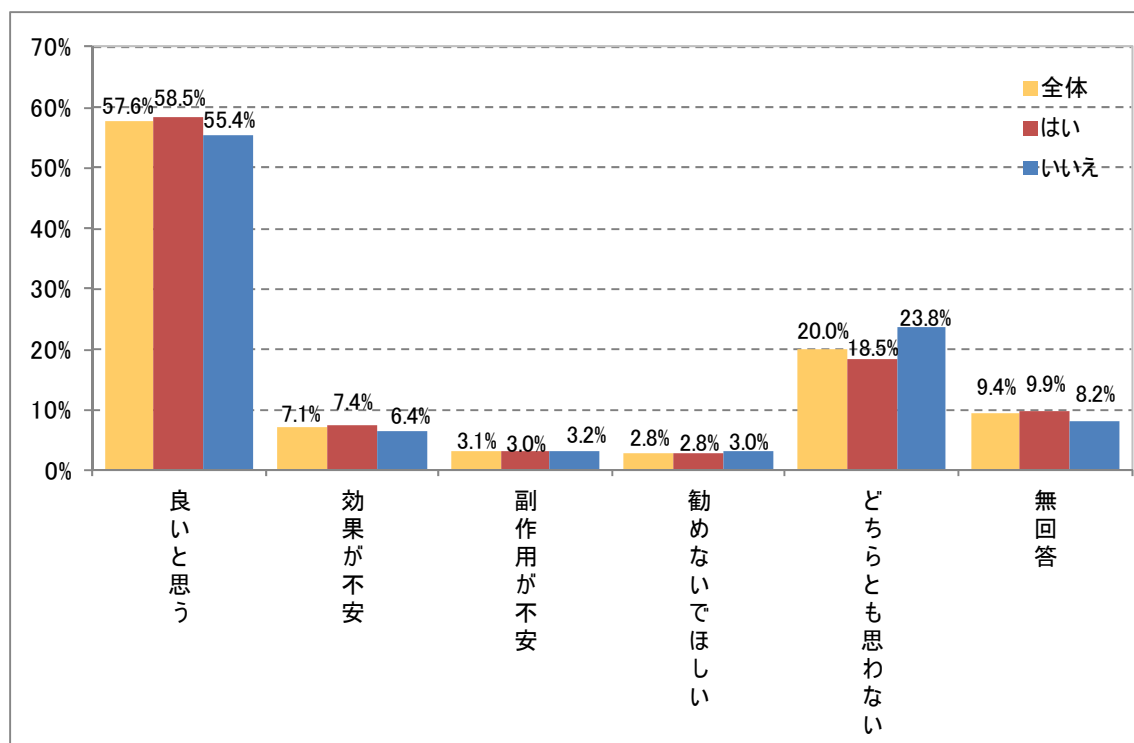
		全体	はい	いいえ
全体	件数	216	164	52
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	166	128	38
	比率	76.9%	78.0%	73.1%
いいえ	件数	43	30	13
	比率	19.9%	18.3%	25.0%
無回答	件数	7	6	1
	比率	3.2%	3.7%	1.9%

Q12. 病院・医院において、ジェネリック医薬品について医師から説明を受けたことがありますか？



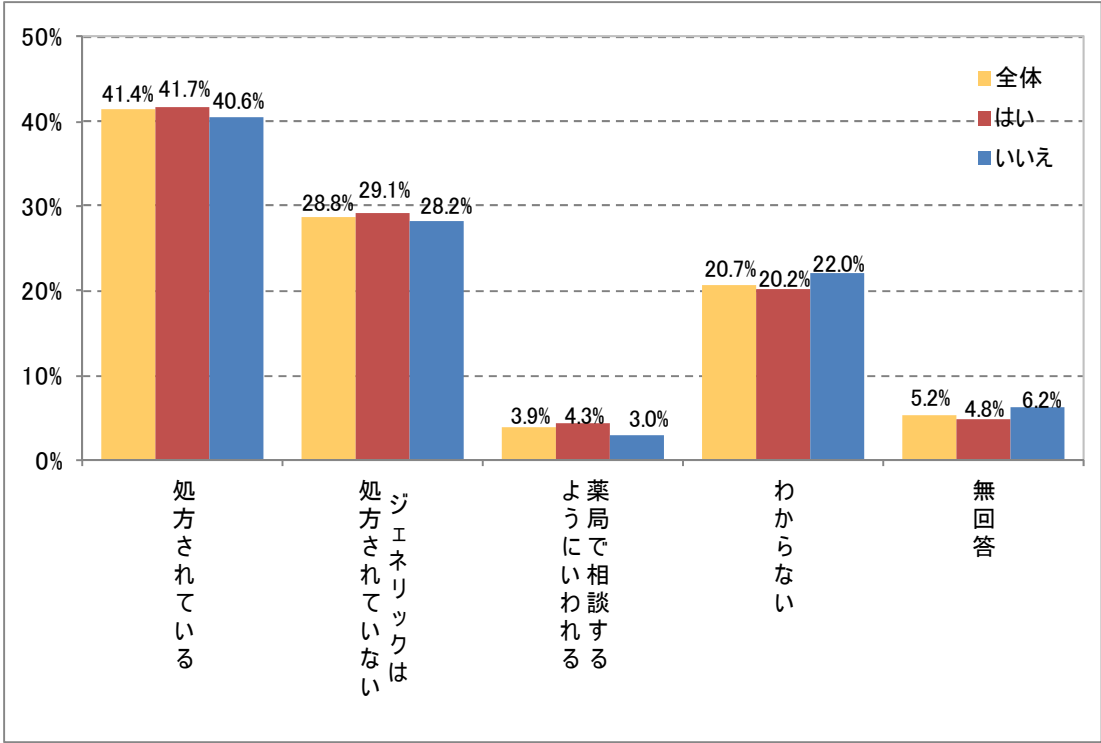
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	705	519	186
	比率	41.5%	43.4%	37.2%
いいえ	件数	923	630	293
	比率	54.4%	52.6%	58.6%
無回答	件数	69	48	21
	比率	4.1%	4.0%	4.2%

Q13. 病院・医院の医師からジェネリック医薬品の処方を勧められることについてどのように思われますか



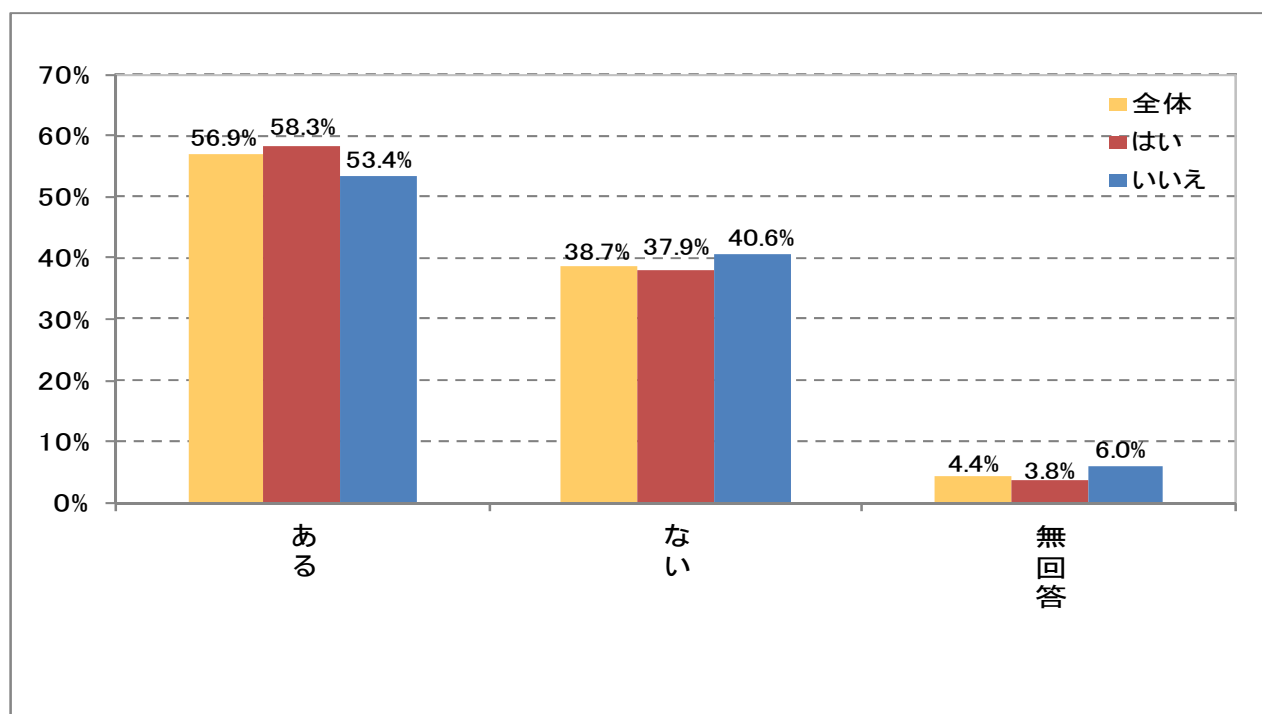
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
良いと思う	件数	977	700	277
	比率	57.6%	58.5%	55.4%
効果が不安	件数	121	89	32
	比率	7.1%	7.4%	6.4%
副作用が不安	件数	52	36	16
	比率	3.1%	3.0%	3.2%
勧めないでほしい	件数	48	33	15
	比率	2.8%	2.8%	3.0%
どちらとも思わない	件数	340	221	119
	比率	20.0%	18.5%	23.8%
無回答	件数	159	118	41
	比率	9.4%	9.9%	8.2%

Q14. 病院・医院からジェネリック医薬品を処方されていますか



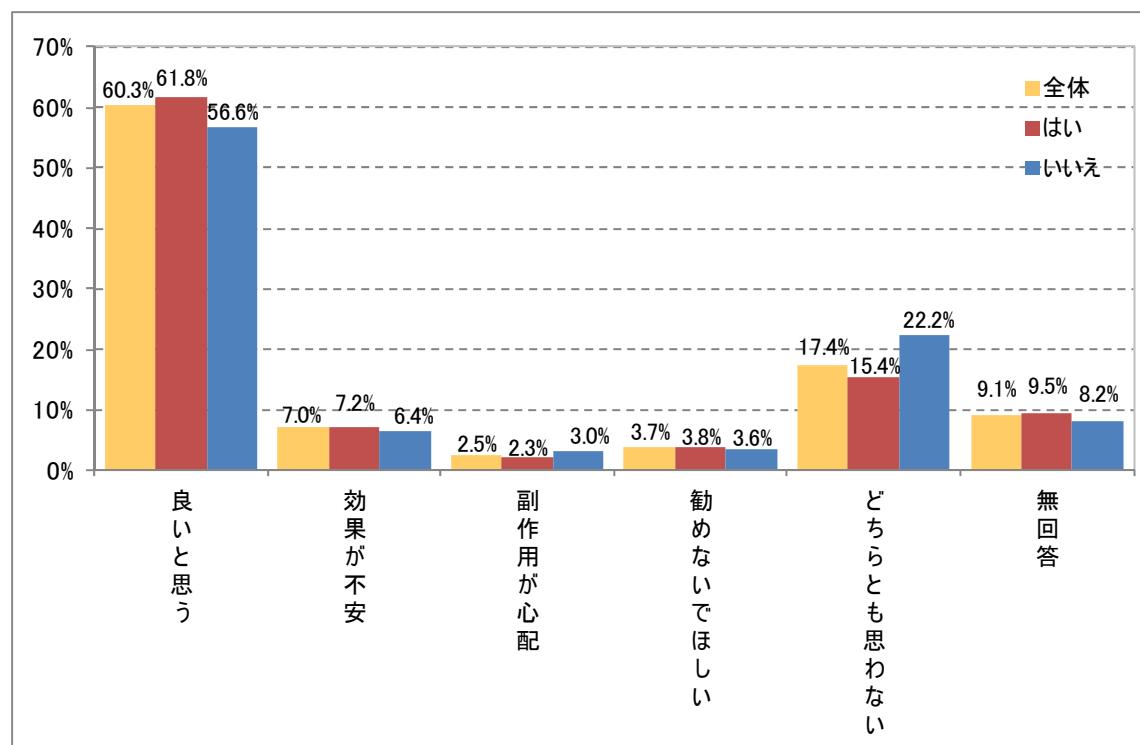
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
処方されている	件数	702	499	203
	比率	41.4%	41.7%	40.6%
ジェネリックは処方されていない	件数	489	348	141
	比率	28.8%	29.1%	28.2%
薬局で相談するようにいわれる	件数	66	51	15
	比率	3.9%	4.3%	3.0%
わからない	件数	352	242	110
	比率	20.7%	20.2%	22.0%
無回答	件数	88	57	31
	比率	5.2%	4.8%	6.2%

Q15. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更について薬剤師から説明を受けたことがありますか



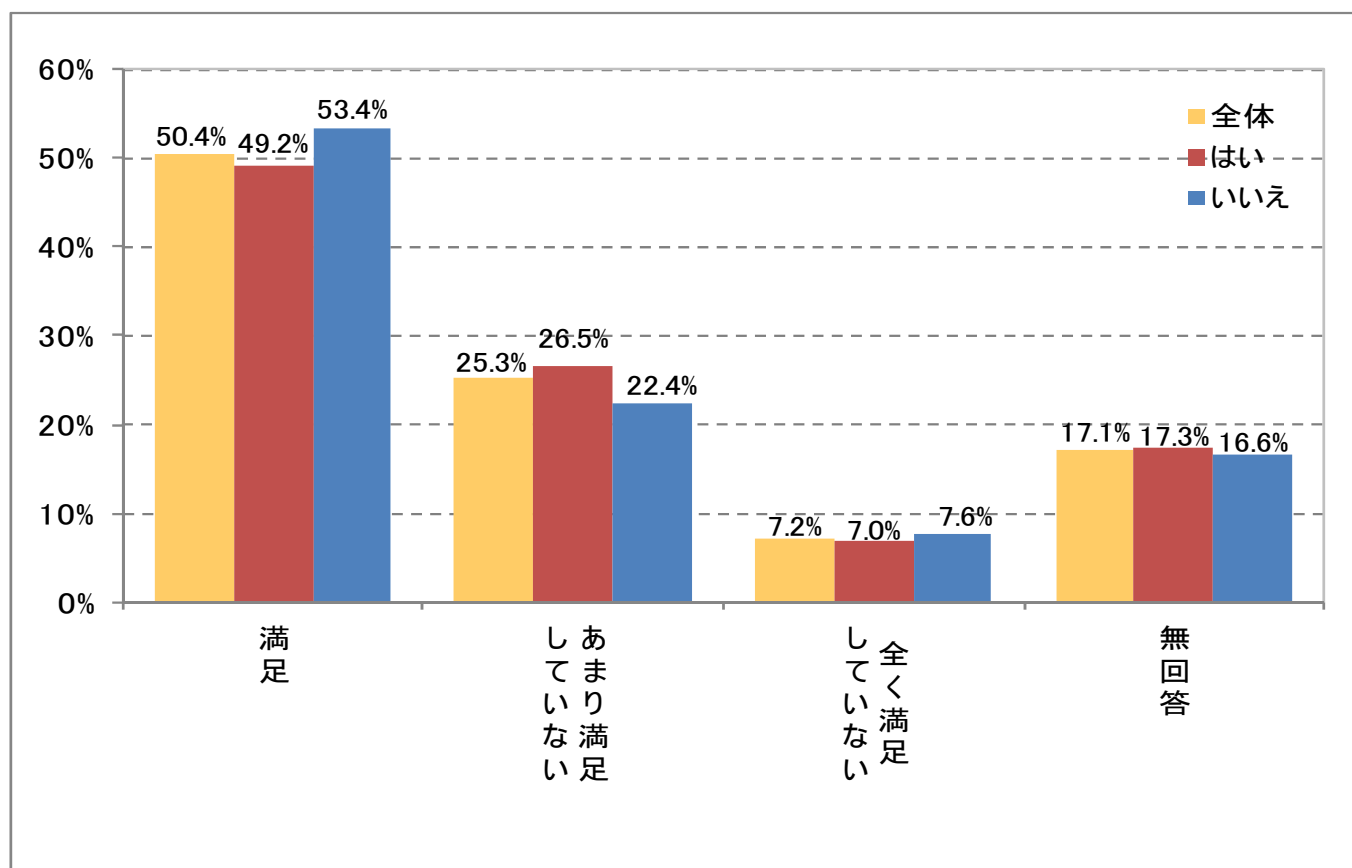
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	965	698	267
	比率	56.9%	58.3%	53.4%
ない	件数	657	454	203
	比率	38.7%	37.9%	40.6%
無回答	件数	75	45	30
	比率	4.4%	3.8%	6.0%

Q16. 薬局でジェネリック医薬品への変更について、薬剤師から勧められることについてどのように思われますか



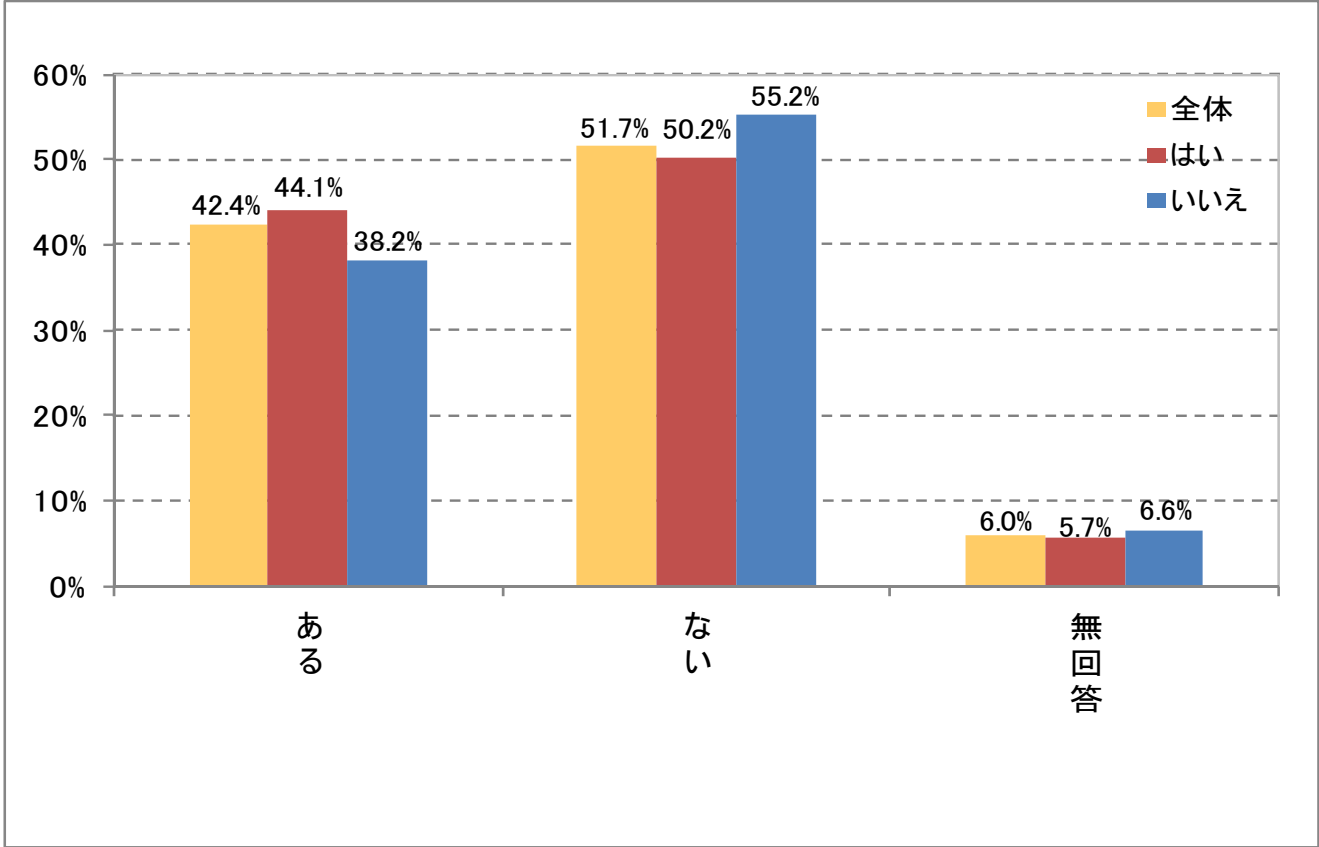
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
良いと思う	件数	1023	740	283
	比率	60.3%	61.8%	56.6%
効果が不安	件数	118	86	32
	比率	7.0%	7.2%	6.4%
副作用が不安	件数	43	28	15
	比率	2.5%	2.3%	3.0%
勧めないでほしい	件数	63	45	18
	比率	3.7%	3.8%	3.6%
どちらとも思わない	件数	295	184	111
	比率	17.4%	15.4%	22.2%
無回答	件数	155	114	41
	比率	9.1%	9.5%	8.2%

Q17. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更説明に満足していますか



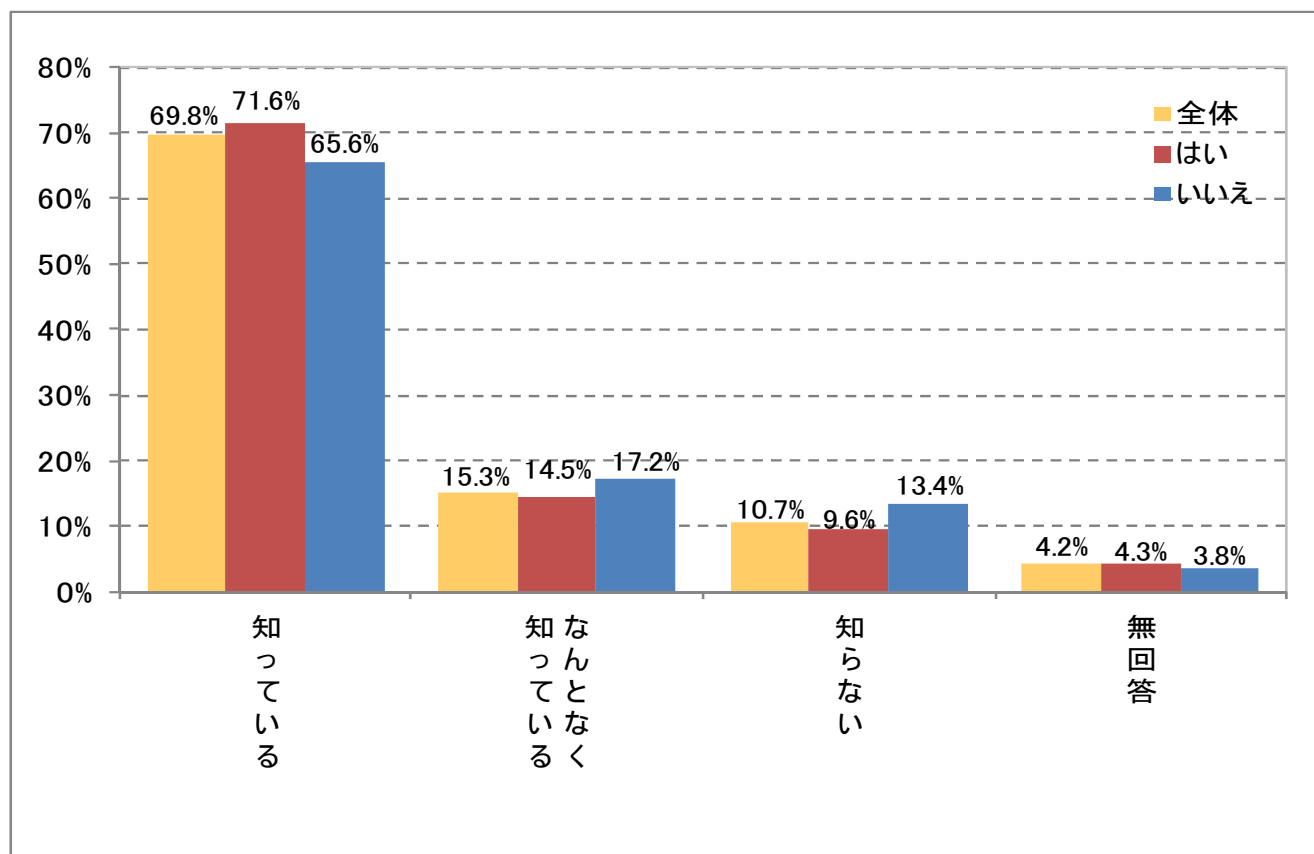
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
満足	件数	856	589	267
	比率	50.4%	49.2%	53.4%
あまり満足していない	件数	429	317	112
	比率	25.3%	26.5%	22.4%
全く満足していない	件数	122	84	38
	比率	7.2%	7.0%	7.6%
無回答	件数	290	207	83
	比率	17.1%	17.3%	16.6%

Q18. 薬局において、ジェネリック医薬品に変更したことはありますか



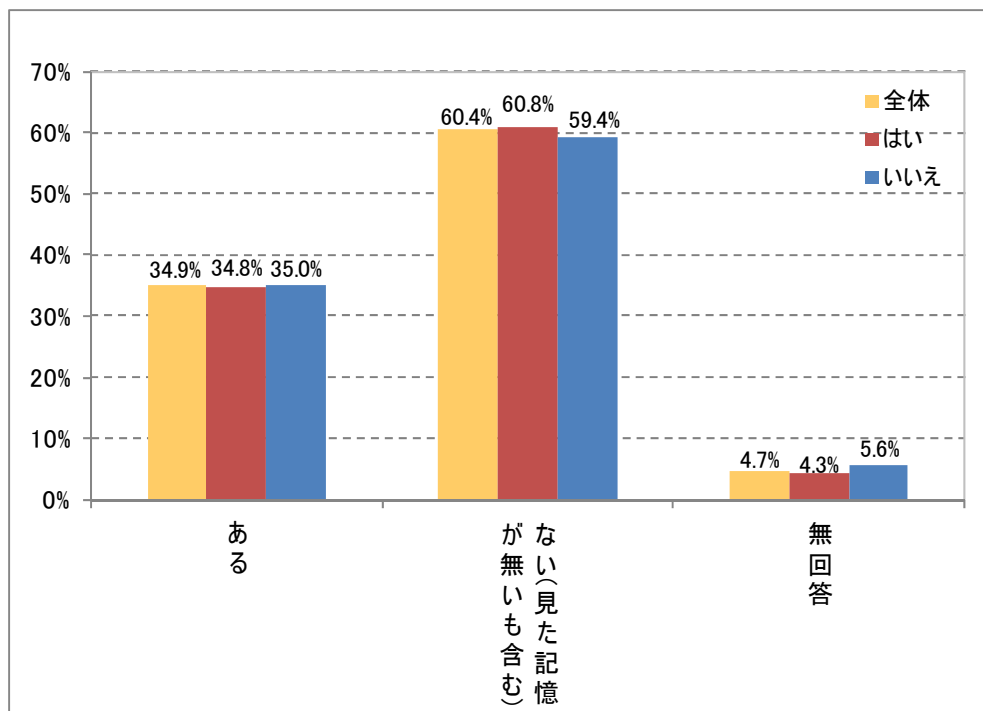
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	719	528	191
	比率	42.4%	44.1%	38.2%
ない	件数	877	601	276
	比率	51.7%	50.2%	55.2%
無回答	件数	101	68	33
	比率	6.0%	5.7%	6.6%

Q19. 処方薬をジェネリック医薬品に変更することによって、自己負担金や、医療費を減らせることを知っていますか



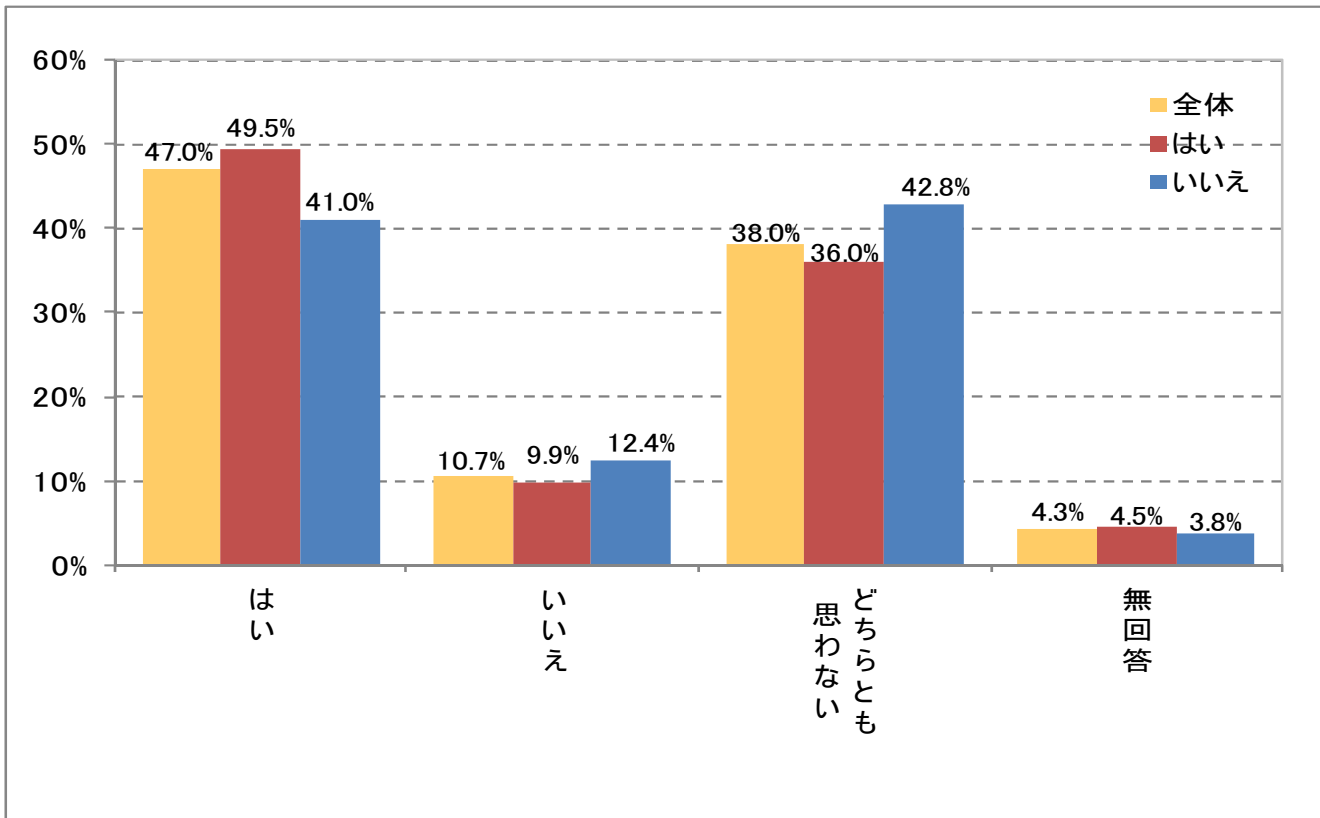
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	件数	1185	857	328
	比率	69.8%	71.6%	65.6%
なんとなく知っている	件数	259	173	86
	比率	15.3%	14.5%	17.2%
知らない	件数	182	115	67
	比率	10.7%	9.6%	13.4%
無回答	件数	71	52	19
	比率	4.2%	4.3%	3.8%

Q20. 国保組合・健康保険組合などからジェネリック医薬品の使用をすすめるお知らせを受け取ったことはありますか



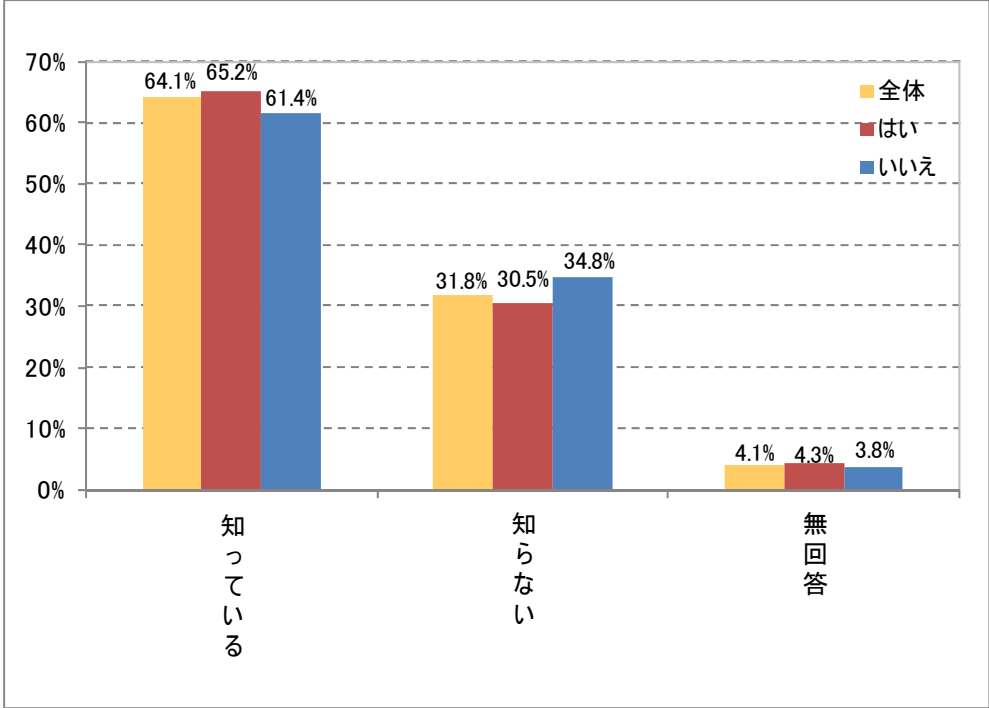
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	592	417	175
	比率	34.9%	34.8%	35.0%
ない(見た記憶が無いも含む)	件数	1025	728	297
	比率	60.4%	60.8%	59.4%
無回答	件数	80	52	28
	比率	4.7%	4.3%	5.6%

Q21. あなたは、ジェネリック医薬品を使いたいと思いますか



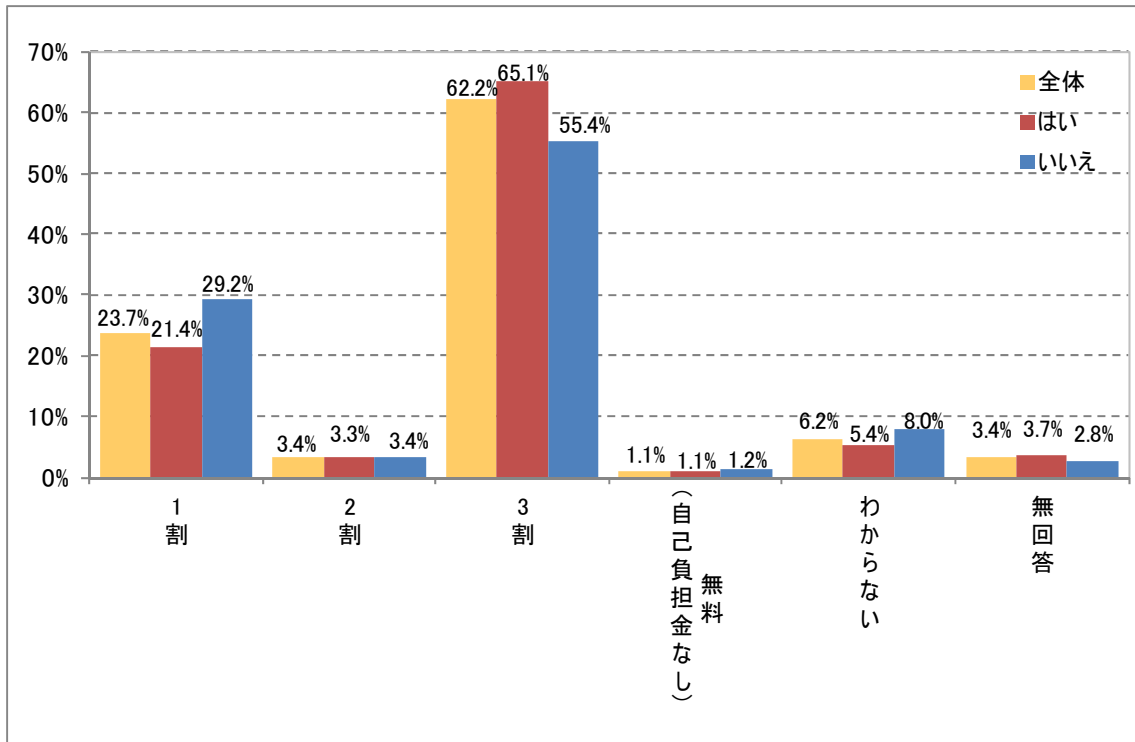
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	798	593	205
	比率	47.0%	49.5%	41.0%
いいえ	件数	181	119	62
	比率	10.7%	9.9%	12.4%
どちらとも思わない	件数	645	431	214
	比率	38.0%	36.0%	42.8%
無回答	件数	73	54	19
	比率	4.3%	4.5%	3.8%

Q22. あなたは、自分の医療費がどのくらいかかっているか知っていますか？



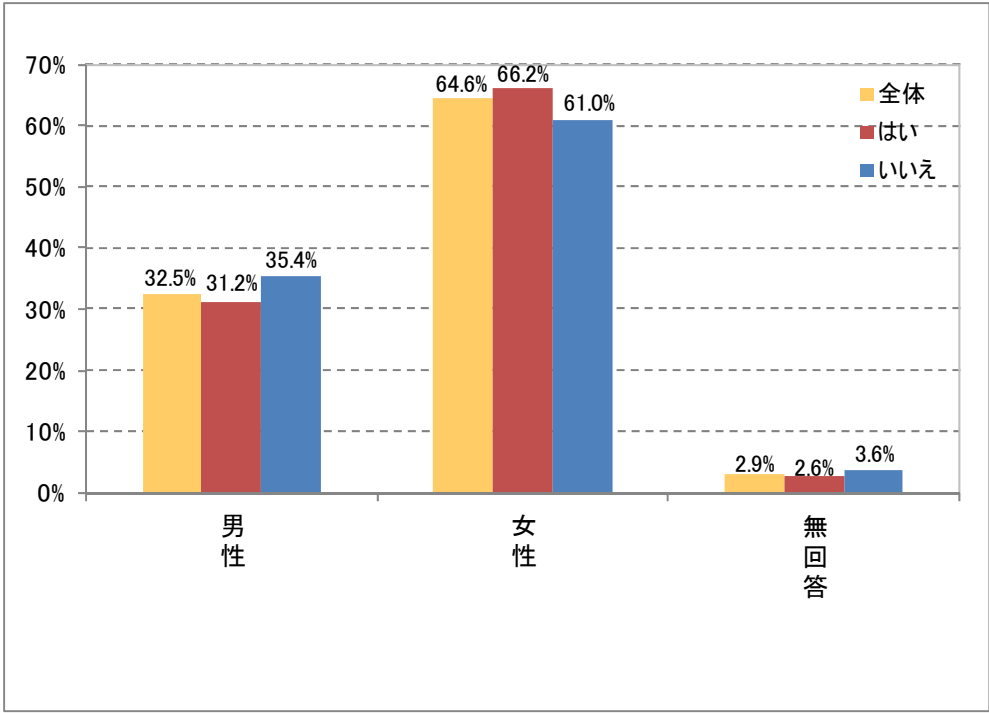
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	件数	1088	781	307
	比率	64.1%	65.2%	61.4%
知らない	件数	539	365	174
	比率	31.8%	30.5%	34.8%
無回答	件数	70	51	19
	比率	4.1%	4.3%	3.8%

Q23. あなたは、自分の保険の自己負担金の割合がどのくらいか知っていますか？



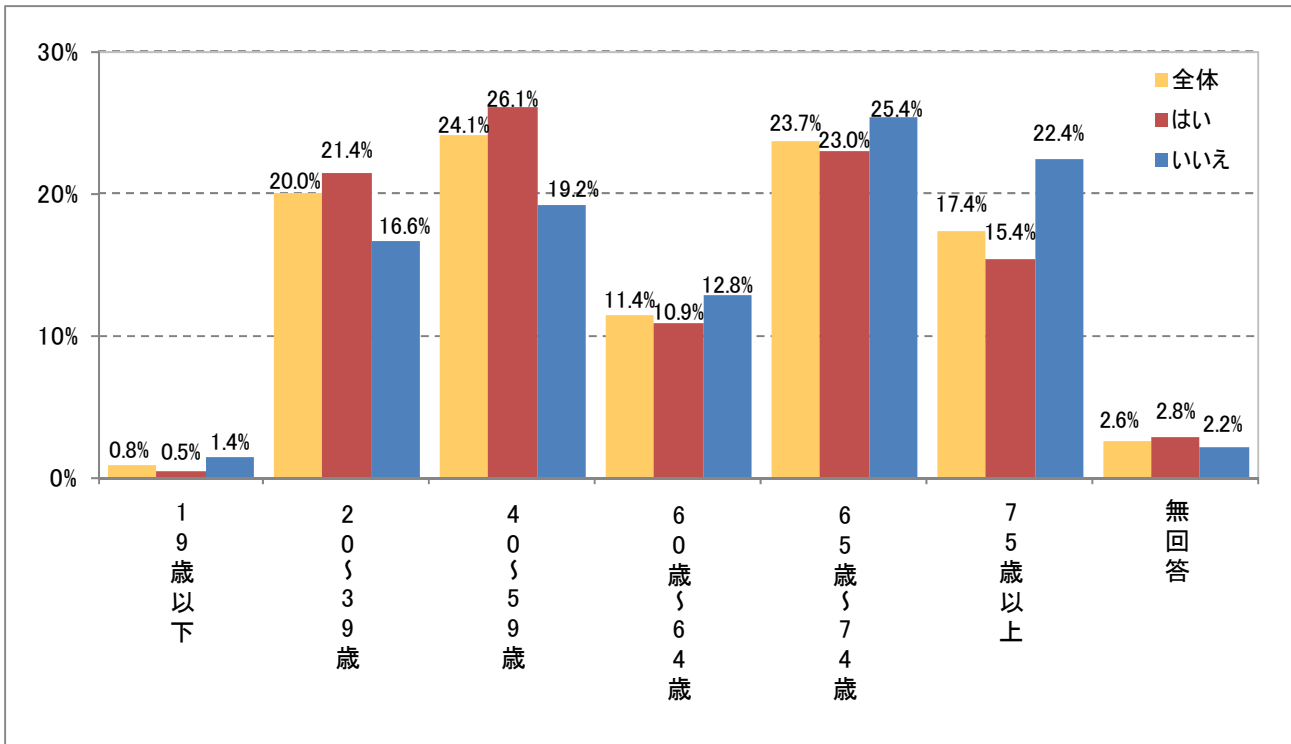
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
1割	件数	402	256	146
	比率	23.7%	21.4%	29.2%
2割	件数	57	40	17
	比率	3.4%	3.3%	3.4%
3割	件数	1056	779	277
	比率	62.2%	65.1%	55.4%
無料(自己負担金なし)	件数	19	13	6
	比率	1.1%	1.1%	1.2%
わからない	件数	105	65	40
	比率	6.2%	5.4%	8.0%
無回答	件数	58	44	14
	比率	3.4%	3.7%	2.8%

Q24. あなたの性別を教えてください



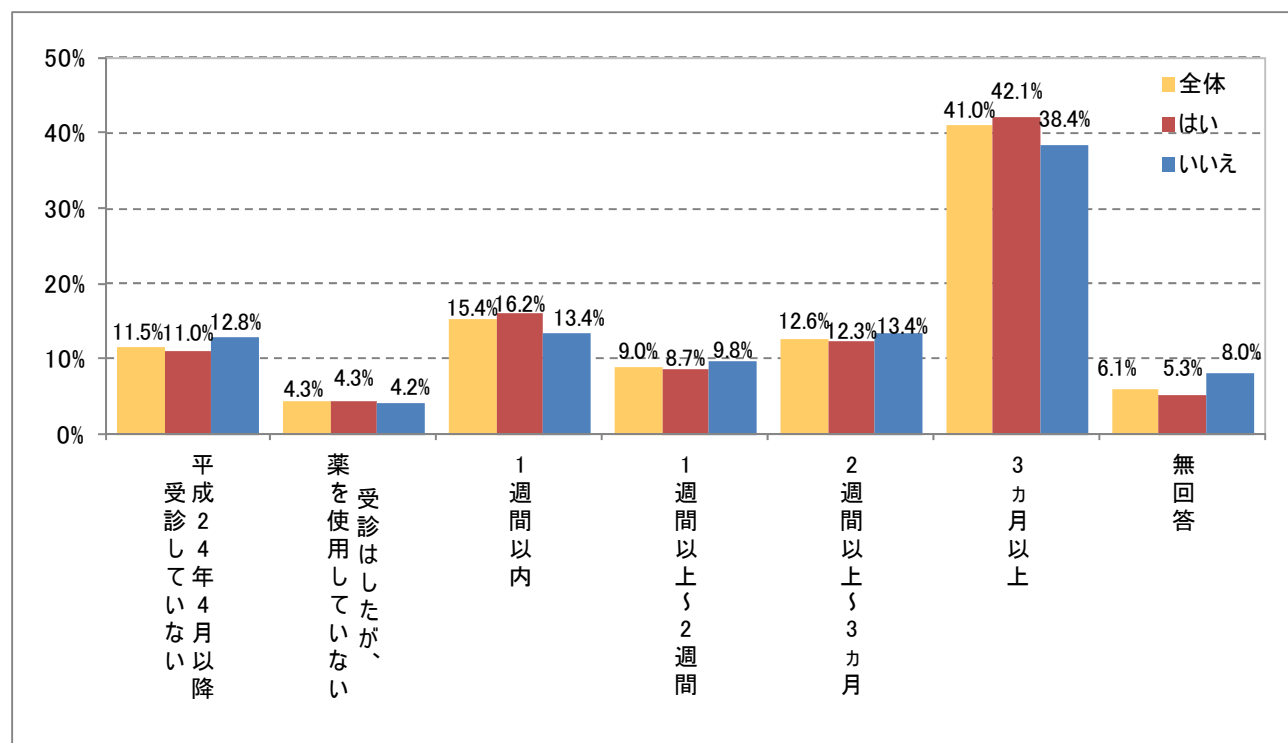
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
男性	件数	551	374	177
	比率	32.5%	31.2%	35.4%
女性	件数	1097	792	305
	比率	64.6%	66.2%	61.0%
無回答	件数	49	31	18
	比率	2.9%	2.6%	3.6%

Q25. あなたの年齢を教えてください



		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
19歳以下	件数	13	6	7
	比率	0.8%	0.5%	1.4%
20～39歳	件数	339	256	83
	比率	20.0%	21.4%	16.6%
40～59歳	件数	409	313	96
	比率	24.1%	26.1%	19.2%
60歳～64歳	件数	194	130	64
	比率	11.4%	10.9%	12.8%
65歳～74歳	件数	402	275	127
	比率	23.7%	23.0%	25.4%
75歳以上	件数	296	184	112
	比率	17.4%	15.4%	22.4%
無回答	件数	44	33	11
	比率	2.6%	2.8%	2.2%

Q26. あなたが平成 24 年 4 月以降、病院・医院で受診して、処方されたお薬のうち一番長く継続して使用しているお薬の使用期間を選んでください



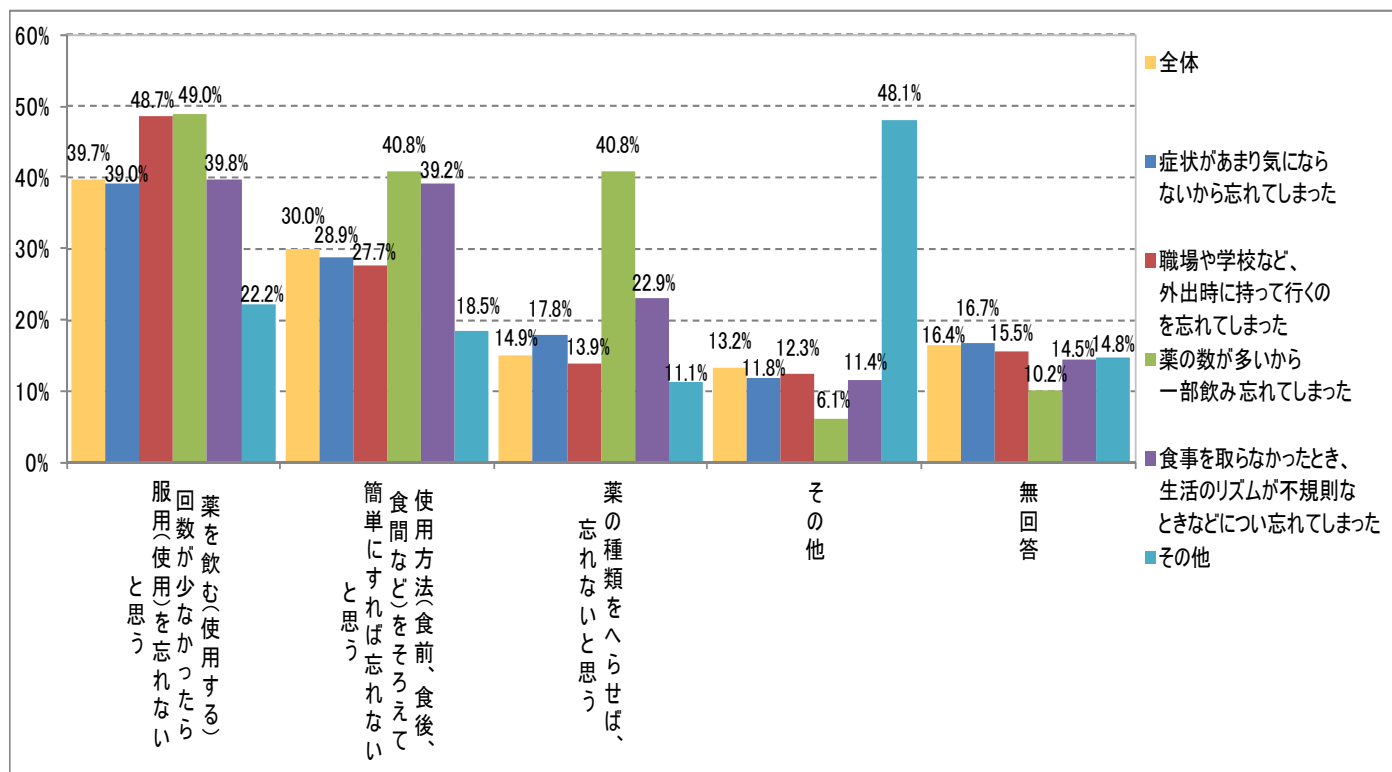
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1697	1197	500
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
平成24年4月以降受診していない	件数	196	132	64
	比率	11.5%	11.0%	12.8%
受診はしたが、薬を使用していない	件数	73	52	21
	比率	4.3%	4.3%	4.2%
1週間以内	件数	261	194	67
	比率	15.4%	16.2%	13.4%
1週間以上～2週間	件数	153	104	49
	比率	9.0%	8.7%	9.8%
2週間以上～3ヵ月	件数	214	147	67
	比率	12.6%	12.3%	13.4%
3ヵ月以上	件数	696	504	192
	比率	41.0%	42.1%	38.4%
無回答	件数	104	64	40
	比率	6.1%	5.3%	8.0%

医療用医薬品の残薬・ジェネリック医薬品についての調査結果報告【クロス集計】

【調査結果】 〈その他クロス集計〉

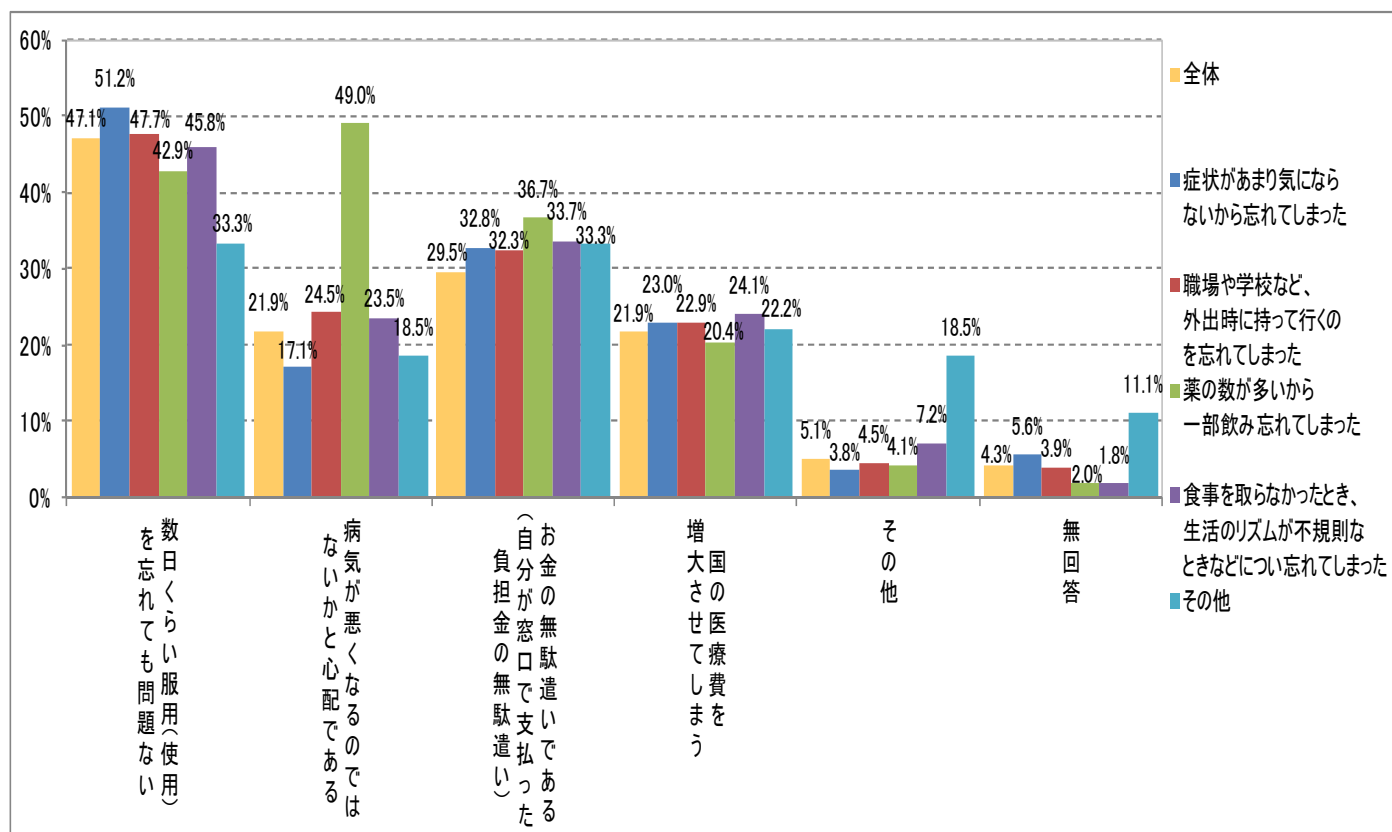
Q3. 飲み忘れた(使い忘れた)理由は何ですか(Q2. 「1. 飲み忘れた(使い忘れた)」とお答えの方)
 × Q4. どのようにしたらきちんと服用(使用)できると思いますか？

(Q2. 「1. 飲み忘れた(使い忘れた)」, 「2. 処方された日数、回数が多かった」とお答えの方)



		全体	症状があまり気にならないから忘れてしまった	職場や学校など、外出時に持って行くのを忘れてしまった	薬の数が多くから一部飲み忘れてしまった	食事を取らなかったとき、生活のリズムが不規則なときなどについて忘れてしまった	その他
全体	件数	584	287	310	49	166	27
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
薬を飲む(使用する)回数が少なかったら服用(使用)を忘れないと思う	件数	232	112	151	24	66	6
	比率	39.7%	39.0%	48.7%	49.0%	39.8%	22.2%
使用方法(食前、食後、食間など)をそろえて簡単にすれば忘れないと思う	件数	175	83	86	20	65	5
	比率	30.0%	28.9%	27.7%	40.8%	39.2%	18.5%
薬の種類をへらせば、忘れないと思う	件数	87	51	43	20	38	3
	比率	14.9%	17.8%	13.9%	40.8%	22.9%	11.1%
その他	件数	77	34	38	3	19	13
	比率	13.2%	11.8%	12.3%	6.1%	11.4%	48.1%
無回答	件数	96	48	48	5	24	4
	比率	16.4%	16.7%	15.5%	10.2%	14.5%	14.8%

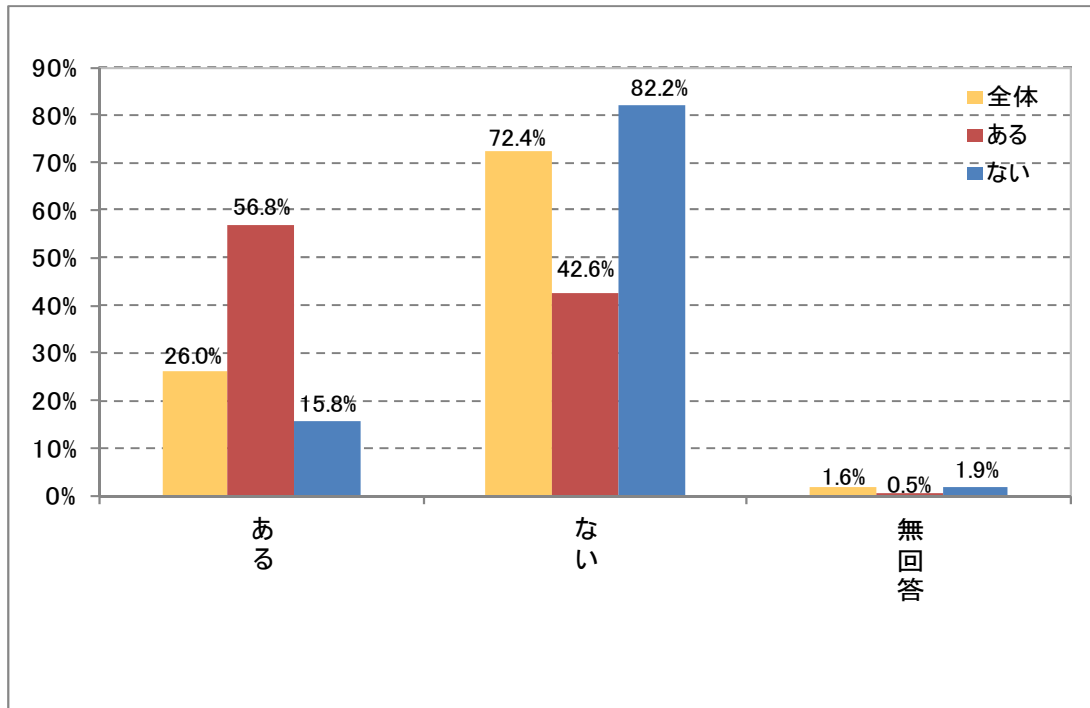
Q3. 飲み忘れた(使い忘れた)理由は何ですか(Q2. 「1. 飲み忘れた(使い忘れた)」とお答えの方)
 × Q5. 残薬についてどのように思われますか



		全体	症状があまり気にならないから忘れてしまった	職場や学校など、外出時に持って行くのを忘れてしまった	薬の数が多から一部飲み忘れてしまった	食事を取らなかったとき、生活のリズムが不規則なときなどについて忘れてしまった	その他
全体	件数	584	287	310	49	166	27
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
数日くらい服用(使用)を忘れても問題ない	件数	275	147	148	21	76	9
	比率	47.1%	51.2%	47.7%	42.9%	45.8%	33.3%
病気が悪くなるのではないかと心配である	件数	128	49	76	24	39	5
	比率	21.9%	17.1%	24.5%	49.0%	23.5%	18.5%
お金の無駄遣いである(自分が窓口で支払った負担金の無駄遣い)	件数	172	94	100	18	56	9
	比率	29.5%	32.8%	32.3%	36.7%	33.7%	33.3%
国の医療費を増大させてしまう	件数	128	66	71	10	40	6
	比率	21.9%	23.0%	22.9%	20.4%	24.1%	22.2%
その他	件数	30	11	14	2	12	5
	比率	5.1%	3.8%	4.5%	4.1%	7.2%	18.5%
無回答	件数	25	16	12	1	3	3
	比率	4.3%	5.6%	3.9%	2.0%	1.8%	11.1%

Q6. 病院・医院で医師から残薬について聞かれたことがありますか？

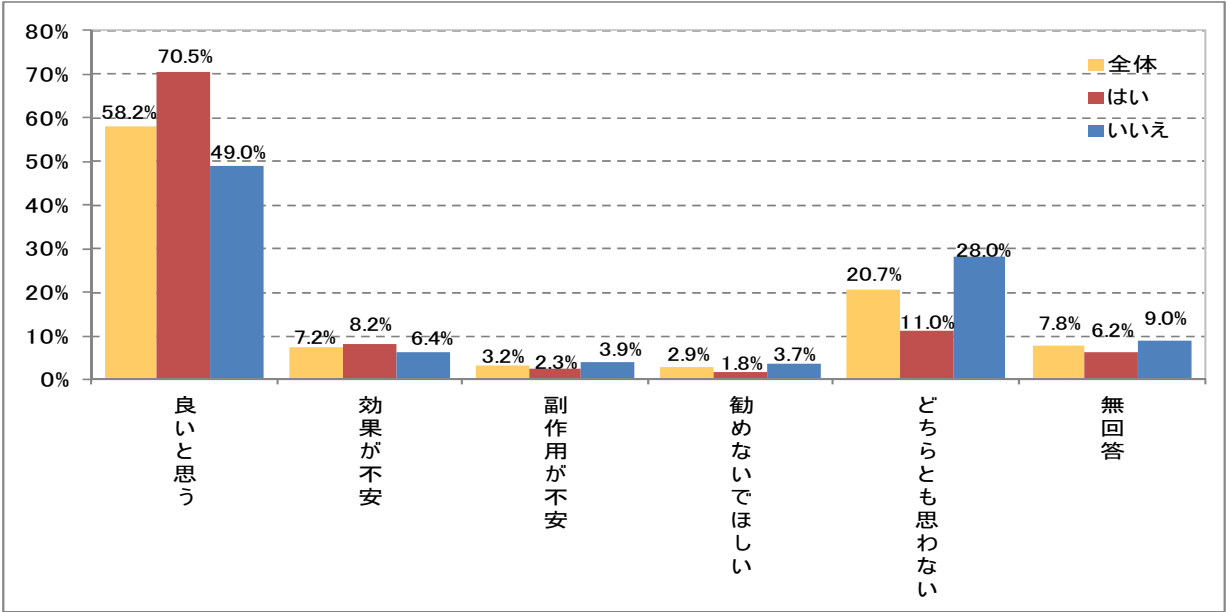
× Q9. 薬局において残薬について聞かれたことがありますか？



		全体	ある	ない
全体	件数	1567	387	1180
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	407	220	187
	比率	26.0%	56.8%	15.8%
ない	件数	1135	165	970
	比率	72.4%	42.6%	82.2%
無回答	件数	25	2	23
	比率	1.6%	0.5%	1.9%

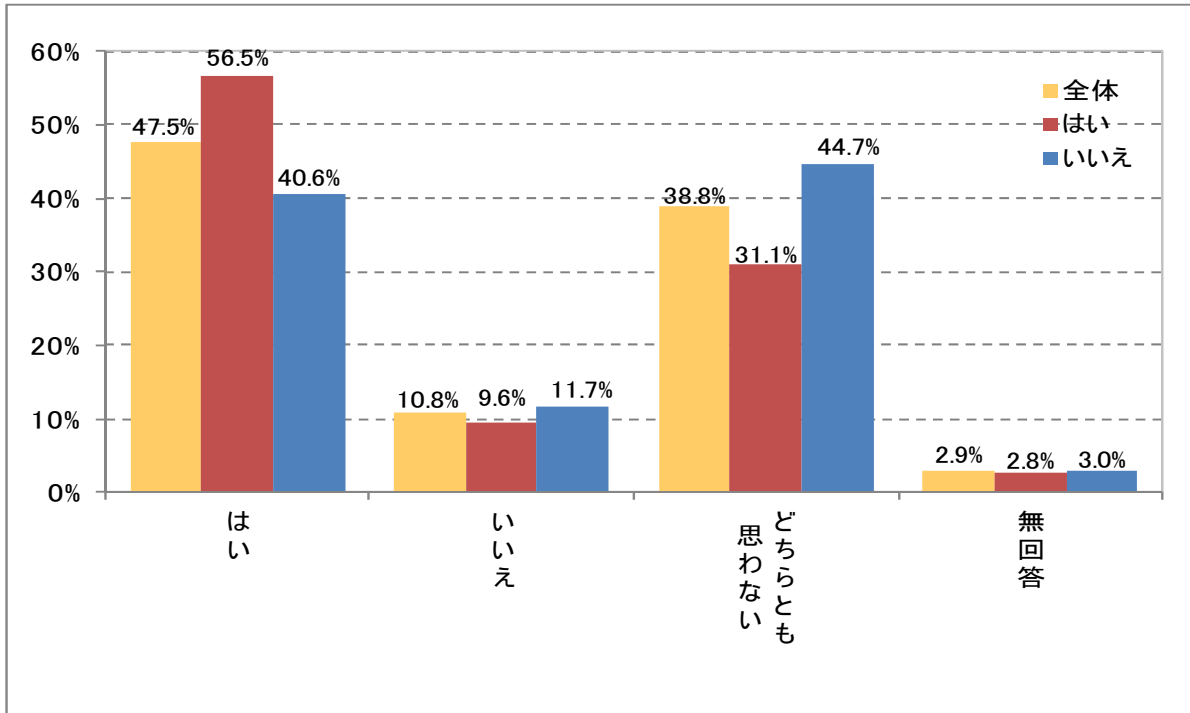
Q12. 病院・医院において、ジェネリック医薬品について医師から説明を受けたことがありますか？

×Q13. 病院・医院の医師からジェネリック医薬品の処方を勧められることについてどのように思われますか



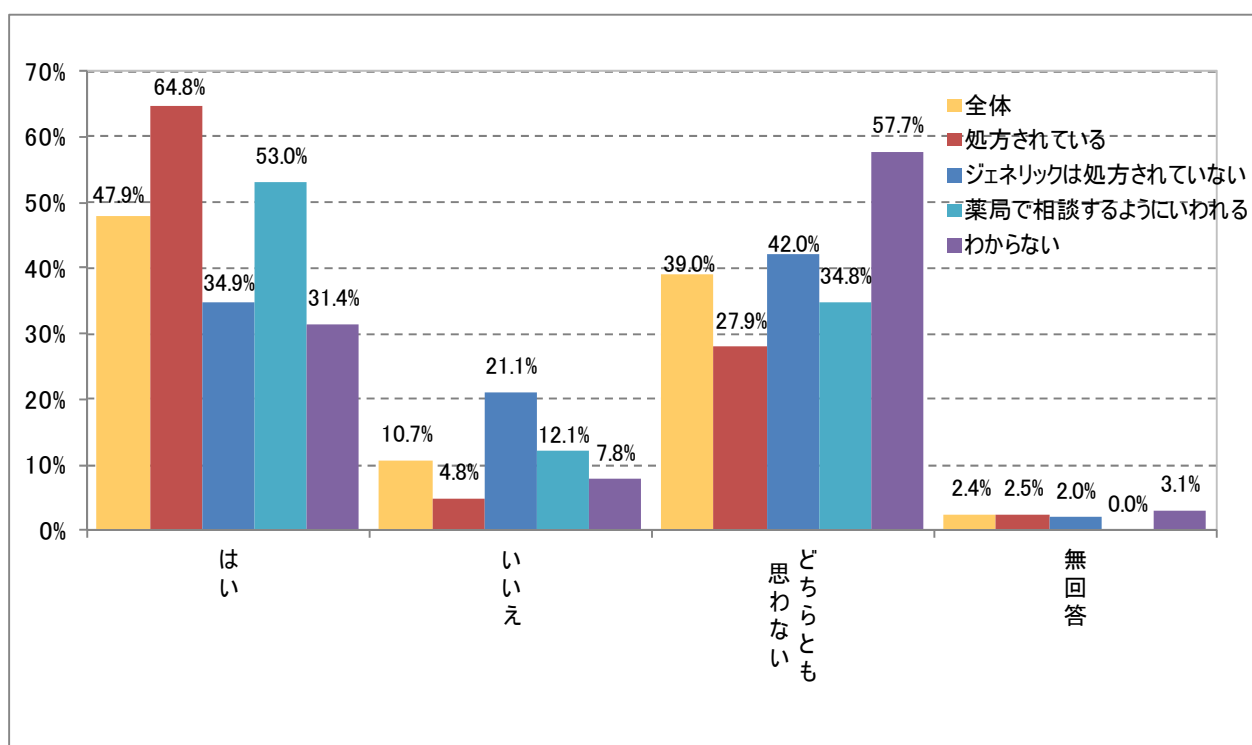
		全体	はい	いいえ
全体	件数	1643	708	935
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
良いと思う	件数	957	499	458
	比率	58.2%	70.5%	49.0%
効果が不安	件数	118	58	60
	比率	7.2%	8.2%	6.4%
副作用が不安	件数	52	16	36
	比率	3.2%	2.3%	3.9%
勧めないでほしい	件数	48	13	35
	比率	2.9%	1.8%	3.7%
どちらとも思わない	件数	340	78	262
	比率	20.7%	11.0%	28.0%
無回答	件数	128	44	84
	比率	7.8%	6.2%	9.0%

Q12. 病院・医院において、ジェネリック医薬品について医師から説明を受けたことがありますか？× Q21. あなたは、ジェネリック医薬品を使いたいと思いますか



		全体	はい	いいえ
全体	件数	1643	708	935
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	780	400	380
	比率	47.5%	56.5%	40.6%
いいえ	件数	177	68	109
	比率	10.8%	9.6%	11.7%
どちらとも 思わない	件数	638	220	418
	比率	38.8%	31.1%	44.7%
無回答	件数	48	20	28
	比率	2.9%	2.8%	3.0%

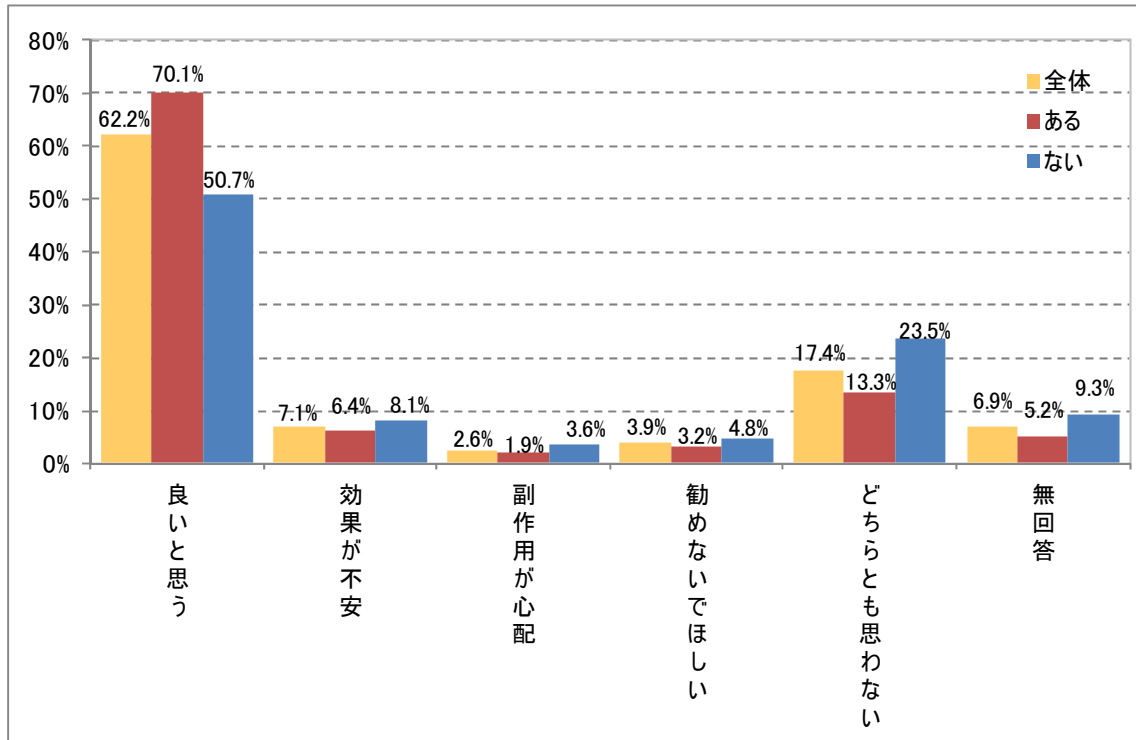
Q14. 病院・医院からジェネリック医薬品を処方されていますか
 × Q21. あなたは、ジェネリック医薬品を使いたいと思いますか



		全体	処方 されている	ジェネリック は処方され ていない	薬局で相談 するよう に いわれる	わからない
全体	件数	1623	707	493	66	357
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	777	458	172	35	112
	比率	47.9%	64.8%	34.9%	53.0%	31.4%
いいえ	件数	174	34	104	8	28
	比率	10.7%	4.8%	21.1%	12.1%	7.8%
どちらとも思わない	件数	633	197	207	23	206
	比率	39.0%	27.9%	42.0%	34.8%	57.7%
無回答	件数	39	18	10	0	11
	比率	2.4%	2.5%	2.0%	0.0%	3.1%

Q15. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更について薬剤師から説明を受けたことがありますか

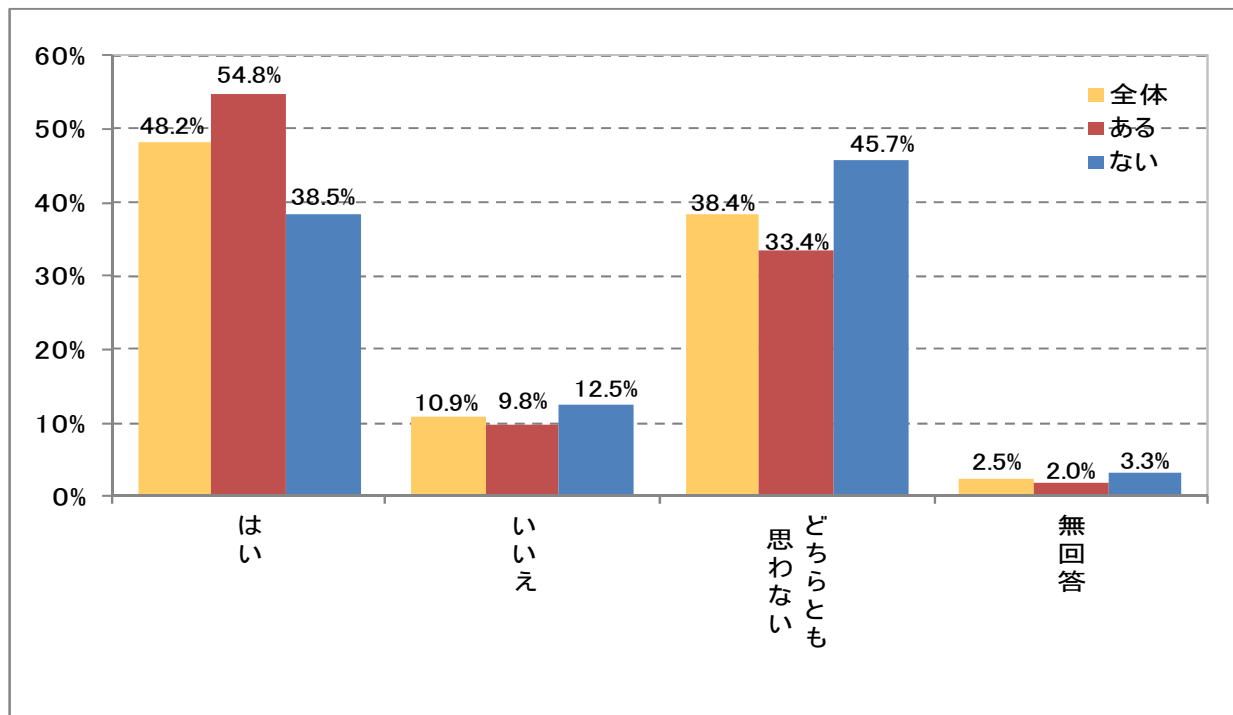
× Q16. 薬局でジェネリック医薬品への変更について、薬剤師から勧められることについてどのように思われますか



		全体	ある	ない
全体	件数	1634	969	665
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
良いと思う	件数	1016	679	337
	比率	62.2%	70.1%	50.7%
効果が不安	件数	116	62	54
	比率	7.1%	6.4%	8.1%
副作用が不安	件数	42	18	24
	比率	2.6%	1.9%	3.6%
勧めないでほしい	件数	63	31	32
	比率	3.9%	3.2%	4.8%
どちらとも思わない	件数	285	129	156
	比率	17.4%	13.3%	23.5%
無回答	件数	112	50	62
	比率	6.9%	5.2%	9.3%

Q15. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更について薬剤師から説明を受けたことがありますか

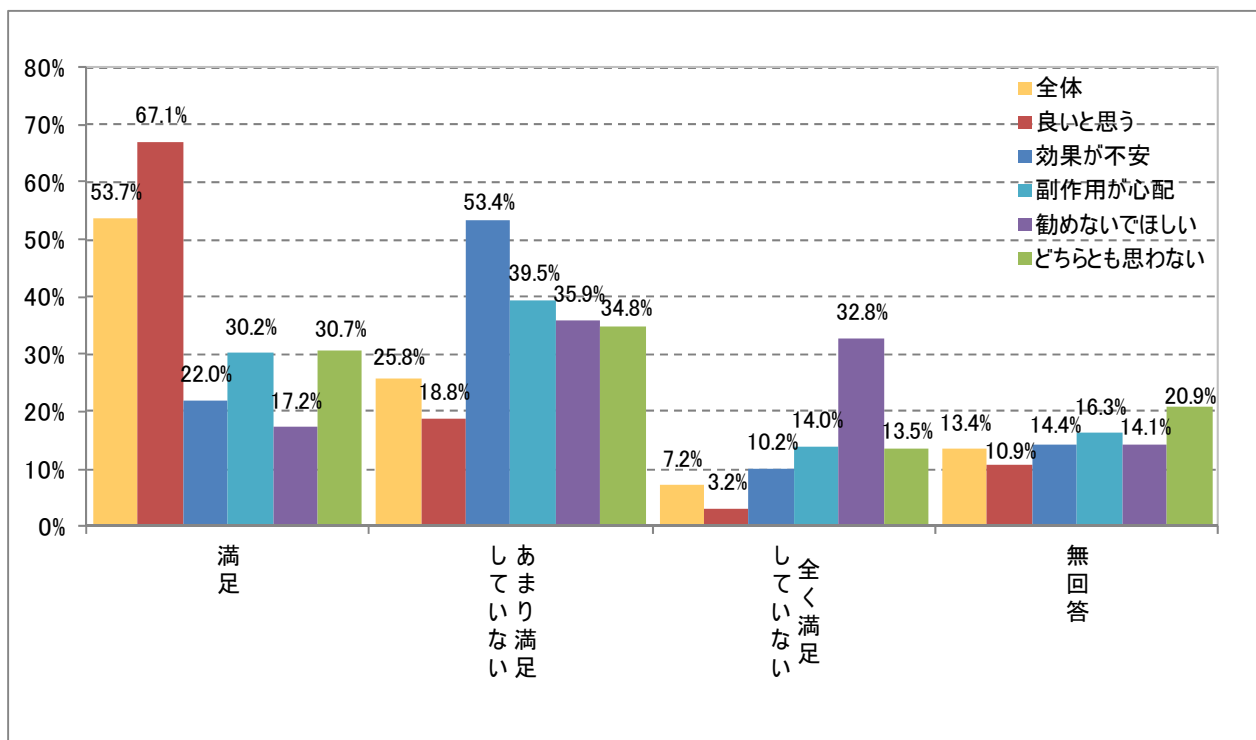
× Q21. あなたは、ジェネリック医薬品を使いたいと思いますか



		全体	ある	ない
全体	件数	1634	969	665
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
はい	件数	787	531	256
	比率	48.2%	54.8%	38.5%
いいえ	件数	178	95	83
	比率	10.9%	9.8%	12.5%
どちらとも思わない	件数	628	324	304
	比率	38.4%	33.4%	45.7%
無回答	件数	41	19	22
	比率	2.5%	2.0%	3.3%

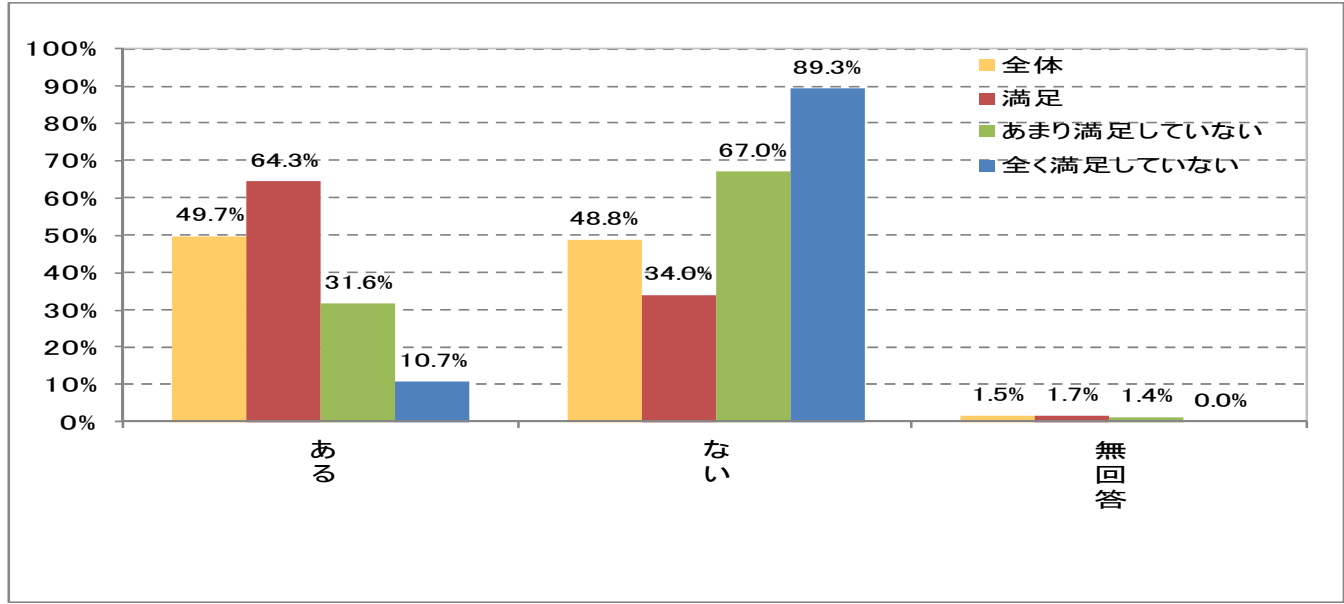
Q16. 薬局でジェネリック医薬品への変更について、薬剤師から勧められることについてどのように思われますか

× Q17. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更説明に満足していますか



		全体	良いと思う	効果が不安	副作用が心配	勧めないでほしい	どちらとも思わない
全体	件数	1556	1035	118	43	64	296
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
満足	件数	835	694	26	13	11	91
	比率	53.7%	67.1%	22.0%	30.2%	17.2%	30.7%
あまり満足していない	件数	401	195	63	17	23	103
	比率	25.8%	18.8%	53.4%	39.5%	35.9%	34.8%
全く満足していない	件数	112	33	12	6	21	40
	比率	7.2%	3.2%	10.2%	14.0%	32.8%	13.5%
無回答	件数	208	113	17	7	9	62
	比率	13.4%	10.9%	14.4%	16.3%	14.1%	20.9%

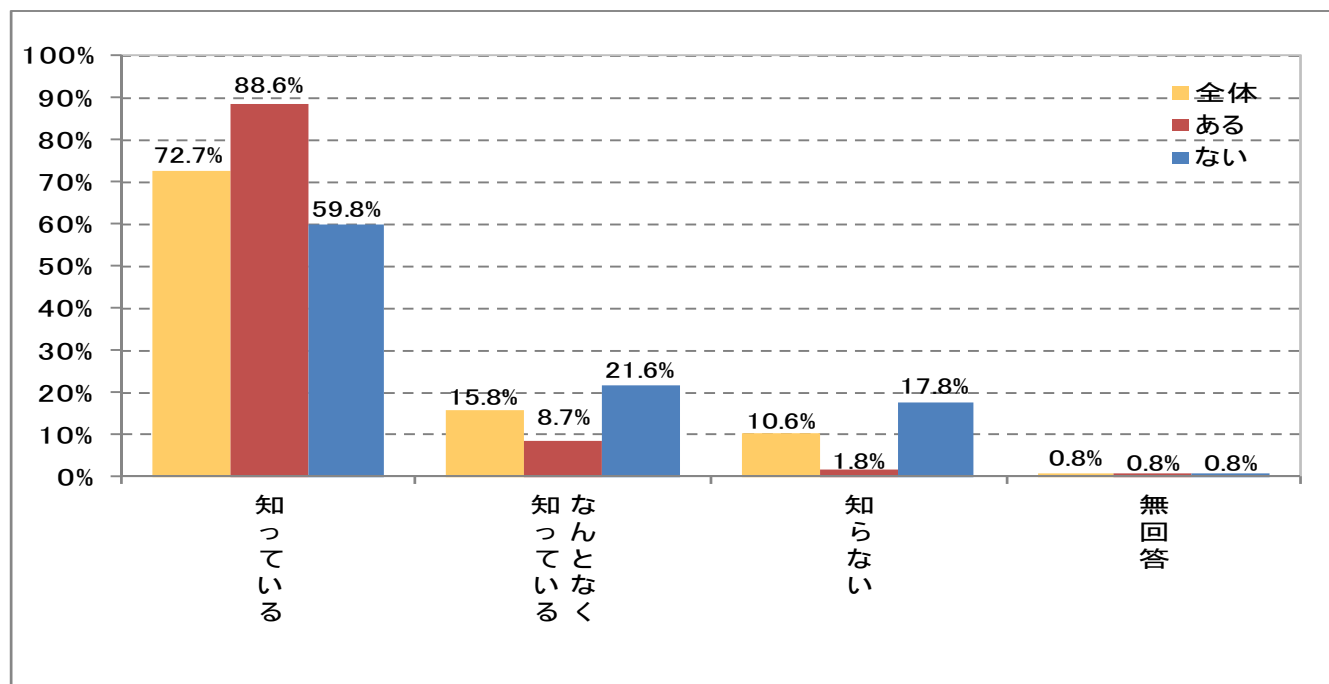
Q17. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更説明に満足していますか
× Q18. 薬局において、ジェネリック医薬品に変更したことはありますか



		全体	満足	あまり満足 していない	全く満足 していない
全体	件数	1417	862	433	122
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	704	554	137	13
	比率	49.7%	64.3%	31.6%	10.7%
ない	件数	692	293	290	109
	比率	48.8%	34.0%	67.0%	89.3%
無回答	件数	21	15	6	0
	比率	1.5%	1.7%	1.4%	0.0%

Q18. 薬局において、ジェネリック医薬品に変更したことはありますか

× Q19. 処方薬をジェネリック医薬品に変更することによって、自己負担金や、医療費を減らせることを知っていますか



		全体	ある	ない
全体	件数	1610	722	888
	比率	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	件数	1171	640	531
	比率	72.7%	88.6%	59.8%
なんとなく知っている	件数	255	63	192
	比率	15.8%	8.7%	21.6%
知らない	件数	171	13	158
	比率	10.6%	1.8%	17.8%
無回答	件数	13	6	7
	比率	0.8%	0.8%	0.8%

Q6. 病院・医院で医師から残薬について聞かれたことがありますか？

- 1. ある
- 2. ない

Q7. 飲み忘れなどで残った場合、受診時に医師に話をし残薬の調整をお願いしたことがありますか。

- 1. ある
- 2. ない →Q9へ

Q8. Q7で『1. ある』とお答えになった方へ:残薬調整のために、その分の医薬品を減らして処方してもらえましたか。

- 1. はい
- 2. いいえ

Q9. 薬局において残薬について聞かれたことがありますか？

- 1. ある
- 2. ない

Q10. 飲み忘れなどで残った場合、薬局において薬剤師に残薬の調整をお願いしたことがありますか。

- 1. ある
- 2. ない →Q12へ

Q11. Q10で『1. ある』とお答えになった方へ:その結果、薬局において、処方日数や回数を変更してもらえましたか？

- 1. はい
- 2. いいえ

《ジェネリック医薬品(後発医薬品)について伺います》

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品と同じ有効成分を同じ量含み、先発医薬品と同等の効果・作用が得られる医薬品を言います。研究開発に要する費用が低く抑えられるので、価格が安くなっています。(厚労省ジェネリック医薬品 Q&Aから抜粋)

Q12. 病院・医院において、ジェネリック医薬品について医師から説明を受けたことがありますか？

- 1. はい
- 2. いいえ

Q13. 病院・医院の医師からジェネリック医薬品の処方を勧められることについてどのように思われますか。

- 1. 良いと思う
- 2. 効果が不安
- 3. 副作用が心配
- 4. 勧めないでほしい
- 5. どちらとも思わない

Q14. 病院・医院からジェネリック医薬品を処方されていますか。

- 1. 処方されている
- 2. ジェネリックは処方されていない
- 3. 薬局で相談するようにいわれる
- 4. わからない

Q15. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更について薬剤師から説明を受けたことがありますか。

- 1. ある
- 2. ない

★★★次ページの質問にもお答えください★★★

- Q16. 薬局でジェネリック医薬品への変更について、薬剤師から勧められることについてどのように思われますか。
1. 良いと思う
 2. 効果が不安
 3. 副作用が心配
 4. 勧めないでほしい
 5. どちらとも思わない
- Q17. 薬局において、ジェネリック医薬品への変更説明に満足していますか
1. 満足
 2. あまり満足していない
 3. 全く満足していない
- Q18. 薬局において、ジェネリック医薬品に変更したことはありますか。
1. ある
 2. ない
- Q19. 処方薬をジェネリック医薬品に変更することによって、自己負担金や、医療費を減らせることを知っていますか。
1. 知っている
 2. なんとなく知っている
 3. 知らない
- Q20. 国保組合・健康保険組合などからジェネリック医薬品の使用をすすめるお知らせを受け取ったことはありますか。
1. ある
 2. ない（見た記憶が無いも含む）
- Q21. あなたはジェネリック医薬品を使いたいと思いますか
1. はい
 2. いいえ
 3. どちらとも思わない
- Q22. あなたは、自分の医療費がどのくらいかかっているか知っていますか？
1. 知っている
 2. 知らない
- Q23. あなたは、自分の保険の自己負担金の割合がどのくらいか知っていますか？
1. 1割
 2. 2割
 3. 3割
 4. 無料(自己負担金なし)
 5. わからない
- Q24. あなたの性別を教えてください。
1. 男性
 2. 女性
- Q25. あなたの年齢を教えてください。
1. 19歳以下
 2. 20～39歳
 3. 40～59歳
 4. 60歳～64歳
 5. 65歳～74歳
 6. 75歳以上
- Q26. あなたは平成 24 年 4 月以降、病院・医院で受診して、処方されたお薬のうち一番長く継続して使用しているお薬の使用期間を選んでください。
1. 平成 24 年 4 月以降、受診していない
 2. 受診はしたが、薬を使用していない
 3. 1週間以内
 4. 1週間以上～2週間
 5. 2週間以上～3ヶ月
 6. 3ヶ月以上

アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました！